

麻生太吉書簡集（一、電力業〈その三〉）：麻生太  
吉日記関係史料：解説

新鞍，拓生

<https://doi.org/10.15017/6779653>

---

出版情報：石炭研究資料叢書. 43, pp.381-505, 2023-03-25. Business & Economics Section,  
Manuscript Library, Kyushu University

バージョン：

権利関係：

麻生太吉書簡集（一、電力業〈その三〉）

—麻生太吉日記関係史料—解説

# 麻生太吉書簡集（一、電力業〈その三〉） —麻生太吉日記関係史料—解説

新 鞍 拓 生

## 一 採録史料について

本輯は、『麻生太吉日記』（麻生太吉日記編纂委員会編、九州大学出版会刊）の刊行に合わせ、麻生太吉（安政四（一八五七）年～昭和八（一九三三）年）が企業家人生の後半期に携わった電力業での活動に関する史料について、麻生家文書から書簡・電報および発信原稿を抽出し翻刻したものである。このシリーズは本輯第三三、三四輯において、明治四三（一九一〇）年から昭和二（一九二七）年までを翻刻している。この輯では昭和三年から麻生太吉の死去する同八年までを翻刻の対象とする。なお史料の配列は古い年月日から順になされている。採録の対象となった史料は原則省略していない。

本輯でも以前同様、麻生家文書の書簡類が各年毎に収められた来状箱（来状箱については本輯第三三輯所収の翻刻者解説を参照された）の中から、九州水力電気（九水）での企業者活動を中心とする電力業に関する書簡・電報と、同じく麻生家文書のうち本家書類に収納された発信控である「発信原稿」から採録している。また、本家書類の中にある「雑事蹟」に類する史料および一紙文書などのうちから、電力業に関するものを採録した。ただし来状箱に関しては、昭和五年と六年のものがない。本家書類箱にも書簡類がほとんど入っていない（来状箱に入る書簡・電報は数量がおびただしいので、本家書類箱に入らない）。これをふまえれば、この両年は、何らかの事情で来状箱

を作製しなかった可能性がある。

## 二 九州地方電力界および九水の事業展開の概要

つきに、採録史料に係わる麻生太吉の活動について述べておく。なお第三四輯（大正一二（一九二三）年から昭和二（一九二七）年分所収）では、麻生の活動の前提となる九州地方の電力産業史の概略および史料概要を省略しているので、まずはそれらに関し、ついで本輯が扱う時期のそれを示しておく。

まず日本全体の電力産業史についてふれておく。明治末期における長距離高圧送電技術の確立、それをふまえた山岳部での水力発電の起業進展、動力における蒸気力から電力へのシフト、その後大正末・昭和初期の不況局面での余剰電力の発生などにより、当該期の電力産業は大きく分けて二つに画期される。それは、第一次世界大戦前から大正末年までにおける、自由主義的な電気行政の下での電気事業者同士の競争がかまびすしい時期、すなわち電力企業間で水力発電の電源確保や顧客獲得競争（電力戦）が激しい時期と、昭和二年以降電力統制が通信省を中心に政府により進められた時期である。電力統制論自体は第一次大戦期の電力不足への対応として登場し（これに関しては栗原東洋編『現代日本産業発達史Ⅲ電力』交詢社出版局、昭和三九（一九六四）年）、梅本哲世『戦前日本資本主義と電力』八朔社、平成二二（二〇〇〇）年）も参照）、その後大正末期にも需給の円滑を図るべく電気事業者から提起されたとも言われている（九州電力編『九州地方電気事業史』同社、平成一九（二〇〇七）年）。ただし、現実の画期としてよく指摘されるのは、昭和二年三月、若槻礼次郎憲政会内閣時に通信省電気局に設置された臨時電気事業調査部、同四年一月、

田中義一政友会内閣時に同省に設置された臨時電気事業調査会による、電力統制の提起であった（前掲『九州地方電気事業史』、二四三頁以下）。それらでの議論をたたき台として、第二次若槻民政党内閣時の六年四月には、改正電気事業法が公布（施行は七年二月）され、電気事業者の供給区域の独占と電気料金の認可制という、公益性の実現と監督官庁の権限強化を軸とする電力統制が実現した。なおその後は、よく知られている電力国営管理問題（電力国管）として、政府による統制が進むが、これは麻生太吉死去後のことである（昭和一三年三月、電力国家管理関連四法案が帝国議会で可決成立）。

日本全体の電力産業史は以上のような画期によって区分されるが、九州地方の場合、統制以前の時期において、他地方同様の競争的側面と、他方でそれとは異なる動きがあった。前者については、九州地方で三大電気事業者として君臨していた九水と九州電気軌道（九軌）との間で、大正末期に勃発した電力戦がよく知られている（「電気事業の発展と電力圏の形成」（喜多恵・荻野喜弘執筆）西日本文化協会編纂『福岡県史近代通史産業経済（二）』所収、福岡県、平成一八（二〇〇〇）年、中野節朗『九州電気事業側面史』東洋経済新報社出版部、昭和一七（一九四二）年）。また大正末年から昭和初年における、九州地方の電気事業者の系列化をめぐる、九水や東邦電力九州支社（東邦）、熊本電気における競争がみられた。一方で九州地方では、企業間競争が繰り返られていた時期より以前の時期（大正初期）から、電気事業者同士の自律的な電力統制の萌芽が現れている。すなわち九水と九州電灯鉄道（九電鉄、後に東邦電力九州支社となる）との間での合併を前提とする大正二年以来の交渉、大正一〇年九水、九電鉄、住友家、電気化学工業（電化）、三井系の化学工業企業）により発起さ

れた九州送電である。特に九州送電の発起は、当時原敬政友会内閣で通信大臣であった野田卯太郎による、電力の低廉かつ安定的な供給のための電力統制論にもとづく、電気行政の成果であった。同社の設立（大正一四年五月）以降、通信省の出先機関である熊本通信局は、電力統制を九州地方で進めることになる（新鞍拓生『九州の企業家麻生太吉の産業統治』一粒書房、令和四（二〇二二）年、第五章）。熊本通信局による、九州地方全体に係わる電力統制指針の電気事業者への徳漣、それに個別企業同士の合従連衡により、一九三〇年代初期までには、東九州地域での五〇サイクル系統、西九州地域での六〇サイクル系統、および両系統の連係が成立することとなる（荻野喜弘「昭和戦前期の大牟田地区における電力需給関係——三井三池鉱業所の電力戦略を中心として——」同編『近代日本のエネルギーと企業活動——北部九州地域を中心として——』所収、日本経済評論社、平成二二（二〇一〇）年）。なお九州送電が五〇、六〇両サイクルでの、昭和五年に設立された九州電力（三井財閥と熊本電気との共同出資企業、現在の九州電力とは異なる）が六〇サイクルでの発電あるいは送電事業を行い、かつ両社とも九州地方南北縦貫線を形成させたことで、各サイクルそれぞれあるいは両サイクルにまたがる電力融通態勢いわゆる電力プールが構築されている。これらを電力産業史の観点からみると、これまで電気事業者同士の競争的側面が強調されていた観のある、昭和初年までの日本電力業界に関する全体像は、九州地方では必ずしも当てはまらず、むしろ大正末期の九州送電設立をきっかけとして、昭和初年以降の日本全体の電力統制を先駆的に実現していた、という評価が成り立つ。民間の電気事業者が自主的に進めたというよりは、野田の電力統制論が反映されることとなる九州送電設立を契機として、

九州地方の電力統制が逓信局の電気行政により推進され、同局がおおよその枠組みを提示し、事業者が大枠としてそれに沿ったことになる。これは、九州送電が実際に設立されてから、逓信局が有力電気事業者を集め研究会などの名称で意思疎通の場を設け、また送電聯絡理想図を提示し、さらには変換機の設定、水火併用などについても参加者への周知を図ったことなどから、それがうかがえる（新鞍前掲書、第五章第一節）。

つぎに、個別企業としての九水の経営展開について確認しておく。九水では発電所として女子畑発電所を大正初年に竣工していたが、第一次世界大戦期に電力需要が昂進したことを受け、新規の電源開発を行っている。また九水は小売りにも進出し、大分県や福岡県東部の地域小規模電力企業を吸収、合併するなどしている。これらの詳細は前掲『九州地方電気事業史』を参看していただきたい（なおこれらに関し、第三三輯では、大分県日田郡の大山川をめぐる水利利用に関し、麻生太吉や麻生観八（玖珠郡在住で九水監査役）らが地元との交渉を行った史料が採録されている）。大戦後においても電力業は、慢性不況とも低成長とも評される一九二〇年代において、例外的に発展し続けている産業であったが、九水もその例に洩れず、電気販路を拡張させている。主要販路別では、大正九年時は電力が四〇％代後半、電灯は三〇％代後半であり、その後は電力の比率が高くなっている（九水は昭和二年、電車部門を別会社に分離）。九州の有力電気事業者との比較を昭和八年時点でみておくと、販売収入に占める電力向け比率は九水六一・二％、東邦（九州支社分）三八・七％、九州電気軌道（九軌、昭和五年に九水の関係会社化）四三・二％、熊本電気三五・九％となっている（新鞍前掲書、表四一八）。九水は供給区域に北九州工

業地帯と筑豊炭田を擁しており、九州内でも特に産業用電力向けに多く供給しているので、このような収入構成比となっている。言い換えれば九水では、産業向けでの販路確保、電気の安定供給が経営課題になっていたことが想起される。なお九州送電が昭和四年より事業を開始しているが、九水では株式取得（昭和二年、電化から同社出資分を譲り受け）を通じ主導権を握っていたこともあり、九水自社分の電力も含め、その消化先を探すこととなる。九水による余剰電力の販路開拓は、主として八幡製鉄所への給電運動と農村・農業電化へと向かうのである。

供給態勢の構築に関しては、九水では大正末年までに女子畑以外の発電所の建設竣工に漕ぎ着け、大正初年に比して約四倍の発電力となっている（前掲『九州地方電気事業史』、一九三頁）。また九水では自社以外に、熊本県の有力者、および彼らの背後にいた三井系の電気化学工業（福岡県大牟田市に工場）とともに杖立川水力電気を設立（大正二年）し、後に熊本側の発起した分の同社株式のすべてを取得し、子会社化している。さらに前述の九州送電の事業開始により、水力による供給態勢はさらに強化されている。これらに加え、昭和五年に関係会社化した九軌の火力、そして既存の九水火力発電所（宇島、鯉田）により、九水を軸とする企業集団全体で、水火併用にもとづく安定的な供給態勢はさらに強化されることとなる。

最後に人事に関しては、九水の社長のみみておく。大正一〇年の日比谷平左右衛門社長死去後の後任には久野昌一が、久野が同一一三年一〇月に辞任すると森村開作（九州発起人のひとりである森村市左衛門の子）が、森村が昭和三年一〇月に辞任すると、麻生太吉がそれぞれ同職に就いている（麻生は死去まで社長在任）。麻生の社長就任は、

彼自身の記録によれば、森村の推薦によるものとされている（麻生太吉日記昭和三年一〇月一八日条）。ここで掲げた歴代社長は、九州重役たる麻生を除けば東京重役であった。麻生の社長就任は、九水が名実ともに九州地方の企業であることを象徴するものだった。

### 三 麻生太吉の活動概要と採録史料

以上をふまえて、麻生太吉の九州地方電力業での活動をうかがうと、まさに同地方での電力統制が確立した時期に行われたといえる。麻生自体の電力業への関与の始まりは、自身の経営する炭鉱企業である麻生商店（明治三〇（一八九七）年個人経営として出発、大正七（一九一八）年に株式会社化）への電力および周辺部への電灯供給を目的として明治四一年に設立した嘉穂電灯である。麻生太吉は明治四五年には、彼とはほとんど関係のない地域にある福岡市内の二つの電気軌道会社（博多電気軌道、博多電灯軌道）の合併問題に、安川敬一郎や貝島太助、堀三太郎といった筑豊鉱業主とともに関与した。麻生自身には、電気軌道のような地域にとつて重要な事業は、同一地方同一企業という形であるべきだという持論があり、それをふまえての活動だった。ただしこの合併は不成立に終わっている（博多電気軌道は同年九水に合併される）。麻生は翌大正二年九水取締役に就任すると、九州地方特に北部九州地方での活動を行うようになるのである。麻生はまず、九水取締役として、九電鉄との合併交渉に取り組み、ついで前述の九州送電設立問題に関し、麻生太吉の伝記（麻生太吉翁伝刊行会（麻生商店内）『麻生太吉翁伝』麻生太吉翁伝刊行会、昭和一〇（一九三五）年）でも資料紹介を含め語られているような、強い意志を持ってその実現のため運動した。すなわち麻生太吉は、麻生商店が株

式会社化した時期から、炭鉱業よりも電力業での活動に力点を置くようになり、九州送電発起のきつかけとなった五ヶ瀬川水利権認可問題以後はその傾向を強めることとなる。なお、九州送電発起に至るまでの時期が、第三三輯で採録した時期におおよそ相当する。

つぎに、第三四輯の解説を述べておく。同輯で対象とした大正一二（一九二三）年から昭和二（一九二七）年の採録史料は、本輯を含めたこのシリーズで最も内容が充実したものとなっている。同時期に関し、麻生太吉の九州地方電力業界での地位や活動について確認しておく、九水では取締役として引き続きその地位にあり、同職を足がかりに九州地方の電力統制、九水の経営発展のため活動することとなる。なお九水取締役以外の役職として麻生は、同社の子会社となる杖立川水電の社長に就任している。

九水取締役として麻生太吉は、主として電力統制において活動した。麻生太吉は、関係が悪化していた東邦電力（大正一一年、九電鉄と関西水力電気の合併により設立）との間で、合併交渉に関し九水側の主要担当者となっている。九水と東邦（九電鉄）との関係は、大正二年に両社間で成立した合併に関する申し合わせが、九電鉄側の引き延ばしにより進まないまま、大正八年にそれをめぐり訴訟合戦に至り関係が悪化していた。しかし、一三年に、福岡市内九水地下線の東邦への経営委託が犬養毅通信大臣の裁定で延長されたことにより、両社間で対立よりも協調がやむなしという雰囲気が進められた（九州電力編前掲『九州地方電気事業史』、喜多・荻野前掲「電気事業の発展と電力圏の形成」）。大臣裁可に対する九水重役の動向については、たとえば村上巧児書簡（大正一三年五月一七日、六月四日付）や九水出張

所からの報告（同年五月三十一日、六月五日付ほか）がある。

なお九水では大正一三年三月、相談役でありながら経営全体に大きな影響力を有していた和田豊治が死去し、かつ五月の大臣裁定、さらには一〇月に社長に就任した森村開作が九州電気統一計画の方針を抱懐していたことなどにより、東邦との企業間関係の修復、合併交渉再開を行うことを決定したようである（「九州水力の不振と其転換策」『東洋経済新報』第二二五九号、昭和二（一九二七）年）に森村が統一計画にもとづき経営を進めていたことが記されている。すでに同年三月時点で東邦は、九州地方の事業を九水に合併させたいとの意向を持っていた（麻生太吉発大正一三年三月二三日付梅谷清一宛発信原稿）ので、大正八年以来滞っていた合併問題は、その実現に向け動き出すこととなった。森村の社長在任時における東邦との交渉の様相は、九水役員のほか、井上準之助（大分日田出身）を仲介に交渉していたようである。それも含め九水と東邦との合併交渉に関しては、第三四輯所収史料にあるので適宜参照されたい。東邦社内では松永を除き多くの重役が合併に同意している旨の書簡がある。ただし、合併を引き延ばしたい、本音として合併したくない松永の力が強く、結局東邦と九水とは、企業間協定の形で留まることとなる。松永の合併問題に関する見解は、たとえば棚橋琢之助発大正一四年三月一〇日付麻生太吉宛書簡にある。合併に関し基礎となる資産評価については、たとえば年未詳（大正一四年頃）三月五日付棚橋琢之助書簡（第三四輯、六一頁）、昭和二年七月七日付村上巧児書簡がある。なお麻生太吉の活動についてはすでに解説者の著書（前掲書および『筑豊鉱業主麻生太吉の企業家史』裏山書房、二〇一〇（平成二二）年、第三章第五節）でも若干紹介しているので詳細は省いておく。

九水と東邦九州支社との合併問題以外では、九水の経営をめぐる諸問題、九軌との電力戦の様相（大正一四年後半）、同社との連係成立（昭和二年）、九水による南九州地方への進出問題（昭和二年頃）、電灯料値下げ問題、電灯公営問題への対処などに関する史料が採録されている。ただし経営に関しては、それが多岐にわたるのですべてを紹介することはできない。ここでは、南九州地方への進出、人事に関する事柄、会社の資金調達、それに販路拡張に絞って述べておく。

九水の南九州地方への進出は、九州送電が設立され、かつ九州送電株式のうち電気化学工業分を取得したことに端を発している。九水は鹿児島電気、熊本電気に触手を伸ばしているが、この模様は、たとえば熊本電気に関しては、麻生太吉発昭和二年二月一四日付井上準之助宛発信原稿、木村平右衛門発同年三月二二日付麻生太吉宛書簡からうかがえる。いずれも、東邦との交渉でも仲介役となっている井上準之助に、その仲介を依頼している。また村上巧児書簡では、村上が日窒コンツェルンの野口遵に対し、（九水が目指す）「南北九州ノ電力共通ノ途ヲ開」くべく申し出たところ、野口から色よい返事が仄めかされたようである（村上巧児発昭和二年四月四日付麻生太吉宛書簡）。ただしこれら電力企業と九水との関係は、結局進展はしていない。一方で鹿児島電気については、麻生太吉日記に若干ふれられているが、本シリーズでは見出せない。

九水の人事に関しては、もともとの会社発起人が九州と東京とに大別され、役員就任も同様だったことから、意思疎通の不円滑が問題となり得た。和田豊治在世中は、彼が両方をまとめる位置にいた。しかし和田死去後は、地元との折衝などでは九州重役が活躍していた一方で、東京在住重役は、社長を歴代輩出していたものの、その経営に対

する熱意はさほどでもなかった。それが九州重役の不満となったが、棚橋琢之助専務らによる村上巧児の営業担当からの解職がきっかけで、それが表面化している。九州と東京都の關係不円滑、村上の処遇問題については、大正一三年七月二日付の村上巧児宛発信原稿、あるいは昭和二年九月から一〇月における、村上や麻生觀八と麻生太吉とのやり取りから、それがうかがえる。

九水の資金調達問題については、金融機関からの借入れに関し、棚橋琢之助専務が中心となり中央方面（東京、大阪）での調達を志向していた史料が散見される。それ以外では、大正一四年から昭和二年にかけて、外資の導入に関する史料がある（たとえば大正一四年に関しては第三四輯、八一〜八七頁所収史料）。外債は森村社長が積極的であり、麻生太吉は慎重に考慮を要するとしている。結局森村の提案は通っていない。

販路拡張に関しては、電気を使用した化学工業への進出、それに九軌との電力戦に関する史料がある。前者については、九水ではすでに大正九年時点で日本電化工業工場を買収するなどしている。第三四輯所収史料では棚橋琢之助書簡（大正一二年五月三日、同一四年八月一九日付）にその痕跡がうかがえる。

杖立川水電に関連するものとしては、松野鶴平（熊本県選出の政友会所属代議士）、電気化学工業専務藤山常一らとの交渉経過につき報告した村上巧児とのやり取り、熊本県側出資分の九水による取得過程で生じた問題などについては、大正一二年六月二日付村上書簡、同年一二月一六、一八日、一三年三月二三、二七日、四月一六日、八月一八日付の各発信原稿などからうかがえる（八月一八日付は棚橋琢之助宛）。特に九水にとって懸案となったのが、熊本県側出資分の買収で

ある。九水ではそれを取戻すべく、プレミアムを付して買収交渉に取りかかっており、麻生太吉や村上巧児が中心となり、その任に当たっている。なお該案件に関し、麻生觀八九水監査役が、政友会所属の松野を利するような買収に反対している史料もある（四月一六日付村上巧児宛のほか同日の棚橋琢之助・梅谷清一宛発信原稿）。これは麻生觀八が、大分県政友会の政友本党との分裂に際し、本党側に移籍したことで生じた問題であった。清浦奎吾内閣および護憲三派との対立が、九水の経営にまで影響が及んだことがうかがえる。結局五月の総選挙により護憲三派が勝利し、該問題は収束している。

経営に関しそれら以外で若干拾っておくと、労務管理関連では、従業員の間盟罷業に関し、博多電気軌道従業員からの嘆願に関する史料がある（九水営業部発昭和二年一月一〇日付麻生太吉宛書簡）。なお大分県内の九水の電車部門に関しても、村上巧児による労働者による待遇改善要求と、それを妥当なものとする見解を示した史料がある（大正一五年九月一八日付）。

九水と九軌との連係成立に関しては、大正一四年前半期においては、九水と九軌との間では宥和の雰囲気もあったが（棚橋琢之助宛同年三月二八日付麻生太吉発信原稿）、ほどなくして電力戦の勃発となつている。それに関しては、たとえば村上巧児書簡（大正一四年一〇月二六日、一月七日、一二月三日、同月一二日付、一五年二月一〇日付など）からは、両社間の激しい攻防の一端がうかがえる。激しい消耗戦が限界に達したためか、大正一四年後半から一五年初期の電力戦が収まった後の昭和二年八月、九軌より合併の申し入れがあった。これにより、九水、九軌両社間の關係は協調色を強めることとなり、電力融通を軸にまとまることとなる（合併申し入れがうかがえる



史料として村上巧児書簡昭和二年八月二四日付、電力融通契約に關しては同九月一三日付)。両社の協調關係は、すでに昭和二年時点、あるいはそれ以前の大正末年時点で何らかの接觸があった(村上巧児書簡昭和二年三月三日付、あるいは大正一五年一月二七日、二月二日付)ものの、同時並行で競争状態も継続しており(村上巧児書簡大正一五年二月一〇日付)、本格的に協調氣運が高まるのは昭和二年以降であつた。結局、電力融通に關する契約書締結で具体的な形として結実し、さらに両社間では昭和四年以降、麻生太吉九水社長の下で、九軌の關係会社化へと進展するのである。

なおこれに關し、大正一四年一〇月一四日付村上巧児書簡は、九水と九軌との競争關係と、電氣行政にもとづく九州地方電力統制との關係がうかがえ興味深い。そこでは村上が、田辺隆二熊本通信局長から面会を求められ、電力戰に關し「事業ノ安定ヲ損セサル程度ノ争奪戰ハ事情余義ナシト覚悟シ居ル旨返答」している。通信局でも九水、九軌間の電力戰について関心があつたことがうかがえる。なおこの会見で田辺局長は「九軌カ寿命ニ限リアル石炭ヲ生命トシテナカラ強テ無謀ノ拡張ヲ行ヒ石炭ノ濫売ニ努ムルハ笑止ナリ」という見解を洩らしていたとされる。これからは、原敬内閣・野田卯太郎通信大臣以来の電力、石炭を通じた総合的なエネルギー資源対策(新鞍前掲書、第五章第一節)が、それ以降の電氣行政にも意識されていたことがうかがえるのである。

つぎに、本輯第四二輯で採録した史料について解説しておく。当該期は、大きなトピックとなるようなものは、それ以前の時期に比べると少ない。麻生太吉は昭和三(一九二八)年一〇月、取締役会の互選

で社長に就任している。本輯で多くの史料採録が期待されたが、残念ながら以前よりも数量、中身ともにそれに見合っていない。電話の普及が本格的となり、以前のように書簡で要件をつぶさに報告するといふことが、それ以前に比べ少なくなったように思われる。もともとこれは、しばしば麻生自身が行った資料整理の対象として、来状箱とは別に一件書類として、電力業に關する資料として整理され、保管も別にされたためかも知れない(なお麻生は昭和五(一九三〇)年五月、明治期より作製していた緊要書類を再調査し保管し直している)、その際に一件書類も、何らかの方針にもとづき再整理、あるいは保管し直した可能性がある)。一方で麻生太吉日記では、それ以前の時期特に大正末期以降において、電力業關連の記述が多くなされている。そのため本輯で取り上げる時期についても、前の二輯同様、日記による補足が欠かせない。特に昭和五、六年に關しては、来状箱が見当たらないので、日記の記述は貴重なものとなる。

そうした限界をふまえつつ、本輯採録史料の概要を記しておく。まず、第三四輯でも中心的なトピックであつた他の電氣事業者との關係、特に東邦との合併問題について、それを九州地方の電力統制との關連も含めみておく。これに關しては昭和三(一九二八)年前半期までの史料が多い。特に、村上巧児(九水常務兼杖立川水電專務、のち九軌が九水の支配下に入った時点で同社專務に転進)と麻生太吉のやり取りが書簡、発信原稿ともに多い。九水側は麻生太吉や村上巧児、麻生觀八といった九州地方在住重役、それに柵橋琢之助專務、木村平右衛門常務などが、東邦からは海東要造常務が交渉に關係していた。九水側は、九州在住では麻生太吉、本社役員では柵橋がそれぞれ交渉に關する委員長として選び(村上巧児発昭和三年三月一日付麻生太吉

宛書簡)、年央にかけて幾度も東邦と接触、交渉している。九水の課題は、合併に乗り気だった海東よりも、それを避けたい松永安左衛門をどのようにして方針転換させるかであった。なお七月時点で九水は井上準之助の手を煩わせることも考えていたものの、結局合併に至らず、七月時点では、地下線問題を理由に戦争すら考えているまでに至っている(村上巧児発昭和三年七月二日付麻生太吉宛書簡)。それからも明らかのように、東邦との合併に関する交渉は同年夏頃には頓挫することとなる。そして麻生太吉の社長就任後の九水は、東邦とは九州送電の事業開始(昭和四年)もあつてか、両社間の協調関係を保ちつつ、他方で九軌の掌握に向かうこととなる。なお昭和八年五月九日から一日付の電報原稿からは、東邦より何らかの提案があつたことがうかがえるが、残念ながら詳細は不明である。

なお、東邦との合併問題でも活躍した麻生観八に関し、後の行論との関係で若干補足しておこう。大分県玖珠郡在住で九水監査役だつた麻生観八は昭和三年の七、八月の交に死去しているが、その後の監査役後任に関し、大分県内の関係者あるいは政治家からの申し入れが散見される(井上武発昭和三年八月二十九日付による後藤豊三郎の、橋爪安彦発昭和四年五月九日付、同発同年六月六日付、金光庸夫発昭和七年一〇月二三日付による麻生益良の推薦)。結局七年末、麻生観八の子益良が、麻生太吉の推薦により同役に就任し、親子二代での九水経営への関与、特に大分県内に関するそれが行われることとなる。

つぎに、九水と地域との関係に係わる事柄についてふれておく。これに関しまず目立つのは、九水の供給区域である東九州地域(福岡県東部、大分県、宮崎県)に関する史料が見られることである。これは当時、電気事業特に電灯に関し、地方公共団体が経営に意欲を持って

いたこと、および昭和初期に全国各地で起こった電灯料値下げ問題と関連する。前者に関しては、財源に乏しい地方において、人口があつたかつ密集する市街地を有していた市クラスにおいて、その傾向があつた。九水管内では宮崎市が大正末期から、大分市でも同時期から、別府市では昭和七年頃からそれに関する意欲を見せており、九水も該問題に対処したことがうかがえる。特に別府市に関しては、麻生益良が現地有力者と接触を図っている。大分県在住九水重役は、前述の麻生観八のほか、県内財界の大物だつた長野善五郎(九水取締役のち監査役、二十三銀行頭取、大分セメント役員など県内有力企業経営に参与)がいた、しかし長野は六年に死去しており、益良の監査役就任は、欠員補充という理由以上のものであつたことが推測される。益良の九水重役就任は以前から大分県内で待望されており、それに関する史料も散見される。後者の電灯料値下げ問題に関しては、それに関する若干の記述は散見されるが、まとまつたものは残念ながら少ない。これについては麻生太吉日記も同様である。該問題に関しては、当時の新聞報道が、電気事業者、地元民ともにその意向や活動の詳細を報じているので、そちらを参照すべきと思われる。なお本輯採録史料では、大分県内各所特に別府市に関するものが、村上巧児(村上巧児発昭和三年八月二三日、同年九月一日付麻生太吉宛書簡)や麻生益良の書簡(昭和八年の麻生益良書簡)から、それをうかがうことができる。

なお九水と地域との関係という点では、大分県選出帝国議会議員クラスと接触している史料もある。特に一宮房治郎(政友会、のち民政党に移籍)は、村上と交友関係にあつたことに加え、浜口雄幸民政党内閣時に臨時電気事業調査委員会にもなつていた。後進の人材育成の点も加味し、麻生は時に政党の枠を越えて支援している。

これら以外では、九水による延岡電気引き受け後、地元民からの公園での楼籠点灯要望に関し、それを快諾した旨の書簡がある（甲斐富発昭和八年三月二八日付麻生太吉宛書簡）。電力企業による地域との付き合い方の一端がうかがい知れる。

東邦以外の電力企業との協調、関係会社化に関しては、麻生太吉の九水社長就任後、延岡電気（昭和五年三月頃交渉成立）、九軌（同年秋交渉成立）として結実している。なお延岡電気については昭和五年三月頃の採録史料に、同社を所有していた旧延岡藩主内藤家、および三井財閥（団琢磨）への発信原稿が採録されている。

九州地方全体の電力統制との関連では、麻生太吉の伝記でも一項を割いて取り上げられている（前掲『麻生太吉翁伝』、および泉彦蔵著・大田黒重五郎監修『麻生太吉伝』（麻生太吉伝刊行会（九州水力電気および九州電気軌道株式会社出張所内）、昭和九（一九三四）年）、九州共同火力問題に関する史料が採録されている。これは麻生太吉の電力業での活動において最後の仕事となった事案である。これに関し、麻生太吉からは、昭和八年一月九日付（この時点で麻生太吉は死病の床に就いていた）の木村平右衛門、牧田環（三井鉱山）宛電報原稿がある程度だが、他方で増永元也（元鉄道省電気局長、九州送電嘱託）からの書簡が採録されている。麻生太吉宛増永書簡（昭和八年九月二九日、一〇月六日付）からは、電気事業法が改正されてほごない時期の九州地方電力界を揺るがした、三井財閥と熊本電気による共同火力発電設立問題に関し、彼らの私益優先の姿勢を批判し、かつ公益にもとづく九州地方電力統制に邁進すべきであるという麻生太吉への進言が鮮やかに記されている。もちろんこの増永の、電力統制を通じた公益の実現という考えを、麻生が保持していたことは言うまでもな

い。

なお増永に関しては、昭和六年以降における、八幡製鉄所への給電申し入れについての、麻生とのやり取りについても、書簡や発信原稿が採録されている。そこでは麻生が、同所への給電は国家経済に奉じることになる、という信念のもと行おうとしていたことがうかがえる（これに関する史料としては麻生太吉発昭和六年九月一六日付発信原稿、七年四月二二日、同年五月四日付麻生太吉宛書簡など）。

麻生太吉が抱懐していた、九州地方の主要産業をひとつの経営体（コンツェルン）としてまとめろべきであるという持論（『麻生太吉伝』）と電力業との関連では、本輯採録史料では少ない。わずかに、それ関し意見の一致していた松本学（浜口雄幸内閣時に福岡県知事に就任、昭和六年離任）、幾人かの政治家などへの働きかけたたとえば松野鶴平、中橋徳五郎、山本達雄（大分県出身の経済人で政治家、民政党重鎮、斎藤実内閣で内務大臣）などへの働きかけに関する発信原稿からは、それが仄かに垣間見える（松本学宛昭和七年五月二〇日付発信原稿、同年六月中旬の木村平右衛門、堀三太郎宛電報原稿ほか）。該問題については、日記でもその形跡がうかがえるので、そちらと合わせて参照していただきたい。

電力業と麻生太吉のもともとの活動基盤である石炭業との関連史料は多くないが、電力企業と炭鉱企業との間における、電力と石炭との決済関係（債権債務関係）については、九水と川崎炭坑（福岡県田川郡所在）、三好鉱業（同県遠賀郡所在）とのそれが、昭和三年八月時点の史料にある（木村平右衛門発昭和三年八月一八日付麻生太吉宛書簡、なお第三四輯所収の永井菅治発大正一五年八月二三日付麻生太吉宛書簡にもそれについて痕跡がある）。また草刈雄治による昭和七年

年末の麻生太吉宛挨拶状（同年一二月三〇日付）では、九水と九軌との水火併用にもとづく効果的連係が記されており興味深い。それら以外では、九軌が川上への垂直的統合として炭鉾（田川郡所在の香春炭鉾）の所有に乗り出したことに関連し、大田黒重五郎書簡がある（昭和八年四月二日付）が、内容は挨拶程度である。

なお当該期に関する重要な事柄として、昭和五年から六年にかけての九水と九軌との連係、合併交渉およびその後の不正手形事件があるが、こちらに関する史料は乏しい。もっともその後処理に関しては、たとえば昭和八年時点での金融関連の史料（八塚秀二郎発四月八日付、村上巧児発四月二四、二八日付、八塚秀二郎・黒木佐久馬発一月一日付書簡）がある。とはいえこれについては、麻生太吉日記の昭和五年一〇月以降の記述（なお事件の世間への公表は六年六月）、さらには文献資料でも多くふれられているので、そちらを参照していただきたい。

それら以外では、昭和三年麻生太吉の社長就任（一〇月、取締役会で選出）により、本社からの報告が散見される。内容は日条業務に関する事柄であり、特記すべきものは少ないと思われる。ただし神都電気興業（昭和六年、九水宮崎営業所を独立させ設立）から麻生太吉宛に、同社で実験的に行われていた電気利用の農業に関し、温室栽培のメロンを送付した際の送り状や麻生からの発信原稿がある。これは、彼の農業・農村電化推進の一端をうかがうことが出来る貴重な史料である（昭和七年六月二九日付、八年七月四日付の書簡、あるいは七年七月一日付の発信原稿、七年一月四日付麻生太吉宛書簡も同様）。

解説の最後に、麻生研究で利用される史料群との関係で若干補足し

ておく。麻生太吉の電力業での活動分析に関しては、日記をベースに、書簡・電報や伝記で補足することが必要と思われる。そのため『麻生太吉日記』の利用は必須である。またそれ以外の史料としては、第三輯解説で示した史料群、それに麻生太吉の廉書も参照すべきである。後者は日記以外で麻生太吉が自筆で残したメモ類である。麻生は明治期からこの類の書き付けを、冊子で残していた。大正末期頃までは罫入りの冊子に、七〇歳の頃から死去するまでは小型のノートにメモしている。ほとんどは麻生自身の墨書きであるが、一部は執事の筆と思われるものもある。ただしこれに関しては、使用される筆先の違いで、麻生自身のものとも思われるので、すべてが執事によるとは断定はしないでおく。

〔附記〕本輯の編集および作製に関し、九州大学付属図書館附設記録資料館の三輪宗弘教授には種々御世話になった。記して感謝いたします。なお第三四輯刊行後、本輯所収内容の翻刻を速やかに行うべきであったが、解説者の眼病により遅延したことをお詫びしたい。

## 凡 例

全体について

- 一 一部例外を除き漢字は常用漢字を使用し、異体字・略字等は新字体に変更した。
- 二 固有名詞の一部には旧字体を用いた（マツモト恣ゾウ）。
- 三 判読不能文字は□とした。
- 四 変体カナのうち而、江はそのまま漢字を、子はネとして表記した。者は原則は「は」とし、一部はそのまま表記した。文字の大きさは変更していない。
- 五 歴史的仮名遣いであるゑはえとして表記した。
- 六 合字のフはコト、フはよりに変更した。
- 七 繰り返し記号のうちゝは々、々・ゝ・ゝ・ゞ・ゞはそのまま表記した。
- 八 翻刻者による注記は「」を用いた。
- 九 抹消された文章・文字等は採録せず、修正されたものがあればそのみ採録した。
- 十 原史料に誤字・脱字がある場合は傍注として「」を付した場合がある。
- 十一 原史料の人名は、特記する場合に限り文中に注記を挿入した。一部伏せ字としている。九州水力電気株式会社やその傍系会社、他系統の電力企業役員など人名については、一部を除きこれを省略した。ただし麻生太吉と麻生観八については、混乱を避けるため、推測可能な範囲で文中注記した。
- 十二 蔑称語や差別語は歴史的史料という性格からそのまま採録した。

書簡・電報史料全般に関する採録上の規則について

- 一 発信者の後に付してある（ ）は発信地を表記している。書簡の場合は封筒に記載されている住所をそのまま採録した。電報の場合電報局であり原史料では片カナ表記されているが、これを漢字表記に修正の上採録した。
- 二 着信者の後に付している（ ）は着信地を表記している。書簡の場合は封筒に記載されている住所をそのまま採録した。略記されている場合、県市郡町村字名などは翻刻者において補足していない。電報の場合は片カナを漢字表記した。ただし略記されている場合県市郡町村字名などは翻刻者による補足はしていない（例・カホグンイツカ↓嘉穂郡飯塚、ニホンバシスキヤチヨウ↓日本橋数寄屋町）。
- 三 発信者住所、着信者宛先が未記載の場合は（ ）を付していない。なお一部に県名や郡市町村字名等が未記載のものがあるが、翻刻者において補足していない。
- 四 史料の作成年月日は書簡の場合、本文中の月日を以て作成年月日とした。本文中にこの記載がない場合は、封筒にある月日を以て作成年月日とした（投函年月日とせず）。電報の場合は消印を以て作成年月日と推定し、翻刻者による推定は特記しない限り行わなかった。
- 五 書簡において本文や封筒で作成年月日が不明の場合は、消印があるものはこれを以て作成年月日とし、その旨表記した（例・昭和三年一月一〇日消印）。
- 六 書簡において切手が切り取られている等により作成年月日が推測できない場合は、麻生家文書にある「来信簿」各年の来着年月日を参考にしながら作成年月日を表記した（推定の特記は煩雑になるのでこれを行わず）。なお前後の史料や文脈から作成年月日を推し図った場合がある。なお作成年月日を推測する場合は頃、あるいは（ ）を付した。
- 七 以上に依っても年月日未詳のものは史料の出所（保管状態）を根拠に、当該年次の最後に配列。
- 八 特記とはここでは協付、取扱方法、特定郵便方法に関する情報を摘記したものである。書簡の場合、宛先記入欄にある部分を

記載した（例・侍史、親展、至急、書留、配達証明など）。ただし御中など一部は省略した。また書留にある番号票も再録しなかった。電報の場合は電報送達紙にある「指定」の部分に記載された指定略符号を表記した。指定略符号は以下の通りである。

ウナⅡ至急、ムニⅡ照校、ニカⅡ親展、ナチⅡ再送、ララⅡ時間外、ムヨⅡ同文（＋漢数字）、チラⅡ追尾、ムナⅡ留置  
形態は書簡のみ採録した。封筒のある場合は封書、ない場合は紙または罫紙とした。なお（ ）では、印刷された差出人名・住所等限定の封筒に関する情報を摘記した（例・九州水力電気株式会社出張所用封筒）。

十 内容物は封書の場合、紙と罫紙に分け採録した。なお罫紙が特定の会社・個人等により作成されたものに関しては（ ）にその情報を摘記した（例・九州水力電気株式会社用罫紙）。

十一 授受の形は書簡のみ採録した。消印がある場合は郵送、ない場合は手交として分類した。

十二 会社名等是一部を除き文中注記していない。なお主に登場する九水、東邦、九電鉄、九軌、熊電などは解説の文中注記を参照されたい。

#### 書簡の採録について

- 一 句読点は原史料にない限り付していない。
- 二 捺印は印とし傍注で内容を適宜採録した。ただし不明等にて一部採録していない。
- 三 敬意を表するための欠字平出は省略した。
- 四 匆々・敬具等の位置は下方に移動させたものがある。
- 五 書簡発信者による本文欄外記述は本文の次条に〔欄外〕ないし〔巻頭欄外〕とし続いて当該文等を採録した。
- 六 受信者（ほとんどが麻生太吉）による後筆は、必ずしも太吉の手によるものではないが〔麻生後筆〕とし、本文の最後に配置

し該当文等を採録した。本項前条の〔欄外〕等に相当する文章等がある場合はその後に配置した。

七 受信者（ほとんどが麻生太吉）による封筒への書き込みは該当採録史料の最後尾に〔封筒麻生後筆〕とし該当文等を採録した。

#### 電報の採録について

- 一 電文は原史料のまま採録した。句読点も同様。
- 二 原史料にある○や「」は電文中の読点であり、これはそのまま採録した。
- 三 読者の便宜を図るため訳文を「」として原文の次に挿入した。なお一部意識した場合がある。文意が計りかねる場合はその箇所のみ原史料のまま表記した。ただし文意不分明につき訳文を付していない場合がある。
- 四 原史料が漢字片カナ交じり文の場合は訳文を付さなかった。
- 五 電報送達紙にある受信者による後筆は書簡同様〔麻生後筆〕として訳文の次に配置し採録した。訳文が必要な場合は適宜訳出し後筆文等の次に配置した。ただし後筆が受信者によるものと判断できない場合は採録しなかった。

\* 史料の翻刻、編集および入力には新鞍拓生が担当した。



〔昭和三（一九二八）年〕

タイトル（整理番号）…昭和三年「発信原稿」（ぬー三）

作成者（発信地）…麻生太吉

宛先（受信地）…太田黒重五郎

作成年月日…昭和三年一月六日

形態…冊子

拝啓寒氣嚴敷御座候処益御清康奉慶賀候先般九水重役会之節は御厚配により減配之件も円満ニ解決致将来会社之基礎も鞏固を加ふるに至り而已ならず地方株主一同も満足せられ候様被存御同慶ニ奉存候又此節ハ無存懸御地名物席屋之菓子御贈与ニ預り御心入之段難有御受拜味仕候田舎之事とて当地より□りきもの無之候得共博多名物鶏卵素麺御贈呈申上候御笑納被成下候ハ、本懐ニ奉存候先ハ以書中御礼旁如斯ニ御座候

太田黒重五郎様 一月六日

敬具

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S三一六三）

作成者（発信地）…井上博通（宮崎県西臼杵郡高千穂町）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡県飯塚町立岩）

作成年月日…昭和三年一月六日

特記…なし

形態…封書（九州送電株式会社出張所用封筒）

内容物…紙

授受の形…郵便

謹啓嚴寒の候ニ御座候処御尊体ニハ御恙在せられず益々御健勝ニ被為涉候段奉慶賀候陳者過日ハ芳書難有拜受御訓諭の義ハ心ニ銘し一同協心共力以て重役各位の御期待ニ悖らざる様相箴め居申候

工事経過ニつきてハ旬報其他ニて木村取締役殿ニ御報告仕居候ニ付同重役殿より御聞之御事と存候得共最近工事の概況別記之通り御手許迄差出申候間御高覧奉願候

尚御申越相成候芳賀種義殿令息中村義磨君ハ目下田代建設所倉庫係ニ勤務せられ候此後及はずながら御世話可任申候先ハ右申上度如此ニ御座候

一月六日

井上博通

麻生太吉様

御左右

敬具

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S三一三三）

作成者（発信地）…棚橋琢之助（福岡市大字庄三五番地九州水力電気株式会社福岡管理部）

宛先（受信地）…麻生太吉（浜ノ町）

作成年月日…昭和三年一月一七日

特記…なし

形態…封書（九州水力電気株式会社福岡管理部用封筒）

内容物…野紙（九州水力電気株式会社用野紙）

授受の形…手交

昭和3年1月17日

棚橋代 印

麻生太吉殿

拝啓今朝御話申上候今回通信省ガ従来ノ大口電力供給会社ニ対スル營業認可附帯命令書ヲ改正スル事ニ決定シ十三日附発令致候由ニテ別紙大阪毎日新聞切抜御覽ニ供シ候間御承知被下度候

右ニ依レバ九送〔九州送電〕会社ハ従来五拾馬力以上ノ制限ナルモノ一邸宅又ハ一構内毎ニ之ニ準スル場所ニ対シテハ通信局長ノ認可ヲ得テ他ノ供給区域ニ於テモ電力又ハ電灯ヲ供給差支ナキ事ト相成至極好都合ト相成候モ一方是迄九送ノ權利タル五拾馬力以上ノ供給ハ電灯ト電力ト併セタルモノニテ宜シカリシモノガ電力ノミニ縮小サルル儀ト相成申候

右ニ就テハ井上支配人ニ対シテ注意相加ヘ置候ニ付御承知被下度候

勿々

〔別紙・大阪毎日新聞切り抜き〕

大口電力供給附帯命令の改正

通信当局は従来ノ大口電力供給会社に対する事業認可の附帯命令を改正することに決定し十三日各地通信局を通じてその旨を発表した

### 改正命令

会社は電力供給のみを目的とする供給区域内においては一邸宅又は一構内毎に百馬力未満の電力（電灯用電力を含まず）を供給することを得ず、但し所轄通信局長の認可を受けたる場合は一邸宅又は一構内に準ずる場所に電力を供給し又は電灯用電力をも供給することを得、前項の規定は電気事業に電力を供給する場合はこれを適用せず

（備考）旧命令 会社は電力供給のみを目的とする供給区域内においては一邸宅又は一構内毎に百馬力未満の電力を供給すること

を得ず

しかして関西地方において右規程を適用される会社は日電、大同、大阪電力、阪急、大阪市電、山陽中央水電等の諸会社であるがこの中山陽中央水電会社の如く五十馬力を限度として供給を行つてゐるものはその影響も相当重大なわけである

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S三一―一二三）

作成者（発信地）…村上巧児（大分市南新町杖立川水力電気株式会社）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡市浜町）

作成年月日…昭和三年一月二〇日

特記…御直披

形態…封書（杖立川水力電気株式会社用封筒）

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓愈御清安奉賀候扱本年杖立ノ工事段取ハ杖立第三工事着手、女子畑第二貯水池起工、大船山貯水池調査ノ三件ニ手配致度女子畑ト杖立第三トハ設計出来致候間棚橋今井両氏ノ同意モ受ケ来廿七日各関係技師ト現場ヲ視察シ廿九日頃ニハ福岡ニ於テ親シク御説明申上御指導ヲ仰キ度候間何卒当日御在福被下候様奉願候

大船山ハナカノノ大工事ニ付先日土木博士連ノ指示ニヨル井戸堀相試度最早工事請負人モ決定目下施工着手中ニ付五月頃迄ニハ地質モ詳細判明シ設計ニ取掛ル様致度精進罷在候間左様御承知被下度

日向水電ヨリ引継ノ岩瀬川工事ハセメント不硬化十間余ニ上リ一時困入候モ直ニ工□程ヲ取過シ目下善後策相講居候間御心配被下間敷其他

ハ予定ノ通り順調ニ進行致居候

水利権ハ大野川向野水路鈴木ノ申請昨冬本省ヨリ事業ノ見込ナシトテ却下ト相成候間此機会ニ確實之認可ヲ得多年ノ懸案ヲ解決致度手配罷在候御高庇ニヨリ大分県知事ノ好意非常ニテ便宜多ク誠ニ喜居申候電□ト相成候得共過日ハ知事招待ニ対シ御迷惑相掛恐縮致候翌々日知事ハ杖立川各発電所ヨリ五馬水路三号水路等ヲ視察サレ大満足ニテ帰県相成候昨今知事ハ全ク親類ヅキ合ニテ偏ニ御高配ノ結果ト難有奉存候九水ノ飛躍此際ニアリト存候此上トモ諸事御督励奉願上候右御左右御何方々近情申上度如此御座候頓首

一月廿日

村上生

麻生老台

侍史

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S三一八九)

作成者(発信地)…久保田貞次(福岡市大字庄参拾五番地九州水

力電気株式会社福岡出張所秘書課)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町)

作成年月日…昭和三年一月二二日

特記…至急親展

形態…封書(九州水力電気株式会社用封筒)

内容物…野紙(九州水力電気株式会社用野紙)

授受の形…郵便

親展

昭和三年一月廿一日

九州水力電気株式会社

麻生取締役殿

偽造株券発見報告

秘書課 印  
久保田貞次

拜啓陳者本月十五日当社東京本社宛名古屋市中区裏門前町三丁目<sup>株式</sup>百五銀行岩井町支店より当社株式式百拾株(百株券式枚拾株券壹枚、壹株五拾円払込済)を売渡委任状と共に郵送の上其の真偽鑑別方照会有之候に付本社に於て取調候処株券竝に委任状共に偽造なる事を発見致候間直ちに警視庁に届出で同行に於ては十六日夜刑事を名古屋に派遣し犯人捜査手配の上十七日遂に逮捕致候犯人は××なる者と分明仕候偽造株券は日向水電合併の結果発行したる株券と同一株式のものにて偽造の部分は株券番号株主氏名割印及押印(参銭の税印)にて他の部分は本株券と全然全一なるものに御座候畢竟印刷屋株式会社五庄堂に於て印刷の際余分に印刷したるものが持出されたるものと想像被致候

株券名義は国武金太郎と印刷致しあり察するに久留米市国武合名会社代表社員国武金太郎氏の名を盗用したるものと被存候間森村社長竝欄橋専務の御指示も有之昨日久留米市に出張仕り国武氏方を訪問の上事実の経緯を釈明致候処同氏も此を諒とし安堵せる旨申居られ候間御諒承相成度先は右本社よりの報告に基き不取敢事件御報告申上度如此御座候

追而右の事実本社に於て去る十七日開催の定例重役会に報告相済居候間御了知相願度申添候

尚国武氏も××なる者は何等心当り無之申候勿々

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S三一五〇)

作成者（発信地）…一宮房治郎（大分県別府市日名子旅館）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡県飯塚町）

作成年月日…昭和三年二月四日

特記…御親展、侍曹

形態…封書（日名子旅館用封筒）

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓

政界の変動により頓と御無沙汰のみ致し候一昨年来の御眷顧一日も忘るゝの日なく外遊より帰朝致一度拜趨親しく御高教に接し度存居候処今日迄終に其機を得ず誠に心苦しく存居候併し村上君と面晤の節時々御噂は致居候其後益々御健勝之趣慶賀の至に奉存上候扱て福岡方面の消息に依れば老台に於かせられては小生が従来の政治的立場を變じ民政党に入党致候以後も後進御引立の御厚情を以て依然小生に御憐憫を賜はり今般の立候補に対しても御懸念被成下候趣伝承の下感激の至に不堪候由来清貧の小生御厚誼に依り何分の御援助に預かるを得ば或は当選を確保するを得可申甚だ厚顔の至りに御座候へ共此際何卒格別の御厚情を以て何分の御援助奉願上候先は乍失礼以書面右御願ひ申上度如此に御座候

二月四日

敬具

一宮生

麻生老台

御執事

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S三一六八）

作成者（発信地）…三浦数平（大分市南大分）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡市浜ノ町）

作成年月日…昭和三年二月四日

特記…急親展

形態…封書（三浦数平用封筒）

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓

嚴寒之節益々御健勝之段奉賀候さ而貴地にても昨今何かと御多用至極の事と奉存候実ハ昨日出福棚橋、木村両君へ面談委細お願申上度候に付き今回は是非御援助被成下候様御協議相仰き度切望する処に御座候実は拜趨御願可申上筈之処御多用の事と存じ尚又昨今ノ人目を憚るの用も有之候は、特ト書中を以て御依頼願申上度候第二区の成清（信愛）氏出馬決定に付き松田（源治）君式に第一区に廻るの傾きあり尚々三浦寛一君も本日あたり帰県の趣に付き第一区は非常の混戦状態と可相成に付き費用の問題ト帰着すること、相成るべきハ必定に付き右御含みを以て此際御援助相煩度切望する処に御座候先ハ書中如此御座候不尽

二月四日

三浦数平

麻生太吉殿

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S三一七四）

作成者（発信地）…村上巧児（荒戸町）

宛先（受信地）…麻生太吉（浜町）

作成年月日…年未詳（昭和三年）二月四日

特記…御直披

形態…封書

内容物…紙

授受の形…手交

拜啓拝顔致度候得共来客多人数ニ御面接中電話モ毎々御迷惑ト奉存候  
間極秘中ニ書面ヲ以テ申上候本日社棚橋氏ニ東邦ノ件如何ト当方ヨ  
リ切出シ候処始メテ海東〔要造〕君ヨリ受取リタル書類ヲ示シ数字ハ  
大体ニ於テ相違ナキモ何分前年交渉ノ時麻生氏ノ意見ハ飽ク迄松永  
〔安左衛門〕氏ヲ除外シ全会社ヲ九水一手ニテ自由ニ経営スル方針ト  
承知致居ルモ斯クテハ到底実行六ヶ敷結局九水トシテハ大局上東邦当  
局ト協同シテ新会社ノ経営ニ当ル様ニセネハ交渉成立ノ見込ナキ故此  
点ニ付キ両麻生氏始メ各重役ノ根本意見ヲ知り度旨大ニ躊躇致居候間  
心配スルヨリモ貴下直接麻生氏ニ書類ヲ供覧シ両社協同ノ外ナキ旨ヲ  
力説サレテハ如何カト大ニ尻ヲ押シ漸ク本日電話ヲ以テ御面会相願候  
事ト相成候間明日ニテモ棚橋氏御引見ノ上ハ九州電氣事業ノ統一上必  
スシモ東邦ヲ除外セス協同経営モ止ムヲ得サル旨貴意御洩ラシ被下度  
麻生觀八氏モ同様ノ意見ト存候間右ノ真意ヲ棚橋氏ニ御示シ被下候上  
調査ハ急ニ進行ト見込申候唯想像ノミニテ恐怖シ居リ候テハ百日ヲ待  
ツトモ進行覚束ナク候間何卒棚橋氏ヲウント御激励被下候様奉願候海  
東君ハ本月十日上京ノ由ニ付其前ニ数字ノ協議ヲ語り候位ニ御取急キ  
被下度候委細拜面ニ譲リ右取急キ御内報申上度如此御座候

二月四日夕

頓首

村上生

麻生老台侍史

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S三一—一四一）

作成者（発信地）…村上巧児（大分市南新町杖立川水力電氣株式

会社）

宛先（受信地）…麻生大吉（福岡市浜町）

作成年月日…昭和三年二月一〇日

特記…親展

形態…封書（杖立川水力電氣株式会社用封筒）

内容物…紙

授受の形…郵便

拜啓政戦御手配モ連日ノ御尽力ニヨリ一段落シテ御安神ト奉存候小生  
例ノ軍費携提一昨々日帰任早速麻生〔觀八〕氏ニ相渡丁度来分中ノ山  
本〔悌二郎〕農相ニモ知事ヨリ好意ヲ密報引続キ木下謙次郎氏モ帰郷  
陣容全ク成リ候由ニテ麻生氏ハ元氣ヨリ昨日帰郡相成候今日ノ形勢ニ  
テハ金光〔庸夫〕候補最高点成清〔信愛〕氏モ当选確美、元田〔肇〕  
元老ハ却テ手配不行届ノ処へ一昨日帰郷致例之風ニテ臨床ノ為運動支  
離滅裂今朝来大混雑ノ模様ナルモ結局ハ当选、三浦数平氏ハ御手洗覺  
巴氏ニ推サレテ最モ苦戦容易ニ勝味ヲ見出し難ク同情此事ニ存候松田  
〔源治〕一宮〔房治郎〕両氏ハ立候補少キ為メ安全ニ当选ノ見込例ノ  
御内諭ニヨル珍品贈与ニハ兩人共非常ニ感謝致候一宮氏殊ニ軍費欠乏  
氣之毒ニ存候位人物本位ニテ御一考奉願候  
知事大満悦ニ付キ此機会ニ多年懸案ノ大野旧向野水路ヲ認可ヲ得度手  
配中目下ノドサクサハ却テ都合是非目的達成致度努力罷在候何ト申  
シテモ金ノ威力ニテ電氣会社ノ如キ民衆の事業ニハ特ニ其必要ヲ痛感

致候

次ニ東邦海東〔要造〕君八十日上京ノ事ト存候間一件折衝ハ是非月末臨時總會ノ重役会ニテ正式ニ取斗候様御助言被下度九水ハ死活ノ分ル、処ト存候間棚橋氏任セニテハ誠ニ心細ク存候各常務モ上京致候様御注意被下候ハ、難有奉存候木村君モ自分カラ申致兼ヌル模様ニ御座候

女子畑新野水池ハ御諭示ニヨリ早速漏水個所ノ表土除去並ニ現在貯水池一部ノ泥埋メ工事手配中ニ有之候結果ニヨリ新堰堤ノ位置モ計画決定致度取急キ居候間左様御承知被下度候昨日御手元ニ差上候旬報ノ通リ各方面共順調ニ進行中杖立第三モ三月末ニハ工事着手ノ段取ト可相成一層督励罷在候本月二十日投票日ニハ山口恒太郎氏ノ為是非帰福一票ヲ投シ度ト存居候間何レ拜鳳万々可申上取敢右御報告迄如此御座候

二月十日朝

村上生

麻生老台

侍史

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S三一―一四三)

作成者(発信地)・・・村上巧児(大分市南新町杖立川水力電気株式会社)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(福岡市浜町)

作成年月日・・・昭和三年二月一三日

特記・・・親展

形態・・・封書(杖立川水力電気株式会社用封筒)

内容物・・・紙

授受の形・・・郵便

拜啓愈御多用ト奉拝察候扱先日ハ電話御申越ノ一宮〔房治郎〕ノ件ト度本人大野郡方面出勤中当分帰分無之由ニ付本日信用アル者ヲ密使トシテ大野郡ニ差遣シ候間左様御承知被下度何レ本人ヨリ御札状差上候事ト存候

梅谷氏一周忌本月十六日中津ニテ執行ノ由ニ付本日棚橋氏ヨリ当日迄ニ九水ノ吊慰金贈与致度代理申越サレ候御高配ニヨリ決行ノ段取ト相成殊ニ故人モ地下ニ感激之事ト奉存候小生ハ十六日右一周忌法会ニ列シ日田ヨリ杖立ニ入り現場巡視十八日頃帰福ノ積ニ付万々期拜鳳申候右申上度如此御座候

尚々小生不在中御用ノ節ハ万事内本ニ仰付被下度自宅電話大分六二四番ニ御座候

二月十三日

村上生

麻生老台

侍史

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S三一―一三二)

作成者(発信地)・・・村上巧児(大分市南新町杖立川水力電気株式会社)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(福岡市浜町)

作成年月日・・・昭和三年二月一四日

特記・・・親展

形態・・・封書(杖立川水力電気株式会社用封筒)

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓愈御清安奉賀候扱梅谷清一氏吊慰金ハ前便申上候通り来十六日  
一周忌法要ニ未亡人ニ贈呈方棚橋氏ヨリノ代理往訪依願越シ本日九水  
筑後水力分右計金七万円也小切手送り来候間杖立分参万円ヲ合セ同時  
ニ贈呈鄭重に挨拶致度候間社長代理御承知被下度右参万円ノ支弁口ハ  
追テ拝鳳御相談可申上候右御願迄申上度如此御座候  
二月十四日  
頓首

二月十四日

村上生

麻生社長殿

侍史

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S三一―一三五)

作成者(発信地)…一宮房治郎(大分県臼杵町にて)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡県飯塚町)

作成年月日…昭和三年二月一五日

特記…御親展

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓

厳寒の候益々御御清祥奉大賀候扱て今般小生立候補に就き多年の御厚  
情に依り村上巧児君に托し御見舞金御恵賜に預かり難有拝受感謝之至  
に不堪候御高誼に依り小生も奮闘当選を期し他日の御報恩を期し度奉  
存候先は右不取敢御礼申述度如此に御座候  
敬具

二月十五日

一宮生

麻生老台

侍史

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S三一―一九九)

作成者(発信地)…海東要造(福岡市天神町東邦電力支店)

宛先(受信地)…麻生太吉(嘉穂郡飯塚町)

作成年月日…昭和三年二月二〇日

特記…なし

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拝復益々御清適被為渉奉慶賀候陳者本日御来示之本年一月より有効之  
弊社優待乗車券は每期発行前九水当地出張所と打合せ同一枚数交換之  
事ニ取斗居候為今回も亦其例ニ慣ひ発行前係ニ於て貴社福岡出張所と  
御協議申上候処貴下宛之分を「社員一名」に書換方御希望有之候ニ付  
既ニ御諒解済之御事と拝察致し御申出之通り取斗候次第ニ付不悪御諒  
承賜り度右不取敢御返事申上候  
敬具

二月廿日

海東要造

麻生太吉様

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S三一―二一五)

作成者(発信地)…村上巧児(大分市杖立会社)

宛先（受信地）…麻生太吉（嘉穂郡飯塚町立岩）

作成年月日…昭和三年二月二一日

特記…なし

形態…封書（九州水力電気株式会社用封筒）

内容物…罫紙（九州水力電気株式会社用罫紙）

授受の形…郵便

昭和三年2月21日

村上巧児 印

麻生太吉様侍史

拝啓愈御栄昌奉賀候扱会社ヨリ御立替ノ金壹千円也早速大分合同銀行宛為替ヲ以テ御返金被成下本日正ニ入手会社ニ入金致候間左様御承知被下度右御報迄申上度如此御座候 頓首

タイトル（整理番号）…昭和三年「発信原稿」（ぬー三）

作成者…麻生太吉

宛先…麻生観八

作成年月日…昭和三年二月二二日

形態…冊子

電拝承少シカラダ故障ニテ上京見合セタシ」合同問題其他ニテ交渉アラバ是非上リマス」サナクバ専務常務ト九州重役ニ東邦海東（要造）氏ト下交渉御任セノ決議ヲ願ヒタシ」確定ノ場合ハ無論本社ニテ御取極アルヤウ」昨日村上氏ニ逢ヒ詳シク話シタ」同氏ヨリ御聞取り万事御配慮頼ム

麻生観八 東京市日本橋区西川岸福屋旅館

タイトル（整理番号）…電報（書簡S三一二〇一）

作成者（発信地）…九州水力電気株式会社（東京郵便局）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡市浜ノ町）

作成年月日…昭和三年二月二四日

特記…ムニ、ムヨ三（照校、同文三）

ソウカイムジゲンアンカケツシタ九

〔訳文…総会無事原案可決した〕

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S三一一九〇）

作成者（発信地）…村上巧児（東京市麹町区有楽町壹丁目壹番地（東七合館）九州水力電気株式会社）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡市浜町）

作成年月日…昭和三年二月二四日

特記…親展

形態…封書（九州水力電気株式会社用封筒）

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓其後御元氣御恢復被遊候哉御伺申上候扱本日株主総会無事終了致候引続キ重役会開會御伝言之旨ハ席上ニテ披露致置候種々意見交換ノ結果一同快ク左ノ通り決議致候間左様御承知被下度候

一、東邦ノ件ハ其ノ申込ヲ受入レ数字ニ基キ精細ニ調査ノ上可否ヲ決スルコト

但双方ノ主張合致セサル場合ニ於テモ将来ノ円満ヲ期スルヨウ協定ヲ遂クルコト

一、右ノ下交渉ハ九州在住重役ニ一任シ重要事項ハ重役会ニ提案シテ



方針ヲ決定スルコト

右不取敢御報告申上候棚橋氏ハ明日日出発帰福相成候間万々拝鳳御報告  
申上候事ト奉存候右申上度如此御座候

二月廿四日

本社ニテ

村上生

麻生老台

侍史

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S三一―二二七)

作成者(発信地)・・・一宮房治郎(東京麹町区三番町二六)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(福岡県飯塚町)

作成年月日・・・昭和三年二月二九日

特記・・・御直披

形態・・・封書(一宮事務所用封筒)

内容物・・・紙

授受の形・・・郵便

拝啓

余寒難去候処益々御清祥奉大賀候扱て今般小生立候補に就ては深厚なる御同情に預かり難有奉感謝候浅学短才の身を以て最高点当選を僥倖致候は偏に御高援の御蔭に有之難有奉鳴謝候実は東京にて九水総会有之候由に付或ハ拝顔親敷御礼申述る機会も有之かと存じ丸ノ内本社に問合候も御在福中の由にて其意を得ず遺憾千万に奉存候何れ他日拝謁御礼申述る機会も可有之候へ共先は不取敢御礼申述度如此御座候

敬具

二月廿九日

一宮生

麻生老台

侍史

本社ニテ

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S三一―二二二)  
作成者(発信地)・・・村上巧児(大分市南新町杖立川水力電気株式会社)

会社)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(福岡市浜町)

作成年月日・・・昭和三年三月一日

特記・・・親展

形態・・・封書(杖立川水力電気株式会社用封筒)

内容物・・・紙

授受の形・・・郵便

拝啓愈御清適奉賀候扱昨日来別ノ麻生観八氏下面談御意見相伝候処仰ノ通り一件協議ハ可成至急取運候事肝要ト存候間棚橋氏へハ老台御氣付トシテ三月六七日頃九州重役会ヲ福岡ニ開催相成候様御注意被下度旨申居ラレ候尚会議ニテハ既ニ本社重役会ニテ九州重役ニ交渉一任ニ付更ニ九州ニテ小委員ヲ選ヒ至急先方ニ具体的交渉ヲ相始メ度最モ重大ノ件ニ付尊台ヲ委員長トシ常任重役ヨリハ棚橋氏ヲ委員長トシ御両所ニ於テ直接御折衝相願ヒ麻生氏モ滞在朝夕御相談ニ応シ候様致度旨申居ラレ中々ノ元氣ニ見受申候尚計算ハ黒木担当ニ付一度秘密ニ同人ヲ御召寄セノ上新会社成立ノ場合モ同人ノ位置将来確保スル旨御内論被成下候ハ、一層同人安心シテノ奮励ノ事ト存候旨呉々モ希望申述申上候間御考量被下度東京ニテハ麻生氏ヨリハ黒木ニ態々安定保証ノ旨

申含置候由ニ御座候委細拜鳳可申上不取敢右御願方々伝言御取次迄如  
此御座候

頓首

三月一日

村上生

麻生老台侍史

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S三一五五〇)

作成者(発信地)…村上巧児(大分市南新町杖立川水力電気株式会社)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡市浜町)

作成年月日…昭和三年三月一七日

特記…親展

形態…封書(杖立川水力電気株式会社用封筒)

内容物…紙

授受の形…郵便

拜啓愈御清安奉賀候扱杖立第二発電所ノ検査ハ来ル二十日熊本通信局  
技師出張ノ旨昨日本省ヨリ通知ニ接シ申候試運転ノ成績極メテ良好ニ  
付無事認可ト確信致候同第三水路用地モ発電所敷地ノ内一筆ノ外全部  
買取相済候間来廿五日ノ九州重役会ニ稟議提出御承認ヲ得タル上至急  
施工入札ニ附シ度今回ハ御内論ノ通り間組ヲ始メ信用経験アル土木業  
三人位ニ競争入札ト致候方可然ト夫々準備致居候入札指名者ハ重役会  
ノ御評決相仰度存候御諒知奉願候

右ニ付第二第三共一応御巡検相願度付テハ熊本知事通信局長共交迭致  
居候間一度招宴挨拶致度此月末頃熊本へ御出浮相仰間敷候ヤ一夕熊本  
御宿泊ノ上翌日自動車ニテ現場御巡視日田ヲ経テ即日御帰福被下候

ハ、誠ニ難有現場事務員以下奮励ノ事ト奉存候御考置被下度候

海東〔要造〕君最早帰福ト存候間至急御交渉相進メラレ今度ハ何トシ  
テモ成立致候様御尽力相仰申候現状ニテハ九水ハ内外ヨリ破裂ノ外無  
之尚県下ニテモ不評判依然誠ニ痛心致候

昨日大野川向野水利権許可申請ニ付藤山〔竹一〕知事ニ面会致候極々  
打解ケ懇談有之快ク助力ヲ承引致呉候間左様御承知被下度老台ニハ  
呉々モ宜敷トノ申出ニ御座候廿四日ニハ帰福ニ付拜鳳申上度御左右御  
伺方々如此御座候

三月十七日

頓首

麻生老台

侍史

村上生

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S三一三三一)

作成者(発信地)…九州水力電気株式会社秘書課

宛先(受信地)…麻生太吉

作成年月日…昭和三年三月二四日

形態…野紙(九州水力電気株式会社用野紙)のみ

授受の形…不明

昭和3年3月24日

秘書課 印

麻生取締役殿

拜啓益御多祥奉賀候陳者明三月廿五日は電気デーに有之当福岡市に於  
ても電気協会九州支部主催にて記念祝賀会開催相成り候に付ては右參  
加券茲許加封御送附申上候間御出席相成度此段得貴意候也 匆々

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S三一五四六)

作成者(発信地)・・・村上巧児(市内荒戸町)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(市内浜ノ町)

作成年月日・・・昭和三年三月二十六日

特記・・・親展

形態・・・封書

内容物・・・紙

授受の形・・・郵便

三月廿六日

村上生

麻生老台侍史

拝啓一昨日ハ種々御芳心相煩難有奉存候麻生觀八氏ノ注意ニヨリ今朝小生海東〔要造〕君ヲ訪問例ノ通り隔意ナキ協議ヲ試ミ候処麻生氏ノ心配相成居候東邦計算ノ税金四十余万円不足ノ件ハ海東氏モ快ク其事実ヲ承認シ本件ハ昨春モ米国資本団ヨリ指摘サレタルモ東邦ハ区域広汎ニシテ實際ノ納税額ニアラサレバ判明セス且ツ未確定ノ数字ヲ未払トシテ計上スルコトハ不安定ナリトノ理由ニテ毎期事実上ノ支払高ヲ計上シ居リ米国人モ事情ヲ諒ト致候モノニテ過日九水ニ提出ノ計算書ニモ其点ハ氣付キ居リタルモ事実ヲ事案トシテ一点モ飾ラス「アリノマ、」ヲ御覽ニ入レ度趣旨ニテ昨年度ノ収支ヲ記載致候モノニ付キ御指示ニヨリ理論的ノ不足額ヲ収入金ヨリ減少スルコトハ異存ナシト明言シ尚ホ最初ヨリ麻生老台ニ微細ノ点迄モ御協議申上ルハ甚タ氣兼ねニ付キ相成ルヘクハ貴下ト下相談ヲ遂ケ意見接近ノ上ニテ改メテ麻生棚橋両氏ニ御会見申上度旨申出候間幸ヒ昨日ノ重役会ニテ九水ニモ其意見出テ不日棚橋ヨリ黒木君ヲ伺ハセ貴下ト隔意ナキ協議ノ基礎ヲ御

相談致サセ候様致度希望申出ノ筈ニ付キ左様御含置相成度旨内報海東君モ大ニ満足致候海東君ハ四月六日上京ノ由ニ付今日ニモ棚橋氏ヨリ黒木派出ノ申込ヲナス様御催促被下度候

右海東君ト小生トノ会谈ハ棚橋氏ニハ秘密トスルコトニ申合居候間御諒知被下度愈東邦ノ真意モ推察サレ今度ハ必ス成立ト見込満悦無此上存候会社百年ノ長計ノ為此上トモ小人共ノ反対ヲ排シ至急御交渉ヲ進メラレ調談致候様呉々モ御心勞奉願候本日帰分ニ付不取敢書中御内報方々御願申上度如此御座候

頓首

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S三一四五三)

作成者(発信地)・・・村上巧児(大分市南新町杖立川水力電気株式

会社)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(福岡市浜町)

作成年月日・・・昭和三年三月三〇日

特記・・・親展

形態・・・封書(杖立川水力電気株式会社用封筒)

内容物・・・紙

授受の形・・・郵便

拝啓愈御清安奉賀候扱重役会ノ御意見ニヨリ杖立第三工事見積ニ付来月四日大分ニ出頭方問組ニ打電致候処全組重役遠藤氏当日参上ノ旨返電有之候間御多用中誠ニ恐入候得共来月四日ニハ御繰合セ御来駕被下度尚御着ノ時間次第ニテ四日又ハ五日午前中遠藤氏御引見御下命被下候ハ、誠ニ好都合ト奉存候間杖立現場主任楠目昨日来社持命ノ恩命ヲ洩レ聞き感激至極本日其旨伝達ノ為態々上京致候以御蔭第三工事モ緊張裡ニ成功ノ事ト満悦此事ニ奉存候次ニ福岡出立前書中御内報申上

候通り海東〔要造〕君ハ来月六日上京ノ筈ニテ其前ニ御意向ヲ相伺ヒ上京之上松永〔安左衛門〕氏ノ意見ヲ伺ヒ得ル様致度旨海東君返ス呉々モ希望ニ付至急黒木支配人訪問ノ段取ト相成候様貴台ヨリ棚橋氏へ御催促被下度一日放任相成候ハ、十日ノ遅延ト相成候様二見込候間精々此機会ニ御促進奉願候

右御報方々申上度如此御座候

三月卅日

頓首

村上生

麻生老台

侍史

タイトル〔整理番号〕…書簡〔書簡S三一三九〇〕

作成者〔発信地〕…村上巧児〔大分市南新町杖立川水力電気株式会社〕

会社

宛先〔受信地〕…麻生太吉〔東京市麹町区内幸町柵屋旅館内〕

作成年月日…昭和三年四月四日

特記…親展

形態…封書〔杖立川水力電気株式会社用封筒〕

内容物…紙

授受の形…郵便

〔拝啓急ニ御上京之由今朝拝承誠ニ御苦勞ニ奉存候杖立第三工事見積積ニ付間組理事遠藤兵作氏来社致候間小生ヨリ態々特命トノ次第ヲ申聞ケ見積下命致候処非常之感激ニテ持シテ御好意ニ相酬ヒ勉強可致旨挨拶有之早速現場ニ罷越候間左様御承知被下度候

杖立第二発電所モ打電申上候通り検査無滞相済一安心致候東邦ノ件ハ

黒木ヨリ未タ報告無之候モ多分順調ノ進行ト存候幸ヒノ御上京ニ付加々見〔各務カ〕氏ト御会見此上下モ準備行為ニ付御手配被下候様奉願候明日ノ重役会ノ為麻生親八氏来別今朝面会致候処同氏モ切ニ成功ヲ希望シ御上京ヲ機会ニ尚御尽力相煩度旨申居候今回ノ交渉ハ其実九水自衛上必須ノ次第二付万難ヲ排シ成功致候様熱望致候次第改メテ申上候迄モ無之何卒引続キ御芳心偏ニ奉願候右御報告方々御願迄申上度如此御座候

四月四日

頓首

村上生

麻生老台

侍史

タイトル〔整理番号〕…昭和三年「発信原稿」〔ぬー三〕

作成者…麻生太吉

宛先…村上巧児

作成年月日…昭和三年四月一日

形態…冊子

〔拝啓此之度石炭聯合会要件ノ為突然上京用向相起リ二日ニ出発八日帰県仕候出発前堀〔三太郎〕氏ノ紹介状ニテ海東〔要造〕君ニ面会不相変同氏ハ誠意アル合同談ヲ承リ申候又帰車中京都ヨリ松永〔安左衛門〕氏ト同車致候今回ハ是非成立希望スル旨洩サレ居申候何レ十五日重役会ニテ御面会可仕候先ハ御返事旁々如此候  
村上巧児様 四月十一日 拝具

タイトル〔整理番号〕…書簡〔書簡S三一五一一〕

作成者（発信地）…木村平右衛門（宮崎県東臼杵郡西郷村大字田代九州送電株式会社田代建設所）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡県嘉穂郡飯塚町）

作成年月日…昭和三年四月二六日

特記…なし

形態…封書（九州送電株式会社田代建設所木村平右衛門用封筒）

内容物…紙

授受の形…郵便

謹啓時下新緑ノ候愈々御清穆ニ被為涉候段奉慶賀候

陳者予テ御高庇ニ預リ居候耳川筋田代発電所建設工事先般起工仕候ニ

就テハ来ル五月六日午前拾時ヨリ宮崎県東臼杵郡西郷村大字田代地内

同発電所予定地（日豊線富高駅ヨリ自動車行程一時間半）ニテ起工式

ヲ挙行シ式後小宴相催シ候間御遠路恐レ入り候ヘドモ何卒御臨席相願

度此段得責意候

追テ同日午後七時ヨリ宮崎市ニ於テ知事其他官民招待宴開催候ニ付御

出席被下度申添候

昭和三年四月二十六日

九州送電株式会社

常務取締役木村平右衛門

相談役

麻生太吉殿

〔別紙〕

耳川田代発電所起工式并ニ重役会日程

五月三日（東京大阪方面）

東京 発前 九、三〇 海路ナレバ

大阪 発後 八、三〇  
五月四日（全）上

下関 着前 八、三五

門司 発全 一〇、三五

別府 発後 一、五三

延岡 着全 六、二七

五月四日（福岡方面）

博多 発前 八、三二

小倉 着全 一〇、三三

別府 発全 一〇、五四

延岡 着全 六、二七

五月五日

延岡 発前 八、〇〇

高千穂 着全 一、〇〇

昼食

定例重役会 後一時間会

重役会終了後発電所視察

高千穂 着後 四、〇〇

延岡 着全 七、〇〇

五月六日

延岡 発前 七、〇〇

田代 着全 九、三〇

起工式前 一〇、〇〇

開宴 全 一一、〇〇

〔マ〕五日

大阪後 二、〇〇出帆

神戸々 三、四〇

四日

別府前一〇、〇〇着

々 一一、一二発

延岡後 四、一〇

二連絡ス

延岡町菊池旅館泊

（自動車）

（自動車）

菊池旅館泊

（自動車）

田代 発後 二、〇〇 (自動車)

富高 着全 四、三〇

富高 発全 四、四九 (汽車)

宮崎 着全 六、二八

招待 宴後 七、〇〇 開宴(宮崎市市泉亭ニ於テ)

閉 宴 後 宮崎市河原町神田橋旅館泊

以上

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S三一五二七)

作成者(発信地)・・村上巧児(福岡市荒戸町)

宛先(受信地)・・麻生太吉(嘉穂郡飯塚町)

作成年月日・・昭和三年四月二七日

特記・・親展

形態・・封書

内容物・・紙

授受の形・・郵便

四月廿七日夜

麻生老台侍史

拝啓本日ハ御多用中態々御来福相煩シ誠ニ恐縮仕候御暇申上帰宅致候  
処麻生観八氏ヨリ電話ニテ至急面会致度旨申越候間早速病院ニ罷出テ  
先刻御会談ノ要旨通報致候結果此際特ニ慎重ノ御協議ヲ遂ケ度ニ付御  
面会日相伺ヒ具候様依頼サレ唯今電話ヲ以テ御伺申上候次第ニ御座候  
依テ御指示ノ通り来ル三十日午前九時迄浜ノ町御別邸ニ相伺ハレ候様  
麻生氏へ回答致置候間左様御承知被下度候尚小生モ麻生氏申向ニヨリ

村上生

明日中津ノ用件相済マセ候上引返シ三十日ハ同伴御伺ヒ申上候積ニ有  
之万事期拝鳳申候右電押方々申上度如此御座候 頓首

タイトル(整理番号)・・電報(書簡S三一五一四)

作成者(発信地)・・堀三太郎(東京局)

宛先(受信地)・・麻生太吉(飯塚町)

作成年月日・・昭和三年五月一日

特記・・なし

カガミシニアイアスタチカエリマス」ホリ

〔訳文・・各務氏に会い明日発ち帰ります〕

タイトル(整理番号)・・昭和三年「発信原稿」(ぬー三)

作成者・・麻生太吉

宛先・・堀三太郎

作成年月日・・昭和三年五月一、三日

形態・・冊子

〔五月一日付〕

トウボウノケンインソギタシ○オタチゼン○カガミシニシタシクゴソウ  
ダンノウエ○ナルダケハヤクオカエリタノム アソウ

トオキヨアカサカク、ヒカワチヨ(五月一日午前八時浜ノ町ニテ)

マツモトシカタ、ホリサンタロウ

〔訳文・・東邦の件急ぎたし○お発ち前○各務氏に親しく御相談の上○  
なるだけ早くお帰り頼む〕

〔五月三日付〕

一件進行方二付○海東〔要造〕氏ニ棚橋一同逢ヒタシ特別ノ御繰合セ

明日午後六時頃迄ニ福岡ニ御帰り願ヒタシ○先ニナレバ海東氏ニモ榎橋氏ニモ用事アル、其御含ミニテ御繰合頼ム返ン  
麻生

大阪市西区江戸堀金浅旅館

堀三太郎 五月三日

タイトル(整理番号)・・電報(書簡S三一五一〇)

作成者(発信地)・・木村平右衛門(日向西郷局)

宛先(受信地)・・麻生太吉(飯塚町)

作成年月日・・昭和三年五月六日

特記・・ムヨニ(同文ニ)

キコウシキブジスミマシタ」キムラ

〔訳文・・起工式無事済みました〕

〔麻生後筆〕

祝電スミ

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S三一五三七)

作成者(発信地)・・村上巧児(大分市南新町杖立川水力電気株式会社)

会社)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡市浜町)

作成年月日・・昭和三年五月九日

特記・・親展

形態・・封書(杖立川水力電気株式会社用封筒)

内容物・・紙

授受の形・・郵便

拝啓愈御清榮奉賀候扱小生六日出発帰任致候五日夜麻生観八氏ヲ病院

ニ訪問老台海東〔要造〕堀〔三太郎〕君御会見ノ模様逐一伝言種々相談致候処麻生氏の最初ヨリ二重納税ヲ難関ト心配相成居候由ニテ結局東邦ヲ減資シ九水ハ解散シ本社ヲ合併シテ新会社ヲ創立シ東邦九水株主ニハ可然数字上ノ割合ニテ新会社ノ株ヲ夫々分配引替候外ナキ様ニ思ハル、ト申居ラレ候右ニヨレハ東邦株主ハ減資シタ丈ノ株数ハ新会社ノ株ヲ得テ損失ナク九水株主モ亦一株ニ付新会社株一株引替ニテ損失無之仮リニ東邦九州区域会社投資額四千万円ヲ六千万円ニ評価シテ合併スレバ二千万円丈ハ利得スル訳ニテ利益本位ノ分配ニ無理無之全ク二重課税ヲ免レ社内モ新空氣ヲ生シ營業モ安定致候事ト存候麻生氏委細御面談ノ事ト有之間御考量被下度候麻生氏病氣ハ小野寺〔直助〕先生ノ御話ニテハ別段心配ナキモ少々右肺ニ水泡音アリ万一不養生シテ肺炎トナラレ候テハ一大事ナリ本年ノ肺炎ハ頗ル悪性ニテ起否請合シ兼ヌル由ニテ此点ヲ非常ニ心痛相成候間当分ハ訪問モ出来兼候事ト存候小生十三日帰福ノ積ニ付万々期拝鳳可申候右御何方々申上度如此

御座候

五月九日

麻生老台侍史

村上生

頓首

タイトル(整理番号)・・昭和三年「発信原稿」(ぬー三)

作成者・・麻生太吉

宛先・・堀三太郎

作成年月日・・昭和三年六月四日

形態・・冊子

カイトウケンケンアリターケン○タナハシードウウチアワセタシイ

カイトウケンケンアリターケン○タナハシードウウチアワセタシイ

カイトウケンケンアリターケン○タナハシードウウチアワセタシイ

カイトウケンケンアリターケン○タナハシードウウチアワセタシイ

カイトウケンケンアリターケン○タナハシードウウチアワセタシイ

カイトウケンケンアリターケン○タナハシードウウチアワセタシイ

カイトウケンケンアリターケン○タナハシードウウチアワセタシイ

カイトウケンケンアリターケン○タナハシードウウチアワセタシイ

カイトウケンケンアリターケン○タナハシードウウチアワセタシイ

カイトウケンケンアリターケン○タナハシードウウチアワセタシイ

カイトウケンケンアリターケン○タナハシードウウチアワセタシイ

カイトウケンケンアリターケン○タナハシードウウチアワセタシイ

カイトウケンケンアリターケン○タナハシードウウチアワセタシイ

ツオカエリカヘン〇一五ヒゴロヨリタナハシジヨウケフスソノマエオ  
カエリネガヒタシオフクミコウアソウ

六月四日

東京市赤坂区氷川町七松本方

堀三太郎

〔訳文〕海東〔要造〕君帰県ありた一件〇棚橋一同打合せたし何時お  
帰るか返〇一五日頃より棚橋上京すその前にお帰り願いたしお含み乞  
う

タイトル〔整理番号〕…電報（書簡S三一六七五）

作成者〔発信地〕…九州水力電気株式会社（東京郵便局）

宛先〔受信地〕…麻生太吉（飯塚町）

作成年月日…昭和三年六月二二日

特記…ムニ（照校）

ソウカイムジスミタゲンアンカケツハイトウ一ワリカンサヤクジウニ  
ン九

〔訳文〕総会無事済みた原案可決配当一割監査役重任〕

〔麻生後筆〕

〔表面〕返電スミ

〔裏面〕ソウカイブジスミゴハイリヨシンシヤス

タイトル〔整理番号〕…書簡（書簡S三一八二〇）

作成者〔発信地〕…杖立川水力電気株式会社本社

宛先〔受信地〕…麻生太吉

作成年月日…昭和三年七月一三日

形態…罫紙（杖立川水力電気株式会社用罫紙）のみ

授受の形…不明

昭和3年7月13日

本社

麻生社長殿

拝啓陳者九水出願大野川筋向野発電水路ト競願関係ト相成居候昭和耕  
地整理組合事業ニ於テ同河川ノ水利使用計画ニ対シ当地発刊ノ豊州新  
報ニ批判記事掲載有之候ニ付テハ御参考迄ニ同新聞本日御手許迄御郵  
送申上置候間御覽被下度候 敬具

タイトル〔整理番号〕…書簡（書簡S三一七六五）

作成者〔発信地〕…村上巧児（大分市南新町杖立川水力電気株式

会社）

宛先〔受信地〕…麻生太吉（福岡市浜ノ町）

作成年月日…昭和三年七月一日

特記…親展

形態…封書（杖立川水力電気株式会社用封筒）

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓過日ハ御取込中参上御邪魔申上候扱麻生〔観八〕監査役病状依然  
之処本人ノ発意ニテ明日帰郷ノ事ト相成申候小野寺〔直助〕博士モ同  
意ノ由ニ付自他共ニ自由ノ利ク内ニ帰郷ト決心致候義ト誠ニ心中同情  
之至ニ奉存候明日ハ小生玖珠迄汽車ニ同乗見送り致度御諒知被下度候  
次ニ杖立会社ハ払込金外百五十万円程九水ニ預金致居リ金利ハ払込当  
時ノ懇談ニテ年七朱即九水ノ借入金利息同様ニ致居候処昨日九水ヨリ



金利ヲ壹歩式厘ニ引下ケノ旨通知有之斯クテハ予算ヨリ年壹万五六千  
円ノ減収ト相成誠ニ困入申候ニ付テハ六ヶ月位ノ定期預金ニテ七八十  
万円位嘉穂銀行ニ有利ニ預金ハ出来申間敷候ヤ大分合同ハ日歩壹歩五  
六厘ノ見当ナルモ不安心ニ付何卒御一考御煩度候無理ニ払込マセテ配  
当ハ一割シコキ上ケ預金利息ハ引下クル杯九水ノ我俣勝手ニモ驚入申  
候右御報告方々御願用迄申上度如此御座候

七月十九日

頓首

村上生

麻生老台

侍史

〔別紙〕

昭和三年七月十七日

印

福岡市大字庄三十五番地 印印

九州水力電気株式会社出張所 印

杖立川水力電気株式会社御中

拝啓貴社益御隆昌奉賀候

陳者従来貴社ヨリ当社ヘノ預り金ニ対シテハ其都度利息御協定申上居  
候処最近ノ如ク一般市場金利ノ変動甚敷節ハ種々不都合相生ジ困却仕  
候間本年六月壹日以降ノ分ニ対シテハ福岡市内銀行協定通知預金利率  
ニ付日歩式厘ヲ追加シタル額ヲ以テ其預り金ノ利率ト致度候条右御承  
知被下度此段得貴意申候

頓首

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S三二七六四)

作成者(発信地)・・村上巧児(大分市南新町杖立川水力電気株式

会社)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡市浜町)

作成年月日・・昭和三年七月二日

特記・・親展

形態・・封書(杖立川水力電気株式会社用封筒)

内容物・・紙

授受の形・・郵便

拝啓愈御清安奉賀候扱麻生觀八氏昨朝発珠ニ帰郷相成候先日小野寺  
〔直助〕先生来診ノ時本人ヨリ発意シ先生モ同意相成候由定メシハ死  
期ノ近キヲ自覚致候結果ト心中悲痛ノ極ニ奉存候昨日途中ハ案外元氣  
ニテ出迎ノ人々ニハ一々挨拶ヲ交サレ殊ニ居村ノ出迎ハ実ニ空前ノ盛  
大ニテ老人共ハ涙ヲ流シテ出迎申候体誠ニ多年公益ニ貢献ノ功德モ思  
ヒヤラレ感激致候事ニ御座候別途豊州新聞御送付申上候間御一覽被下  
度候

右見送ノ為黒木支配人來分序ニ東邦ノ件棚橋氏ト御談合ノ模様伝承致  
候福岡ハ東邦ノ牙城九州ノ心臓ニ付容易ノ事ニテハ東邦ハ承諾致間敷  
コレヲ感化説得致候ハ一ニ当方誠意ノ力ニ依ルノ外無之然ルニ九水側  
重役ニテ地下線ノ戦争準備ヲ相考ニ候様ニテハ到底話ニ相成ラス十中  
八九ハ内部ノ空氣ニテ破裂ト心配致候殊ニ当初ヨリ井上準之助氏ヲ相  
煩候事ハ余程ノ御考慮ヲ要スル義ト奉存候御承知ノ通り井上ト申ス人  
ハ無理ヲシテ迄他人ノ世話スル様ナ肌合ノ男ニハ無之又松永〔安左衛  
門〕氏ノ目ニハ全ク九水系ノ臭味ト見ラレ居候事ハ明白ニ付キ或ハ一  
議ニ及ハズ拒否ノ運命ニ逢着シ折角ノ機会ヲ失フ恐アリト存候間堀  
〔三太郎〕君トモ御談合十二分ノ御詮議肝要ト奉存候小生ハ矢張り海  
東〔要造〕君ヲ力説シテ同君ニ立案サセ其手ヨリ松永氏ヲ説クヲ最上  
且ツ妥当ノ義ト奉存候海東君ヲ説ク事ハ乍憚小生ニハ成算アリ又海東

ヲ動かセヌ位ノ熱心ナラハ井上氏モ松永氏モ同様不成功ト見込申候  
呉々モ内部ノ空氣一新ヲ重ンセラル工夫御考案切ニ奉願候次第万々讓  
拜鳳右不取敢御報方々申上度如此御座候  
頓首

七月廿一日

村上生

麻生老台侍史

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S三―七七二)

作成者(発信地)・・九州水力電気株式会社本社(東京市麹町区有

楽町壹丁目壹番地(東七号館)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町立岩)

作成年月日・・昭和三年七月二五日

特記・・親展

形態・・封書(九州水力電気株式会社用封筒)

内容物・・罫紙(九州水力電気株式会社用罫紙)

授受の形・・郵便

昭和三年七月二十五日

本社

曾木 印

麻生取締役殿

印

拜啓酷暑の候に御座候処益々御清栄の段奉賀候陳者昨日附棚橋専務よ  
り井上準之助氏の件に関し「井上氏一昨日此地立子郷里ニ帰省ノ上来  
月二日門司出帆ノ熱田丸ニテ南洋ニ行カル吾面会ノ機会ナシ棚橋」と  
打電致置候間先着御承知の御事とは存申居候へ共電押旁々御照会申上  
候也  
敬具

タイトル(整理番号)・・電報(書簡S三―七五二)

作成者(発信地)・・棚橋琢之助(東京郵便局)

宛先(受信地)・・麻生太吉(飯塚町立岩)

作成年月日・・昭和三年七月二四日

特記・・ムニ(照校)

イノウエシーサクヒコノチタチキヨウリニキセイノウエライゲツニヒ  
モシシツパンノアツタマルニテナンヨウニユカル」ワレメンカイノキ  
カイナシタナハシ

〔麻生後筆〕

井上氏一昨日此地立子郷里ニ帰省ノ上来月二日門司出帆ノ熱田丸ニテ  
南洋ニ行カル我面会ノ機会ナシ棚橋

タイトル(整理番号)・・昭和三年「発信原稿」(ぬ―三)

作成者・・麻生太吉

宛先・・棚橋琢之助

作成年月日・・昭和三年七月下旬

形態・・冊子

ミタイノウエシノケン、ソノゴコウリヨスルニドウシノハツアンニ、  
ハンタイアルト、オシマイニナル、タニオヨブカキリツクシ、ユキツ  
マリタルトキニ、ソウダンシタシ、ソノオフクミコウ 浜ノ町ヨリ  
東京 棚橋琢之助

〔訳文〕見た井上氏の件、その後考慮するに同氏の発案に、反対ある  
と、お仕舞いになる、他に及ぶ限り尽くし、行き詰まりたる時に、相  
談したし、そのお含み乞う

ミタフトメノケイヤクスレバ、ホンタイノイシナクナル、タジツソ

ノバヤイシヨゼシトキワ、メンドウノモンダイオコルオソレアリ、一  
ブマシノコトヤメ、タンジユウンノリリツキメルホカナシトオモウゴ  
コリヨワコウ 浜ノ町ヨリ

#### 棚橋琢之助

〔文意不詳につき訳文付さず〕

デンシタシヤチヨト、ソウダンノウエオキメニナレバシカタナキモ、  
センデンセシトウリタジツモンダイオコルオソレアルユエ、ヒトマツ  
ゴキケンニナリ、ソウダンノホウホウナオケンキユウセラレルヨウネ  
ガイタシカリイレケンノコトニツキイケンヲキキマスゴ子ンオイレラ  
ルルヨウセツニキボウス 浜ノ町ヨリ

#### 棚橋琢之助

〔訳文・電した社長と相談の上お決めになれば仕方なきも、先電せし  
通り他日問題起こる恐れある故、ひとまず御帰県になり、相談の方法  
なお研究せられる様願いたし借入金的事につき意見を聞きますゴネン  
を入れらるる様切に希望す〕

タイトル(整理番号)・・・電報(書簡S三二七五四、七五六、七八四)

作成者(発信地)・・・棚橋琢之助(いずれも東京郵便局)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(各報参照)

作成年月日・・・昭和三年七月二五、二六日

特記・・・各報参照

〔七月二五日付浜ノ町宛(書簡S三二七五四)〕

デンハイセウスタナハシ

〔訳文・電拝承す〕

〔七月二五日付飯塚町宛照校親展電報(書簡S三二七五六)〕

カリイレキンリシハサイコウサイテイヲサクジヨシタンニギンコウテ  
イキリシノ一ブマシニテマトメタクスミトモ三ヒシトシユジユコウセ  
ウセシモナカナカセウチナキニヨリヤムヲエズサイコウセブサイテイ  
六ブノハンイナイニテギンコウテイキヨキンヨリ一ブマシノゼウケン  
ニテハナシマトメタシイカガヘンコウタナハシ

〔訳文・借入金利子は最高最低を削除し単に銀行定期利子の一分増し  
にて纏めたく住友三菱と種々交渉せしも中々承知なきによりやむを得  
ず最高七分最低六分の範囲内にて銀行定期預金より一分増しの条件に  
て話纏めたし如何返乞う〕

〔七月二六日付浜ノ町宛至急照校親展電報(書簡S三二七八四)〕

アソカンハシノコトケサチジノタクニユキイライシヤケリ」カリイレ  
キンノコトシシタクトギンコウトヲノヲノリソクワリアイコトナルユ  
エタンジユンリリツヲキメルコトコンナンナリサクデンノトウリマト  
メルホカナシトヲモフシヤテウトソウダンノウエキメタシイカガヘン  
タナ

〔訳文・麻生親八氏のこと今朝知事の宅に行き依頼しおけり〕借入金  
のこと信託と銀行と各々利息割合異なるゆえ単純利率を決めること困  
難なり昨電の通り纏める他なしと思う社長と相談の上決めたし如何  
返〕

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S三一八一六)

作成者(発信地)・・・村上巧児(大分市南新町杖立川水力電気株式

会社)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(福岡市浜町)

作成年月日・・・昭和三年七月三〇日

特記…親展

形態…封書 (杖立川水力電気株式会社用封筒)

内容物…紙

授受の形…郵便

拜啓愈御清榮奉賀候扱昨日工事現場巡視ノ上帰途麻生觀八氏見舞申候  
処廿四日ノ時ニ比較シ実ニ甚敷キ衰弱ニテ唯□□トシテ眺メ候ノミ  
言葉モ一寸聞取り兼候有様ニテ誠ニ痛心之至ニ奉存候幸ヒ食事相進ミ  
腹ノ痛ミ全ク去リ毎日半睡半醒ノ状態ヲ続ケ居リ候由此上ハ天佑神助  
ヲ待チ候外無之ト奉存次第第二御座候

次ニ海東〔要造〕君ト別府ニテ会见ハ見合セル様御注意拜承致候処福  
岡ニ変更致度申入候処海東君ハ福岡ヨリモ他所ヲ希望シ結局海東君ノ  
指定ニヨリ八月二日朝日田ニテ面会ノ事ニ決定致候尤モ小生ハ現場巡  
視ノ次手ニ立寄り海東君ハ鮎食ヒニ来合申候形ト致候積リ会见ノ上ハ  
午後帰福早速速一御報告御指示相仰候様致度存居候棚橋氏本日帰福ノ  
由ニ付万事誤解ヲ招カザル様十分留意致度御含ミ置奉願候海東君モ地  
下線ニ伴ヒ時日切迫ノ必要ト毎度申居候間今度ハ余程突込ミタル真底  
ノ意見モ申述具候義ト推察致居候右御報迄申上度如此御座候 頓首

七月卅日朝

村上生

麻生老台

侍史

タイトル (整理番号)…書簡 (書簡S三一八三三)

作成者 (発信地)…村上巧児 (別府市下野口)

宛先 (受信地)…麻生太吉 (福岡市浜町)

作成年月日…昭和三年八月一日

特記…親展

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拜啓昨日ハ懇々塚原現場御巡視被成下誠ニ難有奉存候炎暑中嘸々御疲  
勞之御事ト被察恐縮千万ニ奉存候御細心ノ御注意ハ特ニ辱ク技術員一  
同一層集結設計ニ着手致候何卒此上トモ細大御指示相仰度奉願候  
一寸貴聞ニ入レ置候通り九水重役補欠運動ハ日ニ増シ拡大ノ情報ヲ耳  
ニ致候間御打合セノ通り此際方針相定メ衆御一致回答致候様来十五日  
ノ重役会ニテ御発案被下度誠ニ棚橋氏ノ場当リノ返答ハ後日紛紜ノ種  
ト存候間堅ク相慎ミ候様御注意相煩度奉願候

塚原温泉評価ノ件モ取急キ秘中之御手配被下度道路設計相済次第造林  
地ト併セ交渉致度はハ他日容易ナラザル名所ト相成リ朝鮮安眠島ト相  
並ンテ尊堂ノ宝庫ニ相成候時節アリト見込申候将来ノ有望ハ□山枝牧  
場以上ト存候間慎重御調査相煩度奉願候右御礼方々御報申上度如此御  
座候 頓首

八月十日夕

村上生

麻生老台侍史

タイトル (整理番号)…書簡 (書簡S四一二〇五)

作成者 (発信地)…木村平右衛門

宛先 (受信地)…麻生太吉

作成年月日…昭和三年八月一日

特記…御親展上置

形態…封書（九州水力電気株式会社用封筒）

内容物…紙、紙（九州水力電気株式会社用紙）

授受の形…手交

拜啓仕候目下川崎、三好両炭鉱ニ対し同封報告書の通り手配仕居候外ニ鎮西其他ニ就而も夫々調査中ニ御座候右近況申上度 早々

八月十八日

木村平右衛門拜

麻生老台玉案下

尚宮崎県九州送電水利権維持ニ付各方面より妨害運動起り頗る面倒ニ付小生両三中ニ都合ニより同処へ一週間位滞在の予定にて出張致度存居候

〔別紙その一…九州水力電気株式会社用紙〕

報 告

川崎炭坑事業中止ニ伴ヒ全坑主城島一男所有ノ財産ニ対シ債権保全ノ為メ仮差押ヲナシ又譲渡セルモノニ対シテハ之カ無効ノ訴訟ヲ提起スルト同時ニ物件ノ仮処分ノ申請ヲナシ夫々仮処分ノ登録ヲ了シ万全ノ策ヲ採レリ訴訟道程左記ノ通り御報告申上候也

追而三好鉱業株式会社担保物件競売申請ニ就テハ物件所在市町村長ノ公課金証明及登記謄本下附ノ申請ヲナシ目下地目変更登記ヲナスベク之レカ手配中ナリ

尚全物件競売ノ価格ハ債権額以下ト認ラレ候ニ付全社所有ノ遠賀郡水巻村、折尾町、中間町地内石炭鉱九十七万三千七百九十坪（高松本坑ト称シ目下採掘中ノモノ）ヲ債権保全ノ為メ仮差押スベク目下夫々手配中ニ有之候

(イ) 城島敬五郎名義土地ヲ相続人一男ニ所有権ノ移転登記ヲ申請シ之カ手続ヲ了セリ

(ロ) 移転登記ヲ了セル田川郡川崎村田畑八反八畝十六歩ニ対シ仮差押ノ申請ヲナシ之カ仮差押ノ登録ヲ経タリ

(ハ) 約束手形金参万式千八百拾五円拾貳錢也請求ノ訴訟提出セリ

(ニ) 城島フミ子ニ譲渡セル田川郡川崎村山林四反六畝廿四歩及木造瓦葺平屋建坪百二十坪ニ対シ訴害行為取消請求ノ訴訟提出シ全時ニ之カ物件ノ仮処分ヲ申請シ仮処分ノ登録ヲ経タリ

(ホ) 馬場与助ニ譲渡セル佐賀県西松浦郡東山代村西山代村地内石炭坑五十六万五千七百八十九坪ノ採掘権ニ対シ訴害行為取消請求ノ訴訟ヲ提出シ全時ニ之カ物件ノ仮処分ヲ求メ登録ヲ経タリ

以上三件ハ福岡地方裁判所小倉支部へ提出弁論期日三件共十月十六日

(ハ) 城島定勝ニ譲渡セル佐賀県杵島郡大町村地内宅地三百八十三坪並ニ田畑一町一反四畝七歩及建物六拾五坪ニ対スル訴害行為取消請求ノ訴訟提出シ全時ニ之レカ物件ノ仮処分ヲ申請シ仮処分ノ登録ヲ了セリ

右ハ佐賀地方裁判所ニ提出弁論期日 十月三日

一、右城島フミ子ハ一男ノ妻、城島定勝ハ弟ナリ  
馬場与助ハ川崎炭坑事務員ナリ何レモ無償贈与セルモノニ有之候  
二、フミ子、定勝名義物件ニハ贈与セル以前何レモ抵当権ヲ設定セリ  
此ノ債務計壹万参千八百円也

〔別紙その二の一〕  
川崎炭坑未収入金内訳

昭和三年八月十七日

摘要	金額	備考
担保付貸金	25,000.000	八女郡内山林担保利息ハ五月三十一日迄収入スミ
約束手形	26,449.130	五年六月三十日支払期日
〃	6,365.990	〃
電力料	2,199.290	六月分ノ残額
〃	1,486.730	七月分
	<u>61501.140</u>	

三、一男、馬場与助物件ニハ債務無之候  
右  
昭和三年八月十六日

〔別紙その二の二〕  
三好鉱業株式会社貸金元利明細

昭和三年八月十七日

摘要	金額	備考
金銭消費貸借金	60,000.000	返済期限 14年 6月30日
〃	160,000.000	〃 14年12月20日
拾六万円ニ対スル利息	8,000.000	12年12月21日—13年12月20日、利息ノ残額
〃	12,800.000	13年12月21日—14年12月20日利息
小計	240,800.000	本計金ハ会社帳簿面ナリ
更ニ請求シ得ベキモノ		
拾六万円ニ対スル利息	12,800.000	14年12月21日—昭和元ノ年12月20日
〃	12,800.000	元年ノ12月21日—2年12月20日
六万円ニ対スル利息	6,000.000	14年 7月 1日—15年 6月30日
〃	6,000.000	15年 7月 1日—2年 6月30日
〃	6,000.000	2年 7月 1日—3年 6月30日
合計	<u>284,400.000</u>	
三好鉱業ヨリ購入石炭代	53,062.200	
	<u>231,337.800</u>	

九州水力電気株式会社 御中  
〔別紙その二の一、二〕

事務員 村上岩太郎

タイトル(整理番号)・書簡(書簡S三一七四)

八月廿三日夕

作成者(発信地)・村上巧児(別府市下野口)

村上生

宛先(受信地)・麻生太吉(福岡市浜ノ町)

麻生老台

作成年月日・昭和三年八月二三日

侍史

特記・親展

形態・封書

タイトル(整理番号)・書簡(書簡S三一二七三)

内容物・紙

作成者(発信地)・井上武(大分県日田郡大場町)

授受の形・郵便

宛先(受信地)・麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町)

拜啓愈清安奉賀候扱塚原造林地ノ件ニ付昨日モ区長委員来訪塚原ヨ

作成年月日・昭和三年八月二九日

リ由布院ニ通スル道路改築ノ希望ハ実ニ熱烈ニテ結局御内示ノ通り不

取敢区有原野四百町歩ヲ一反七円替ニテ九水ニ買収ヲ願ヒ六ヶ月位ニ

テ自動車ノ通スル位ノ道路ヲ完成ノコトニ決心シ小生ニ尽力願ヒ出候

間明日頃ハ一件調査相終エ稟議致度存候何卒御諒知被下度候

授受の形・郵便

売却地ハ由布山ノ官行造林ニ続キ由布院行新道路沿ヒ一帯ニテ地味良

好運搬至便水源涵養ノ目的ニモ適當致候間反七円ナラハ近来ノ安値買

物ト存候尚温泉地ハ当分区有ノ俣トシ他日適當ノ機会ニ売却ノ事ト相

成申候

次ニ別府電灯値下問題ハ若松ノ吉田磯吉仲裁トナリ一部ハ市民大会ヲ

見合セタルモ永井ガ例ノ裏面買収ノ為其外ノ新聞記者続々苦情ヲ申出

テ本日五人程福岡ニ押寄セ申候由右様ノ一時的手段ハ到底民衆ノ反感

ヲ免レス最モ不可ト存候間何卒速カニ都会ト村落ノ料金差等ヲ設ケ合

理的ノ營業本位ト致候様当局ニ御指示被下度願上候九軌東邦ハ反感ヲ

招キ未収金八月々増加シ又々電灯値下問題紛糾致候テハ実ニ由々敷大

事ト憂苦致シ切ニ御考量奉願上候

八月廿九日

右御報告旁々申上度如此御座候

頓首

井上武

右ハ極秘ニ相願度候

拜啓残暑尚甚敷候処高堂益御多祥之段奉賀候兼々御無音申上候段御海  
容被下度候貴会社麻生(觀八)重役御逝去者誠に哀悼之極に奉存候就  
而は次之定期総会には後任重役御選任之義と奉拝察候日田郡者御承知  
之通地元関係等是非一名丈は本郡より御推挙相成度是非一般之勢望に  
御座候其人物に就而は貴台始重役諸士之御推選に依り生等容喙すへき  
筋筋に無之候得共水利関係其他持株人格等よりして日田町大字隈後藤  
豊三郎君最適任かと奉存候何卒宜敷御高慮相煩度甚失礼千万之御相談  
御思召も如何と恐縮罷在候得共以書中右御願申上候此段得貴意候  
匆々敬具

麻生御大人様

侍史

タイトル(整理番号)・・・電報(書簡S三一九三八)

作成者(発信地)・・・棚橋琢之助(東京郵便局)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(飯塚町)

作成年月日・・・昭和三年九月一日

特記・・・ムニ(照校)

レイノケンミナノレウカイヲエタ」五ヒゴ四ヂウヤクカイヲヒラク  
ヲイデコウタナハシ

〔訳文・・・例の件皆の諒解を得た〕五日午後四時重役会を開くお出で乞  
う〕

タイトル(整理番号)・・・電報(書簡S三一九一三)

作成者(発信地)・・・黒木佐久馬(福岡局)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(東京市麴町区内幸町柵屋旅館)

作成年月日・・・昭和三年九月四日

特記・・・なし

シラベシヨサクヤタナハシセンムアテオクリマシタ五ヒゴゼンツクヨ  
テイゴランネガイマスコロキ

〔訳文・・・調書昨夜棚橋専務宛送りました五日午前着く予定御覧願いま  
す〕

〔麻生後筆〕

額ノコト坂口返事ノコト

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S三一二七二)

作成者(発信地)・・・橋爪安彦(大分県玖珠郡野上村)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(福岡市)

作成年月日・・・昭和三年九月五日

特記・・・御侍史

形態・・・封書

内容物・・・紙

授受の形・・・郵便

謹啓仕候残暑尚ホ難凌候処愈々御清穆御起居被遊候段奉恭賀候陳者故  
麻生親八氏病中並ニ死去前後ハ貴下特ニ御高配ヲ賜リ遺族一同ハ申ス  
ニ及ハズ親族友人ニ至ル迄只管感銘罷在候故人ハ平素ヨリ貴下ニ対シ  
殊ニ尊敬ノ念深ク唯一人ノ愛孫ニ「太一」ト命名セシ如キ其意ノアル  
処ヲ密ニ小生ニハ洩ラシ申候死後ハ長男益良氏遺業ヲ襲ヒ益々酒造業  
ニ向テ専心奮励努力可致決心致居候令息モ近來健康ヲ恢復シ頭腦モ御  
見掛ノ通り明敏ニ有之候間故人ノ名ヲ汚ガスコトハ無之被存候盆会ニ  
ハ村内ノ青年一同ガ故人ノ教訓ナリトテ勤勞ヲ仏前ニ備ヘ金錢ヲ要ス  
ル灯笼ノ贈呈ヲ見合セ麻生家ニハ無断ニテ墓所ノ掃除ヲナシ岩石ヲ切  
取り通路ヲ拓キ大石ノ手水鉢ヲ遠方ヨリ運ヒ來ル等墓地ハ一朝ニシテ  
小公園ト化シ家人モ參詣驚キタル有様ニ候故人平素ノ質素勤儉ハ自然  
ニ村郡ヲ感化致申候故人ニ対スル貴下ノ御厚情ハ久敷以前ヨリ拝承罷  
在候今後モ何卒従前通り全家御援護御引立被下度只管御懇願申上候  
尚村、郡共故人ノ築キシ地盤ハ堅固ニシテ何等ノ變動ハ無之安心罷在  
候昨今拳郡一致故人ノ銅像建設計畫致居候

乍延引御礼旁々近状御左右ニ呈シ御申上候

匆々拝具

九月五日



麻生太吉様

橋爪安彦 印

座下

追伸小生儀ハ九水創立当初ヨリ玖珠川筋地方問題交渉要件ノ御用ヲ承リ重役各位ノ御愛顧ヲ蒙リ現在囑託ニ有之候従来故人トハ昵懇ニシテ万事御相談申上ケ各種要件ノ解決ニ務メ来り候一方ニハ故人庇護ノ下ニ郡会議長、県選出所得審査委員トナリ現在ハ相続税審査委員郡、県農会ノ議員ノ職ヲ汚ガシ居候自今何卒御高誼ヲ賜ハリ度御願申上候尚ホ小生儀ハ麻生氏ノ後継者ヲ輔佐シ戦陣ノ恩沢ヲ益々光輝アラシメ度存念ニ御座候間此上共御心添へ賜ハリ度重テ追申仕候

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S三一九五)

作成者(発信地)…村上巧児

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町)

作成年月日…昭和三年九月一日

特記…親展

形態…封書(杖立川水力電気株式会社用封筒)

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓御帰県之旨新聞ニテ拝承致候残暑甚敷折柄御苦勞ト奉存候別段御障リモ無之候ヤ御伺申上候暑中十分之御静養奉願上候

東邦ノ件如何相成候ヤ去六日福岡商業会議所ニテ海東(要造)君ニ一寸面会致候処同君ハ余程御上京ヲ望マレ居候様ニテ先日ノ協議ト自分ノ計數本意ノ意見ニ付キ本社ノ意向ノ次第二テ如何様ニモ受讓ノ余地アリ是非円満ノ成果ヲ望ム旨縷々申居り尚十日発上京ニ付或ハ東京ニ

テ尊台ニ拝顔致度旨申居候丁度電灯料値下問題勃発ニ付地下線問題ヲ急ニ痛心致候事ト見込申候

九水モ別府大分佐伯各地ニ値下問題相起リ居候モ永井ノ報告ニテ木村君ハ極メテ樂觀致居り候心配ノ最中ニ棚橋氏ハ悠々北海道旅行ニ赴キ候有様ニテ誠ニ働キ甲斐ノナキ事ニ御座候麻生(觀八)監査役存生中ナラハ定メシ憤怒致候ヤト故人ヲ追懷望致候事ニ御座候先日松野鶴平君東京ヨリ態々麻生翁墓參ノ為西下当地ニモ泊致シ同人ノ招待知事ノ招待等シテ県当局トハ一層懇情ノ機會ヲ得将来一段ノ便宜ト喜居候九水ノ電灯料ハ各地ノ紛争一段落ヲ待チ自發の二統一ノ必要ハ勿論此機會ニ本社縮少重賞減額掛ラス合併等根本的整理ノ方針御確定相仰度其第一点トシテ黒木君ニ電灯料統一ノ調査ヲ相命シ成案ト相成居候間御參考之為一応御覽相仰度奉存候随分大變ナルモ合理的の營業ハ刻下ノ急務ニ有之其為内部革新トモ相成候今日却テ転禍為福ノ一來トモ存セラレ候誠ニ危急ノ時機ニ付慎重ノ御考量御指示偏ニ奉願候小生十四日帰福之積万々期拜鳳申候不取敢御左右相伺方々近況申上度如此御座候

九月十一日

頓首

村上生

麻生老台

侍史

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S三一九四七)

作成者(発信地)…村上巧児(福岡市大字庄參拾五番地九州水力電気株式会社出張所)

宛先(受信地)…麻生太吉(別府市山水園)

作成年月日…昭和三年九月二五日

特記…急親展

形態…封書（九州水力電気株式会社出張所封筒）

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓昨日ハ御疲労中欠礼申上候扱本日定例重役会ハ別段問題モ無之無事相済申候

棚橋氏昨日東京ヨリ帰福本日日出社相成候同氏ハ東京ヨリノ帰途京都ニ再ヒ大田黒氏ヲ訪問シ丁度今朝麻生氏来訪ノ旨大田黒氏ヨリ伝聞致候旨申居ラレ候間左様御承知被下度為念御内報申上置候京都行ノ御用件ハ博覧会见物ナラント木村君ノ話ニ付キ或ハソソナ事ナラント挨拶致置候右取急ギ御報申上度如此御座候 頓首

尚松野〔鶴平〕代議士ハ月末廿八九日頃長崎ヨリ来福ノ由ニ御座候  
九月廿五日 村上生

麻生老台

侍史

タイトル（整理番号）…電報（書簡S三一九四八）

作成者（発信地）…村上巧児（福岡局）

宛先（受信地）…麻生太吉（別府市山水園）

作成年月日…昭和三年九月二二日

特記…なし

マツノシニメンカイシタハナシムツカシ」アスアサウカガヒイサイホ  
ウコクスムラカミ

〔訳文…松野氏に面会した話難し〕明日朝伺い委細報告す

タイトル（整理番号）…電報（書簡S三一〇六六）

作成者（発信地）…木村平右衛門（宮崎局）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡市浜ノ町）

作成年月日…昭和三年一〇月二日

特記…ムニ（照校）

アスヨルカエリマスキムラ  
〔訳文…明日夜帰りますす〕

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S三一〇三三七）

作成者（発信地）…（九州水力電気株式会社出張所）秘書課（福岡

市大字庄三五番地九州水力電気株式会社）

宛先（受信地）…麻生太吉（京都市麴屋町通俵家旅館気付）

作成年月日…昭和三年一二月一〇日

特記…なし

形態…封書（九州水力電気株式会社出張所用封筒）

内容物…野紙（九州水力電気株式会社用野紙）

授受の形…郵便

昭和3年11月10日

麻生社長殿

秘書課 印 （久保世）

瑞雲棚引く今日の佳節慶賀至極に奉存候益御清祥奉賀候  
本日当地に於ても天気清朗午後二時半より一同参集棚橋専務発声にて  
万歳三唱遙拜式を奉行仕候棚橋専務、木村、今井両常務、来福中の江

藤監査役御出席相成候

次に当社目下別段変りなる事無く平凡無事に御座候去る七八兩日の降雨にて両貯水池も満水当分心配無之候別段格別の議案も無之候得共恒例に依り九州重役協議会を来る十五日当所に於て開催可致候間御諒承相成度候右重役会終了後十六日か十七日に棚橋専務上京十九日の九送〔九州送電〕重役会に列し其俟閣下の御着京を御待受に相成候手筈に御座候

次に杖立川水力電気、筑後電気、及九州電気工業三傍系会社の株主総会は閣下御帰福後に致度旁々本月廿九日に決定相成候間御含置相成度候

先は右不取敢御一報申上度如此御座候

敬具

タイトル(整理番号)・・電報(書簡S三一―一二三九)

作成者(発信地)・・棚橋琢之助(宮崎局)

宛先(受信地)・・麻生太吉(別府市外山水園)

作成年月日・・昭和三年一月一三日

特記・・なし

アスゴ、三ジキチツキオウカガイスタナハシ

〔訳文・・明日午後三時貴地着きお伺いす〕

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S三一―一二八〇)

作成者(発信地)・・(九州水力電気株式会社出張所) 秘書課久保田

貞次(福岡市大字庄参拾五番地九州水力電気株式会社出張所)

宛先(受信地)・・麻生太吉(本社)

作成年月日・・昭和三年一月二〇日

特記・・なし

形態・・封書(九州水力電気株式会社出張所用封筒)

内容物・・野紙・九州水力電気株式会社用野紙)

授受の形・・手交

昭和3年11月20日

秘書課 印

麻生社長殿

拝啓陳者杖立川水力電気、筑後電気、九州電気工業三傍系会社定時株主総会は本月廿九日午後一時当社出張所に於て開催の事に決定相成り各社へも夫々通知致置候間御諒承相成度候次に当社来る廿五日の定例九州重役協議会に付ては別に稟議案件も御座無候に付ては今井常務取締役の御指示に依り廿五日は休会の事に致し廿九日午後二時より重役会開会方御通知申上置候間御諒承相成度此段御報告申上候更に本月十七日附を以て三井物産若松出張所渡辺敏衛氏より及十九日附を以て別府市平山茂八郎氏より夫々今回閣下当社々長御就任賀状有之候に付ては早速答礼致置候間御諒承被成下度候  
先は右御報告旁々得貴意度如此御座候  
匆々

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S三一―一〇九五)

作成者(発信地)・・棚橋琢之助(福岡市大字庄九州水力電気株式会社福岡出張所)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡県飯塚町)

作成年月日・・昭和三年一月二〇日

特記・・なし

形態・・封書(九州水力電気株式会社福岡出張所棚橋琢之助用封

筒)

筒)

内容物…紙

授受の形…郵便

謹啓向寒之候益御清安之段奉慶賀候陳者私儀大正十四年以来電気協会九州支部長に就任致居申候処今回支部総会を機とし辞任致候就任中は公私共種々御懇篤なる御指導を蒙り幸ひ大過なきを得申候事は一重に貴下御愛顧の賜と存じ奉深謝申候  
右御挨拶々々申上度如此御座候

十一月廿日

敬具

九州水力電気株式会社

専務取締役 棚橋琢之助

麻生太吉殿

タイトル(整理番号)…電報(書簡S三一―一二〇九)

作成者(発信地)…木村平右衛門(東京郵便局)

宛先(受信地)…麻生太吉(飯塚町立岩)

作成年月日…昭和三年一月二日

特記…ムニ(照校)

デンハイセウホリシヲオマチシマスキムラ

[訳文…電拝承堀(三太郎)氏をお待ちします]

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S三一―一四四―三)

作成者(発信地)…木村平右衛門

宛先(受信地)…麻生太吉

作成年月日…(年未詳)一月二日

特記…御親展

形態…封書(The Imperial Hotel of Tokyo 用封筒)

内容物…紙(The Imperial Hotel of Tokyo 用紙)

授受の形…手交

拝啓仕候今晚御着京の趣専務よりの電報により拝承仕居候明朝八時頃電話にて御都合御伺ひ可申上候若又今夜の方御都合御宜敷候へば帝國ホテル三四四号室に滞宿致居候間電話頂戴致度候ホテルに帰り居らざる節は支那料理階楽園へ本材木町の木村と御電話被下候へば御宿へ罷出可申候右申上置候ば如此二御座候

十二月七日

頓首

麻生社長殿

木村平右衛門

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S三一―一四二)

作成者(発信地)…(九州水力電気株式会社出張所) 秘書課(福岡)

市大字庄三五番地九州水力電気株式会社出張所)

宛先(受信地)…麻生太吉(東京市麹町区山下町柵家旅館気付)

作成年月日…昭和三年一月二日

特記…親展

形態…封書(九州水力電気株式会社出張所用封筒)

内容物…罫紙(九州水力電気株式会社用罫紙)

授受の形…郵便

昭和3年12月8日

秘書課 印

麻生社長殿

拝啓益御多祥奉賀候陳者昨夜宮崎県内務部長より左の通電報有之候

麻生社長宛

「先般御面談の上御相談申上げたる件に付至急何分ノ御返事煩は  
し度候宮崎県内務部長」

に付ては棚橋専務の御指示に依り左記の通り同内務部長宛返電致置候  
間御諒承相成度候

宮崎県内務部長宛

「麻生社長先般来上京中」貴電転送セリ九水会社」

尚九送（九州送電）会社木村常務宛にも同文の電報有之候に付ては棚  
橋専務の御指示に依り右同様の返電を同内務部長宛致置き在京木村常  
務宛電報を以て可然宮崎県宛御返事相成候様御願申上置候間御諒承相  
成度右不取敢御報告申上度如此御座候

追而御出立の御御下命相蒙候書類に付ては山林調書未成に付一両日  
中作成次第早速御送附の申上候間御諒承被下度候 敬具

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S三一―一四四―一）

作成者（発信地）…木村平右衛門（帝国ホテル内）

宛先（受信地）…麻生太吉（内幸町一ノ三校屋旅館）

作成年月日…（年未詳） 一二月九日

特記…御親展御上置

形態…封書（The Imperial Hotel of Tokyo 用封筒）

内容物…紙（The Imperial Hotel of Tokyo 用紙）

授受の形…手交

拝啓仕候昨夜同封電報宮崎県知事より参り候今朝の御協議の御参考に  
も可相成と存じ不取敢御届置申上候

十二月九日

早々

麻生社長殿

木村平右衛門

タイトル（整理番号）…電報（書簡S三一―一二三六）

作成者（発信地）…村上巧児（福岡局）

宛先（受信地）…麻生太吉（東京丸ノ内郵便局内有楽町一ノ一九  
州水力電気株式会社八塚秀二郎）

作成年月日…昭和三年一二月九日

特記…ララ、ムニ（時間外、照校）

デンミタ」一四ヒケンチケンカイギイン」一五ヒオイタシカイギイ  
ントユウシ」一六ヒベツプシカイギイントユウシラシヨウタイシタ」  
ムラカミ

〔訳文…電見た〕一四日県知事県会議員」一五日大分市会議員と有志」  
一六日別府市議員と有志を招待した〕

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S三一―一二六〇）

作成者（発信地）…九州水力電気株式会社出張所） 秘書課（福岡

市大字庄参拾五番地九州水力電気株式会社出張所）

宛先（受信地）…麻生太吉（東京市麹町区内山下町柊家旅館気付）

作成年月日…昭和三年一二月一〇日

特記…親展

形態…封書（九州水力電気株式会社出張所用封筒）

内容物…野紙（九州水力電気株式会社用、杖立川水力電気株式会  
社用野紙）

授受の形…郵便

〔九州水力電気株式会社用野紙〕

昭和3年12月10日

秘書課 〔久保田〕  
印

麻生社長殿

拝啓益御多祥奉賀候会社は日々棚橋専務今井常務御出社相成平穩に御座候間御諒承相成度候陳者本日村上常務より別紙の通り御来状有之候間御高覧に供度茲許全封御送附申上候間御査収相成度先は右得貴意度如此御座候 敬具

〔杖立川水力電気株式会社用野紙〕

昭和3年12月8日

〔標榜〕  
印 村上巧児 〔久保田〕  
印

久保田秘書課長殿

拝啓麻生社長就任披露招待会開催ノ件御来示拝承誠ニ好都合ニテ御心懸拝謝致候左ノ通り確定夫々案内状發送致候間其旨社長専務常務ニ御報告願上候

十四日

知事、三部長

〔約四十八〕(別府大吉楼)

(后五時)

県会議員一同

料理五円、土産五円

十五日

県関係課長

〔約六十八〕

大分市長 市会議員

(大分市共景亭)

市有志

料理四円、土産四円

十六日

別府市長、市会議員有志(料理等全様)

〔約五十人〕

(別府なるみ亭)

右大分別府両市八目下電灯市営、又八値下問題等モ有之候時節ニ付キ感情融和ノ為特ニ市会議員一同ヲ招待者ニ差加申候両市共三十人ニ御

座候県会議員ハ全部別府市宿泊ニ付本人共ノ希望ヲ容レ会場ヲ別府ニ決定致候次第御諒知願上候

両市関係ニテ三浦〔数平〕成清〔信愛〕両代議士モ十四日ニ招待致置候

尚宴会用件ハ凡テ当地支部並ニ大分別府両営業所長ニ於テ万端手配致居候上出席重役モ多数ニ付貴方ヨリ特ニ大官連ノ御出張ハ御無用ニ願上候 頓首

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S三一―一二五五)

作成者(発信地)・・野依秀市(東京市芝区愛宕町三ノ二(電車通)

大日本真宗宣伝協会)

宛先(受信地)・・麻生太吉(柘家御内)

作成年月日・・昭和三年一月二日

特記・・親展

形態・・封書(大日本真宗宣伝協会用封筒)

内容物・・野紙(実業之世界社用野紙)

授受の形・・手交

麻生老台

秀一

先般は有り難く御礼申上げます、「実業之世界」新年号第十五頁目に老台に関する記事が出て居りますから御らん下さい、就ては今回も五百円也丈けゼヒ願ひます、八塚氏は「千円貰つたかと思つたかね、それでは君は余り強く言はなかつた」ねと申されましたよ。私は強いようで、實際弱くてイケませんよ。御話も伺ひたい事かあるのですから明日でも明後日でも御目にか、つて下さいよ。

尚、「実業之世界」新春号百二十八頁御らん下さい

タイトル(整理番号)・書簡(書簡S三一―一二三九)

作成者(発信地)・黒木佐久馬

宛先(受信地)・麻生太吉

作成年月日・年未詳二月一三日

特記・なし

形態・封書

内容物・紙

授受の形・手交

謹啓非常なる御繁用にも不拘益々御健勝に被涉候段大慶至極に奉存候  
諸別冊「社勢一覽」ハ我社最近に於ける一般の概要を網羅したるもの  
に有之御参考の一助と相成候はゞ難有仕合に奉存上候

敬具

十二月十三日

黒木佐久馬拝

社長殿

タイトル(整理番号)・電報(書簡S四―四二三)

作成者(発信地)・九州水力電気株式会社(東京郵便局)

宛先(受信地)・麻生太吉(別府市山水園)

作成年月日・昭和三年二月一四日

特記・なし

ミヤサケンナイムブテウヨリキカアテ(デンハイケンケンクワイノ  
カイキヨジツスクナクシキウテイアンノヒツヨウアリ一コクモハヤキ  
ゴカイダクノクワイタウヲセツボウス)トデンアリタヨロシクオヘン  
ジコウ九

〔訳文〕宮崎県内務部長より貴下宛(電拝見県会の会期余日少なく至

急提案の必要あり一刻も早き御快諾の回答を切望す)と電ありたよ  
しく御返事乞う)

タイトル(整理番号)・書簡(書簡S三一―一二六二)

作成者(発信地)・村上巧児(大分市南新町杖立川水力電気株式

会社)

宛先(受信地)・麻生太吉(東京市麹町区内幸町柵屋旅館内)

作成年月日・昭和三年二月一七日

特記・親展

形態・封書(杖立川水力電気株式会社用封筒)

内容物・紙

授受の形・郵便

拝啓御無事御着京被遊候事ト奉存候今回ハ態々東京ヨリ御帰別引続キ  
宴席ニ列セラレ御疲労拝察誠ニ恐入申候本日久米知事ニ面会致候処非  
常ノ好感ニテ来春ヨリハ一層繁ク御来県相仰候様只管希望之旨心底ヨ  
リ申居リ市長以下多数有志モ夫々謝辞申越シ殊ニ県会ノ□□ハ全ク軟  
化凡テ流水ノ如ク当社ノ希望ヲ容レ申候事ニ決定ノ旨県会議員ヨリ内  
聞致候誠ニ御疲労ハ恐縮ニ存候モ効果ノ顯著ナル事今回ノ如キ宴席ハ  
無之偏ニ□□ノ致ス処ト公私欣賀ノ至ニ奉存候

貴地ニテハ又々九送(九州送電)其他御尽力段々ト奉存候何卒御自愛  
御過勞無之様切ニ奉祈上候

御上京前一寸貴聞ニ入置候東邦九送電力契約ニ伴フ九水東邦和親協定  
ノ權利ハ何卒木村君ヨリ事情御聴取ノ上余リ勝手ノ申出ハ見合セ大局  
上有利ニ相導キ候様御指示被下度奉願候海東(要造)君モ本件ハ余程  
不快ニテ重視致居候様ニ見受申候棚橋氏ニモ海東氏ヨリ上京前陳情致

候由ニ御座候

右謹テ御礼方々御報申上度如此御座候

十二月十七日

頓首

村上生

授受の形・手交

十二月卅日

村上生

麻生老台

侍史

〔付紙・二月一六日付『豊州新報』切り抜き、一部は編集者が記事に基づき翻刻加筆〕

麻生九水社長

故麻生翁の墓に詣つ

九水社長麻生太吉氏は十五日同社常務村上氏同伴大分より玖珠郡に直行して麻生觀八氏の墓前に詣で花輪を捧げた後遺族を鄭重に慰めたので遺族の人々は感泣して居たが此の朝郡内有志橋爪、了戒、長尾、江藤、小幡、清水、川上、荒木、麻生其他森水電重役、玖珠銀行重役、実業銀行重役、野上商工会幹部、野上東飯田両村長等は何れも麻生氏を自動車にて郡界まで出迎へ好意を感謝した、因に麻生氏は懇に参拜の後再び一同に見送られて即日大分に引返した

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S四一六二)

作成者(発信地)…村上巧児

宛先(受信地)…麻生太吉

作成年月日…(昭和三年カ) 二月三〇日

特記…社員荻野君持参

形態…封書

内容物…紙

麻生老台侍史

拜啓愈御安泰奉賀候扱当社宮崎営業所長荻野清太郎君御伺申上候間御多用中恐入候得共寸時御引見御訓辞相仰候様奉願候同人ハ黒木支配人ノ最モ信任厚キ社員ニテ予テ中津営業所長トシテ拔群ノ成績ヲ示シ黒木君調査部長拜命ノ時特ニ同部次席ニ拔キ黒木ノ片腕トシテ懸命ニ努力ヲ捧ケ候結果今回宮崎営業所長ノ重任ヲ命セラレ候次第ニテ幼時ヨリ苦勞方行ノ為志操ノ堅実到底今日ノ書生トハ比較ニナラズ将来多事多難ノ宮崎所長ニシテハ絶好ノ社員ト認メ申候何卒特ニ御引見御訓戒被下候様小生ヨリモ御願申上候右本人ノ望ニヨリ乍欠礼書中御願迄申上度如此御座候

頓首



〔昭和四（一九二九）年〕

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S四―六一）

作成者（発信地）…大藪守治（久留米市両替町）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡市浜之町）

作成年月日…昭和四年一月七日

特記…御礼

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓昨日は御鄭重なる御招宴に預り有かたく厚く御礼申上候何等隔りなき社内の団欒に一段の親しみを感じ久し振り清爽之気分を味申候何れ拝眉之節更めて御厚礼申上べきなから不取敢書中を以て御挨拶申上度如此御座候頓首

一月七日

大藪守治

麻生太吉様

玉案下

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S四―五七）

作成者（発信地）…村上巧児（九水）

宛先（受信地）…麻生太吉（浜町）

作成年月日…昭和四年一月二二日

特記…侍史

形態…封書（九州水力電気株式会社用封筒）

内容物…紙

授受の形…手交

拝復昨日御願申上候毫跡早速御廻与被成下難有奉存候丁度福日記者来社ニ付相渡置申候誠ニ温潤味沢山ノ御毫蹟ニテ感服致候事ニ御座候用済ノ上ハ菊竹君ニ交付□蔵致候様取斗置申候

来十七日御出発ノ由拝承誠ニ御苦勞ト奉存候本省ヨリノ召電ニヨリ宮崎知事上京致候由ニ付小生ハ十五日夕出発松野〔鶴平〕君ヲ叩キ一ユスリ致度万々期拜鳳可申候右御報迄申上度如此御座候

十二日

村上生

麻生老台

侍史

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S四―四二）

作成者（発信地）…村上巧児（福岡市荒戸町）

宛先（受信地）…麻生太吉（嘉穂郡飯塚町）

作成年月日…昭和四年一月二六日

特記…御直披

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓昨日帰福致候

久爾宮殿下御危篤之趣拝聞誠ニ恐懼ニ堪エス候永年特別ノ御眷顧ヲ蒙ラセラレ候義ニ付御深憂撫々ト奉恐察候

御帰国後御微恙御引籠中ノ趣最早御快氣ニ候哉寒冷之折柄特ニ御自愛奉願候自然御上京モヤト奉存候間一層ノ御療養肝要ニ奉存候小生東京出立前日松野〔鶴平〕君ハ多忙中特ニ上京中ノ熊本県知事大分県知事ト小生ト四人ニテ会食ノ機会ヲ与テ呉レ社業ニ付両知事ノ十分ノ諒解ヲ得誠ニ感謝致居候同君ノ友情ハ真ニ感激之至リ偏ニ老台御親近之賜ト厚ク御礼申上候巨細ハ拜鳳御報告可申上不取帰福御挨拶旁々申上度如此御座候

一月廿六日

頓首

村上生

麻生老台

侍史

タイトル(整理番号)：昭和四年「発信原稿」(へー五二)

作成者：麻生太吉

宛先：岩尾昭太郎、村上巧児

作成年月日：昭和四年一月二八日

形態：冊子

〔岩尾昭太郎宛〕

拜啓益御健勝奉慶賀候扱殖林之件ニ付御申向被成下候処上京中ニテ帰県拜見仕候早速村上常務ニ相伝置申候間御協議被成下度候地元之要望如何ニ依ル事ニ有之候得共殖林ハ相互ニ有利ニ奉存候御返事延引致シ不悪御承知被成下度先ハ御返事迄如此御座候

岩尾昭太郎 一月廿八日

敬具

〔村上巧児宛〕

拜啓昨日電話ニテ御咄申上候岩尾氏ヨリ照会之殖林之件別紙御覽ニ入

申候貴台ト御協敷之事申向置候御含置被下度候敬具  
村上巧児 一月廿八日

タイトル(整理番号)：電報(書簡S四―一〇五)

作成者(発信地)：木村平右衛門(福岡局)

宛先(受信地)：麻生太吉(東京市麹町区内幸町柵屋旅館気付)

作成年月日：昭和四年二月四日

特記：ムニ(照校)

ミタジウヤクカイワジウヨウアンケンケンヲツギニノバシ七ヒヒラキタシクマモトセウカクワゴキケンゴニシタシヨロシキヤヘンキムラ  
〔訳文〕見た重役会は重要案件を決議ニ(日脱カ)延ばし七日開きたし熊本昇格(カ)は御帰県後にしたしよろしきや返

タイトル(整理番号)：電報(書簡S四―一〇四、一―二二)

作成者(発信地)：村上巧児(いずれも福岡黒門局)

宛先(受信地)：麻生太吉(東京市丸ノ内内幸町柵屋旅館)

作成年月日：昭和四年二月五日

特記：いずれもなし

〔その一(書簡S四―一―二二)〕

ゴフカイノヨシゴセイヨウイノルムラカミコウジ

〔訳文〕御不快の由御静養祈る

〔その二(書簡S四―一〇四)〕

ハヤクゴケイカイアンシンシマシタユルユルゴセイヨウイノルクマ  
モトチジマダキコクセヌエオカエリヲマチマスマスラ

〔訳文〕早く御軽快安心しました緩々御静養祈る熊本知事まだ帰国

せぬ故お帰りを待ちます」

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S四―四一九)

作成者(発信地)…菱形重之(大分県速見郡日出町)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町)

作成年月日…昭和四年二月九日

特記…侍史

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

謹啓仕候陳者過日出福仕候処御上京中御不快ニ被為居候由承り本日又御帰宅後モ御静養被遊居候趣拝承仕候何卒充分御加養一日モ早ク御本復被遊候様只管御祈り申上候実ハ予テ実地御視察相仰候醋酸工業之件ニ関シ理化学研究所渡辺俊雄氏本月一日来着現場御踏査ノ上諸件御調査ヲ了シ去ル六日特急ニテ帰東セラレ候右ニ関シ親シク御報告申上度ト存シ居候何レ御快氣之御り御左右相伺ヒ参上御報告可申上先ハ甚ダ略儀ナガラ書中御見舞申上候

二月九日

頓首

麻生社長殿

侍史

菱形重之

作成年月日…昭和四年二月一三日

特記…侍史

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

謹啓仕候其後御病氣如何被為居候哉御伺申上候去ル九日付弊書差上候通り御病氣御平癒之機ニ御承知之理研問題御報告致度考ニ有之候処昨日棚橋専務殿ヨリ御電話ニテ不肖ニモ至急上京スル様御下命ニ接シ候ニ付テハ目下寒冒ニ罹リ居り候モ一両日之内快方之見込ニ付鉄道省酸素売込其他ノ要務ヲ兼ネ十五日頃上京之決意ニ有之候何レ帰社後参上親シク御報告申上度御了承賜ハリ度此段得貴意候

一月十三日

頓首

麻生社長殿

侍史

菱形重之

タイトル(整理番号)…電報(書簡S四―一八五)

作成者(発信地)…松永安左衛門(下関局)

宛先(受信地)…麻生太吉(別府麻生別邸)

作成年月日…昭和四年二月一七日

特記…なし

ケフタナハシクント九スイ九テツキヨウテイアンニチヨウインシタリヨウシヤノキヨチヨウカクホセラレタルコトヲチユシンヨリカンシヤスコノウエサラニ一ボラススメルコトチカキニアリトヲモウホンヤシツパツガイユウノトニノボルキカノケンコウライノルマツナガヤスザ

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S四―一七二)

作成者(発信地)…菱形重之(大分県速見郡日出町)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町)

エモン

〔訳文・今日棚橋専務と九水九鉄〔東邦電力〕協定案に調印した両社の協調確保せられたることを衷心より感謝すこの上更に一步を進めること近きにあると思ふ本夜出發外遊の途に上る貴下の健康を祈る〕

タイトル（整理番号）…昭和四年「発信原稿」（へ―五二）

作成者…麻生太吉

宛先…松永安左衛門

作成年月日…昭和四年二月一七日

形態…冊子

電拝見○東邦九水協定成立此ノ上ナシ○尚進ミテ一件ノ成立ヲ切ニ希望ス○本日御出發外遊○長途ノ御旅行御壯健ニテ○御無事御帰朝ヲ祈ル○麻生太吉、

十七日

下関市阿弥陀寺町大吉楼方

松永安左衛門

タイトル（整理番号）…電報（書簡S四―二〇〇）

作成者（発信地）…棚橋琢之助（東京郵便局）

宛先（受信地）…麻生太吉（別府市山水園別荘）

作成年月日…昭和四年二月二二日

特記…ムニ、ニカ（照校、親展）

トウボウトノケイカクアンキムラシケウタチカエラルユエタクシタ○サクサンノケンサクヒヲコウチシニメンカイセンポウコウ井ヲヨセラルヲタクロシニケウクワシクハナセシニダイサンセイアスコロギ

シニメンカイセラルテハズスミシダイヒシガタシリケントノケイヤクアンモチカヘルユエハヤクテイケツニツキゴハイリヨコウタナ

〔訳文・東邦との計画案木村氏今日発ち帰るゆえ託した○醋酸の件昨日大河内氏に面会先方好意を寄せらる大田黒氏に今日詳しく話せしに大賛成明日コロギ氏に面会せらる手筈済み次第菱形氏理研との契約案持ち帰るゆえ早く締結に付御配慮乞う〕

タイトル（整理番号）…昭和四年「発信原稿」（へ―五二）

作成者（発信地）…麻生太吉

宛先（受信地）…増永元也

作成年月日…昭和四年二月二二日

形態…冊子

拝啓益御清康奉慶賀候陳者先般來御申越之九水会社御從事者之事ハ八塚君ヘモ御申込ニ付直ニ当局ノ方ヘ申遣置申候頃日ハ棚橋専務木村常務上京中ニ付両君間ニ御本人御面会被下候ハ、好都合ニ奉存候御含置奉願候只今別府ヨリ帰宅二月十五日付御状拝見仕候先日久爾宮家御不幸之時上京致シ不斗風邪之為メ高度之熱発仕り其為メ何ト無ク不勝兼静養致居申候当分ハ上京不致積ニ御座候大要之御要件御申越被下候ハ、書面又ハ代理之モノ差出御用便可申上候不取敢先書之御返事延引御詫旁々以書中如斯候

二月二十一日

鉄道省 増永元也

敬具

タイトル（整理番号）…電報（書簡S四―二六六）

作成者（発信地）…九州水力電気株式会社（東京駅内局）

宛先(受信地)・・麻生太吉(飯塚町)

作成年月日・・昭和四年三月一日

特記・・ニカ(親展)

トウボウヲヨビリケントノケイヤクノコトジウヤクカイセウニンスミ  
タトモニコチニテウインスル九

[訳文・・東邦および理研との契約のこと重役会承認済みた共に此地に  
て調印する]

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S四―一二三三八)

作成者(発信地)・・九州水力電気株式会社経理課池田常二(九州

水力電気株式会社)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡市浜ノ町)

作成年月日・・昭和四年三月九日

特記・・親展

形態・・封書

内容物・・野紙(九州水力電気株式会社用野紙)

授受の形・・手交

昭和四年三月九日

麻生社長殿

経理課 印<sup>(通世)</sup>

肅啓前略昨日ノ重役会ニ於テ宮崎営業所用電灯電力料領収証用紙ヲ宮  
崎ニ於テ印刷云々ノ件尊台御配慮被成下候趣本日拝承至極御最ノ儀ト  
奉存候実ハ先月上旬荻野所長トモ相談ノ上同営業所未収入金回収ノ一  
方トシテ同所所要数量ノ領収証及其他用紙ヲモ当分ノ間当方印刷単価  
以下ノ範圍ニ於テ未収入金大ナル新聞社等ニ印刷依頼シ代金ハ未収電  
力電灯料金ト相殺ノ事ニ決定先方へ交渉ノ上夫々既ニ手配致サセ置候

間最先月中ニ実行ノ運びニ到リ居ル事ト確信仕候ニ付何卒右様御含ミ  
置キ被下度此段右要用ノミ申述度如斯御座候 敬具

タイトル(整理番号)・・電報(書簡S四―八二二)

作成者(発信地)・・堀三太郎(赤坂田町局)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡市浜ノ町)

作成年月日・・昭和四年三月一七日

特記・・なし

タナハシクンニアイ○マスナガシニヒキアワセソノウエニテキタクス  
○ホリ

[訳文・・棚橋氏に会い○増永氏に引き合わせその上帰宅す]

タイトル(整理番号)・・電報(書簡S四―一〇八三)

作成者(発信地)・・菱形重之(日出駅局)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町)

作成年月日・・昭和四年三月一七日

特記・・なし

リケンケイヤクシヨケフチヨウインスミマシタヒシカタ

[訳文・・理研契約書今日調印済みました]

タイトル(整理番号)・・昭和四年「発信原稿」(へ―五二)

作成者・・麻生太吉

宛先・・堀三太郎、有馬秀雄

作成年月日・・昭和四年三月中旬(二八日)

形態・・冊子

棚橋専務一八日其地ニ着ク○電化ノ件調査ノ模様伺ハセタシ○増永氏  
ニ御引合セ頼ム 麻生

堀三太郎 東京市赤坂区氷川町七松本和氏方

有馬秀雄 全方

タイトル(整理番号)・・昭和四年「発信原稿」(へ―五二)

作成者・・麻生太吉

宛先・・棚橋琢之助、榊原円次郎

作成年月日・・昭和四年三月二〇、二一日

形態・・冊子

〔榊原宛その二〕

電見タ大口トシテハ値段高イ」イソイデハイケマセンフミニテ照会ア  
レ

三月二十日

東京牛込区戸山町二五

榊原円次郎

〔榊原宛その二〕

電見タ多数ノ取引故急ニハ行カヌ」持主名前秘密ニ知セ乞フ」返信料  
ハ送ルニ及ハス

三月廿一日

榊原円次郎

〔棚橋宛〕

電承知シタ」株ノ件東京ノ榊原円次郎ト申ス者ヨリ新」旧」ニテ四千

株売込ミ電来タ今交渉中御含ミ迄ニ知ラス

ニカ 三月廿一日

東京市麹町区有楽町三菱東七番館九州水力会社  
棚橋琢之助

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S四―八三二)

作成者(発信地)・・渡辺臯築(福岡県飯塚町芳雄)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡市浜ノ町麻生別邸気付)

作成年月日・・昭和四年三月二一日

特記・・明治水力電気監査役持参

形態・・封書(渡辺臯築用封筒)

内容物・・紙

授受の形・・手交

冠省御尊覧願上候只今電話にて御願申上置候

大分県佐伯町

明治水力電気株式会社

監査役竹村富三郎氏

御紹介申上候間何卒御引見被成下度候用件は右電力不足の爲め九水会  
社より御分譲を願度趣ニ御座候

先ハ右要用のみ如此御座候 拝具

二十一日

渡辺臯築

麻生社長殿

御侍史

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S四―八六四)

作成者(発信地)・・堀三太郎(東京市赤坂区氷川町七松本方)

宛先(受信地)：麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町)

作成年月日：昭和四年四月九日

特記：親展

形態：封書(TOKYO STATION HOTEL用封筒)

内容物：紙(東京ステーションホテル用紙)

授受の形：郵便

拝啓

高堂愈御清榮奉慶賀候然者鉄道省電気局長増永元也氏左記日割にて東京出發長崎へ出張十六日夜福岡榮屋旅館へ投宿ノ旨通知有之私も十六日迄福岡帰省可致候間何卒御練合せ同十六日同時刻頃迄に福岡へ御越し被成下候様希望仕候調査書は増永氏携帯可致と申聞候

増永氏日割

一、四月十四日朝特急一号列車東京出發

二、四月十五日朝下ノ関を経て門司着

三、直に門司より急行列車にて長崎へ直行

四、同月同日夜長崎着

五、四月十六日午後二時頃長崎発急行、午後六時博多着榮屋旅館一泊

六、四月十七日博多発大坂を経て帰京之予定とのこと福岡滞在時間は

十七日午後迄位ならむと存候以上

右不取敢御報申上候

赤坂氷川七、松本方

四月九日

麻生様

貴下

早々頓首

堀三太郎

尚私も十四日頃当地出發自然は同車致度とも存居候

タイトル(整理番号)：電報(書簡S四—二一〇〇)

作成者(発信地)：杖立川水力電気株式会社(大分局)

宛先(受信地)：麻生太吉(福岡市浜ノ町)

作成年月日：昭和四年四月一日

特記：なし

ムラカミシリヨコウチウニ三ヒウチカエル」ツエタテ

〔訳文：村上氏旅行中二三日内帰る〕

タイトル(整理番号)：書簡(書簡S四—八七七)

作成者(発信地)：有馬秀雄(東京市外寺島町)

宛先(受信地)：麻生太吉(福岡市浜ノ町)

作成年月日：昭和四年四月一六日

特記：至急親展

形態：封書

内容物：野紙

授受の形：郵便

肅啓陳者新緑之候愈々御健勝慶賀之至ニ奉存候扱テ突然ノ儀ニ御座候得共予テ御懇命ヲ蒙リ居候現鉄道省電気局長増永元也氏電気技術者出身トシテハ最早是レ以上昇進ノ途無之候由就テハ適當ノ機会ト場所アレバ勇退後進ノ途ヲ開クト同時ニ民間ニ於テ大ニ活躍セントノ意志ヲ有シ居リ候処先般來数回大人ト接近ノ結果人格崇高実力兼備果斷敢為ニ勇ナル御性格ニ敬慕シ自己後半世ヲ委ユルハ老台ヨリ外ナシト熟慮シ御膝下ニ於テ大ニ粉骨碎身電気界ニ貢獻致度懇望ニ御座候間本人ノ

熱誠御嘉納被成下相当ノ処ニ御採用被成下様切ニ小生ヨリ御願申上候  
尚本件ニ付テハ上京中ノ堀〔三太郎〕氏へモ御願申上候間宜シク御願  
申上候 敬具

麻生老台侍史  
四年四月十六日

秀雄拜

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S四―八一二)

作成者(発信地)・・九州水力電気株式会社出張所) 秘書課(福岡

市大字庄三五番地九州水力電気株式会社)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町)

作成年月日・・昭和四年四月一六日

特記・・親展

形態・・封書(九州水力電気株式会社出張所用封筒)

内容物・・罫紙(九州水力電気株式会社用罫紙)

授受の形・・郵便

昭和4年3月16日

秘書課 (欠係) 印

麻生社長殿

拝啓御令弟様御病氣如何被為渉候哉御見舞申上候万全の御加養を以て  
不日御快方に被為向候事とは存候得共時候不順の折柄折角御静養奉祈  
念候

昨日電話を以て御指示有之候東洋曹達会社々長磯村音介氏及常務近藤  
晋氏午後七時来福相成候に付ては同夜福村家に於て当社より今井常務  
永井支配人(黒木支配人別府出張)(鶴丸副支配人病氣静養中)及小  
職出席招待申上げ社長様御指示の趣伝声仕候処両氏とも宜敷御鳳声相

成度旨被申居候間此段御諒承被成下度候

次に別紙九州電気工業株式会社支配人補欠採用の件稟議書茲許加封御  
送附申上候間御承認被成下度御調印相蒙候上決裁処分致候間折返し御  
返送被成下度願上候先は右御報告旁々得貴意度如此御座候 敬具

タイトル(整理番号)・・昭和四年「発信原稿」(へ―五二)

作成者・・麻生太吉

宛先・・内本浩亮

作成年月日・・昭和四年四月一七日

形態・・冊子

ムラカミシマダカエレヌカ○ユキサキワカラバデンシンカ○デンワシ  
タシ○シラセコウ アソウ

内本浩亮 四月十七日

〔訳文・・村上氏まだ帰れぬか○行き先分かれれば電信か○電話したし○  
知らせ乞う〕

タイトル(整理番号)・・電報(書簡S四―八一七)

作成者(発信地)・・内本浩亮(大分局)

宛先(受信地)・・麻生太吉(飯塚町)

作成年月日・・昭和四年四月一七日

特記・・なし

ムラカミシイマキシヤチウトオモイヒマスツキシダイホンニンデンワ  
スルヨウハカライマス」ウチ

〔訳文・・村上氏いま帰社中と思ひます着き次第本人電話するよう計ら  
います〕



タイトル（整理番号）…昭和四年「発信原稿」（へー五二）

作成者…麻生太吉

宛先…棚橋琢之助

作成年月日…昭和四年四月二二日

形態…冊子

一件分割ノ方重クナリマシタガ」一時デナケレバ分割取引ハ〇他日面倒ガ起リハセヌカト思ヒマス〇電話ニテハ要領ヲ得ズ〇今夕野田〔勢次郎〕谷田〔信太郎〕ヲ上京サセマス御用取尚ホ御高慮ヲ願フ〇木村氏ニ御滞京ヲ願ヒマシタガ交渉ガ延引シ御迷惑ニ存シマスモ明晩着シマス故御待チ下サレマスレバ此上ナシ

ムニ ニカ 四月廿一日

棚橋琢之助

東京市麹町区丸ノ内二丁目九州水力電気会社

タイトル（整理番号）…電報（書簡S四―三四一）

作成者（発信地）…九州水力電気株式会社（東京郵便局）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡県嘉穂郡飯塚町）

作成年月日…昭和四年四月二三日

特記…ムニ（照校）

ギアンアリ二六ヒゴニジコチニテリンジジウヤクカイヒラキタシゴツ  
ゴウイカガ九

〔訳文…議案あり二六日午後二時此地にて臨時重役会開きたし御都合如何〕

タイトル（整理番号）…電報（書簡S四―一〇三七）

作成者（発信地）…棚橋琢之助（大阪郵便局）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡市浜ノ町麻生別荘）

作成年月日…昭和四年四月三〇日

特記…ムニ、ニカ（照校、親展）

カブハナシツキシダイトウケウニテモヲサカニテモツカエナシトハマサキシセウチシタ〇ハマサキヲメイギニンノコトワカシツケニントナルカンケイゼウヤスタニタイシグワイワルイカラコトワリアリ〇トウケウヨウスワカリシタイシラセコウタナハシ

〔訳文…株話付き次第東京にても大阪にても聞えなしと浜崎氏承知した〇浜崎を名義人のことは貸付人となる関係上安田に対し具合悪いから断りあり〇東京様子分かり次第知らせ乞う〕

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S四―二八二）

作成者（発信地）…九水福岡電鉄慰安会係

宛先（受信地）…麻生太吉

作成年月日…昭和四年五月（上旬）

特記…御案内

形態…封書

内容物…紙

授受の形…手交

謹啓

新緑の候御尊台益々御清適奉賀候陳者来る九、十両日高宮筑紫公園に於て現業員春季慰安会開催致候に就ては万障御繰合の上御来駕の榮を賜り度此段御案内申上候

昭和四年五月

九水福岡電鉄

匆々

様

慰安会係

〔別紙〕

慰安会順序

- 一、午前拾時 新柳町納涼跡集合徽章配付
- 一、午前拾時拾分 全所出発
- 一、午前拾壹時 高宮八幡宮境内着
- 一、午前拾壹時拾分 主任挨拶
- 一、午前拾壹時半 中食配給
- 一、午後零時 福引開始
- 一、午後零時半 余興開始
- 一、午後貳時半 宴会開始
- 一、午後四時 全所解散

〔名刺〕

秋根昌美

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S四―二八三）

作成者（発信地）…木村平右衛門

宛先（受信地）…麻生太吉

作成年月日…昭和四年五月七日

特記…持参者秋根君御引見（以後は破損により不明）

形態…封書（九州水力電気株式会社用封筒）

内容物…紙、罫紙（九州水力電気株式会社用罫紙）

授受の形…手交

麻生社長殿

木村平右衛門

拜啓仕候昨夜ハ御鄭重なる御饗応の御相伴を蒙り十二分に頂戴難有御礼申上げ奉存候尚小生甚だ勝手至極ニ候へども本年三月に親戚の方へ養子ニ遣し候倅の相続人披露を先方にて本月十日に行ひ候為列席を懇望参り候ニ付明八日夜当地出立、十二日日曜正午迄ニ帰福仕候間九、十、十一、三日間御暇を頂戴致度御願申上候

毎度恐縮ニ奉存候へども電鉄部運動会ニ付多少の御寄附御願申上度委細書面持参の秋根昌美より御聞取被下度候

〔罫紙〕

福岡電鉄

事務員 秋根昌美

一大正十五年三月京都帝国大学法学部政治科卒業

一昭和二年六月一日九州水力電気株式会社入社福岡管理部勤務

一昭和二年八月廿日出張所営業部営業課勤務

一昭和二年十二月九日福岡電鉄勤務

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S四―二八四）

作成者（発信地）…大藪守治（久留米市両替町）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡市浜ノ町）

作成年月日…昭和四年五月七日

特記…御礼

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拜啓昨日は麻生氏御招宴に際し陪席御厚遇を辱ふし御懇情深く御礼申上候何れ拝顔の上更めて御礼申上べきなから不取敢書中を以て御挨拶

申上度如此御座候

五月七日

大藪守治

頓首

麻生太吉様

麻生太吉様

梧下

橋爪安彦

タイトル(整理番号)・書簡(書簡S四―二九二)

作成者(発信地)・橋爪安彦(大分県玖珠郡野上村)

宛先(受信地)・麻生太吉(福岡市浜町)

作成年月日・昭和四年五月九日

特記・御親展

形態・封書

内容物・紙

授受の形・郵便

謹啓仕候愈々御清適之段奉恭賀候陳者今度麻生益良氏同道出福仕候節ハ御多忙半バニモ不拘盛宴御招待相蒙リ誠ニ恐縮感謝之外無之候七日早朝出発之為メ御礼ニモ参上不仕御無礼之段平ニ御海容被成下度候御老台様ノ故麻生〔観八〕氏並ニ令息ニ対スル御熱情ハ只々遺族一同ノミナラズ郡内有志一般之疾クニ承知シ深ク感銘罷在候処ニ御座候御高誼ハ懸テ玖珠川筋既往将来ニ於ケル九水事業上ニモ好影響ヲ与フル一源因トモ可相成奉拝察候此上共益良氏ヲ故人同様御引立テ御指導賜ハリ度只管御懇願申上候  
尚ホ多額之金員銅像費中へ御寄贈被成下帰郡早々ニ発起人一同へ報知仕候処何レモ深ク御高志ヲ感謝罷在候  
乍延引御礼旁々如此御座候

五月九日

匆々拝具

タイトル(整理番号)・電報(書簡S四―一〇四〇)

作成者(発信地)・棚橋琢之助(福岡局)

宛先(受信地)・麻生太吉(麹町区内幸町柵屋支店)

作成年月日・昭和四年六月五日

特記・なし

ヲタチノヒヲトリチガエメンカイノキカイヲシツシヤムナクキカアテシンテンシヨヲキムラシニタクシタアシカラズゴレウセウコウタナハシ  
〔訳文・お発ちの日を取り違え面会の機会を失しやむなく貴下宛親展書を木村氏に託した悪しからず御了承乞う〕

タイトル(整理番号)・書簡(書簡S四―一一三〇)

作成者(発信地)・橋爪安彦(大分県玖珠郡野上村)

宛先(受信地)・麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町)

作成年月日・昭和四年六月八日

特記・御侍史

形態・封書

内容物・紙

授受の形・郵便

謹啓仕候初夏トハ乍申長途之汽車旅行御疲勞被遊候事ト奉存候何卒御大事ノ御尊体御用心専一二奉祈上候扱過日ハ御上京当日突然參堂仕リ

甚々御無礼申上候段平ニ御海容被成下度候故麻生〔観八〕監査役後任  
へ令息益良氏推挙方御内意相伺候処直ニ御快諾ヲ賜ハリ老生モ誠ニ面  
目ヲ施シ申候婦郡ノ上御高意ノアル処益良氏へ相伝申候処深く感謝セ  
ラレ機会到来ノ上ハ貴台ノ馬前ニ朴ル、ノ覚悟ヲ以テ進ムベキ旨申居  
ラレ候故人ノ関係モ有之事業地一般ノ氣受ケモ宜シカルヘク亦一面ニ  
ハ県郡ノ政情ニ甚大ノ好影響ヲ及ボシ可申候貴意ヲ得候通り本件ハ他  
ニハ一切口ヲ禁シ万事奉テ貴台ノ御指図ニ従ヒ可申候間此上共御高配  
賜り度祈上候

寸書御礼旁々如此御座候

匆々拝具

六月八日

橋爪安彦

麻生御老台

座下

タイトル〔整理番号〕…電報〔書簡S四―八八四〕

作成者〔発信地〕…九州送電株式会社〔福岡局〕

宛先〔受信地〕…麻生太吉〔飯塚町立石〕

作成年月日…昭和四年六月一〇日

特記…ムニ〔照校〕

トリシマリヤクタナカトクジロウシボドウハヒセイキヨアストウキヨ  
ウニテコクベツシキセララルオシラセモウシアゲマス」九シユウソウデ  
ンカイシヤ

〔訳文…取締役田中徳次郎氏母堂八日逝去明日東京にて告別式せらる  
お知らせ申し上げます〕

タイトル〔整理番号〕…書簡〔書簡S四―三五三〕

作成者〔発信地〕…木村平右衛門〔東京市麹町区有楽町壱丁目壱

番地九州水力電気株式会社〕

宛先〔受信地〕…麻生太吉〔福岡県福岡市浜ノ町〕

作成年月日…昭和四年六月一二日

特記…御親展

形態…封書〔九州水力電気株式会社用封筒〕

内容物…罫紙〔九州水力電気株式会社用罫紙〕

授受の形…郵便

昭和四年六月十二日

麻生社長殿

木村平右衛門 印

拝啓一昨夜御電報を以て御下命の造花壺対同夜直ニ注文昨日田中家葬  
儀場ニ御届け仕候間此段御安心被遊度候式場にて一際目ニ立ち立派  
ニ候間直ニ名古屋へ送り同家郷里本葬の式場ニ飾る由ニ御座候代金壺  
百円也ハ会社にて支払置領収証と共に福岡へ振替可仕候間左様御諒承  
被下度候

九送〔九州送電〕の方も御上京中御報告申上候松野〔鶴平〕氏と会見  
後九日知事上京致候間十日朝矢野氏先独り知事を訪問次で小生亦一人  
にて訪問面談の上夜金田中へ招待矢野氏同席にて長時間打解け話し合  
ひ候是にて表面ハ緩和仕候知事の転任も内閣の運明次第にて内閣此俣  
なれば問題ハ無之候へども万ニ一内閣総辞職など有之候へば知事の身  
体も一新多分居据りと可相成今日迄の状態にては全く行詰り可申の処  
今回幸ひニ表面和解相成り候間万一の場合にても小生宮崎ニ出県少し  
も差支なく誠ニ好都合ニ存候段々と深き御心添ノ難有奉存上候兎角茲  
数日間内ニ何等かの変化を生ずべき形勢にて内閣又ハ知事何れとも九

送と大關係有之候間小生引続き滞京臨機応變の所置を取り度と存居候  
此段ノ御承知引奉願候

大同日電の合同問題両会社当事者も打消し新聞も無言ニ候へども先ニ  
契約済ニあらざるかと觀測致居候右事実と相成候へば関東関西の電力  
界も更ニ變化を生じ東電、東邦今後の方針見ものに御座候其影響亦九  
州ニ及び意外ニ早く何等かの氣運を速進すべきかとも愚考仕候  
先ハ右等申上度

早々頓首

タイトル(整理番号)・・電報(書簡S四―三五四、三五五)

作成者(発信地)・・木村平右衛門(東京郵便局)

宛先(受信地)・・麻生太吉(いずれも別府市山水園)

作成年月日・・昭和四年六月一七日

特記・・いずれもムニ(照校)

〔その一(書簡S四―三五五)〕

ケフユウコクマデニオヘンジマウシアゲマスキムラ

〔訳文・・今朝夕刻までに御返事申し上げます〕

〔その二(書簡S四―三五四)〕

ゴヨテイトウリニヒマデニゴゼウケフニテケツコウニゾンジマスキ  
ムラ

〔訳文・・御予定通り二二日までに御上京にて結構に存じます〕

タイトル(整理番号)・・昭和四年「発信原稿」(へ―五二)

作成者・・麻生太吉

宛先・・太田黒重五郎

作成年月日・・昭和四年七月五日

形態・・冊子

拝啓過日来上京之節ハ一方御厚配相煩御蔭ニテ円満相運御同慶ニ奉  
存候御配慮ノ營業拡張方針ニ就而ハ木村君ヨリ御報告申上候通り十年  
間ノ社債トスレバ何等ノ心配無御座ト奉存候乍此上宜敷御頼申上候御  
吟味之珍業御惠贈ニ預リ難有御受申上候近來ニ無ク美味ニ而毎日相樂  
頂居申候何レ上京御面上可申上先ハ以書中御挨拶申上度時候柄御自愛  
專一ニ祈上候

太田黒重五郎 東京市外大森山王、

七月五日

拝具

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S四―三六八)

作成者(発信地)・・棚橋琢之助(府下東葛飾郡寺島長浦九八一番

地)

宛先(受信地)・・麻生太吉(本社気付)

作成年月日・・昭和四年七月六日

特記・・なし

形態・・封書(九州水力電気株式会社用封筒)

内容物・・罫紙(九州水力電気株式会社用罫紙)

授受の形・・手交

昭和四年七月六日

棚橋琢之助 印

麻生社長殿

拝啓愈御多祥奉賀候陳者今朝御電話御来示の趣拝誦仕候就而熊本大分  
両県知事に対しては村上氏より福岡県知事には小生より夫々挨拶可致  
候間御諒承相願度此段得貴意候

拝具

追而宮崎県知事には木村氏より挨拶可致様電話致置候間御諒承相成  
度申添候

タイトル(整理番号)：昭和四年「発信原稿」(へ―五二)

作成者：麻生太吉

宛先：橋爪安彦

作成年月日：昭和四年七月七日

形態：冊子

再度御手紙拝見○意味誤解アル御目ニ懸り間違ナキヤウ親敷話シ度シ  
十四日午後福岡ニ御待チス○御近傍ノ九水電話ニテ返頼ム

橋爪安彦 玖珠郡野上村

タイトル(整理番号)：書簡(書簡S四―九〇二)

作成者(発信地)：増永元也(相州鎌倉材木座八〇二)

宛先(受信地)：麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町)

作成年月日：昭和四年七月一八日

特記：親展

形態：封書

内容物：紙

授受の形：郵便

拝啓時下酷暑の候益御健勝の段大慶至極ニ存上候扱先便申上候通り小  
生病氣の故を以て辞表提出致候処新大臣及次官も真の意を了せられ殊  
ニ青木次官は旧知の間柄とて将来実業界之入る迄に於て政変と同時に  
辞職は世人の誤解を招く不利あり真の時期は一任せよとの事ニ付難有  
御厚意を謝し目下当地之専ら静養中ニ御座候先日御上京相成候□其後

堀(三太郎)有馬(秀雄)両氏へ面会し御意志の趣き拝承仕候尚堀氏  
の御紹介にて木村氏とも会見仕候小生の意志は堀様迄申上置候ニ付詳  
細は同氏より御聞取被下度候  
早々敬白

七月十八日

増永元也

麻生太吉様

タイトル(整理番号)：書簡(書簡S四―三三八〇)

作成者(発信地)：麻生太吉(東京市麹町区丸ノ内参丁目式番地  
九州水力電気株式会社)

宛先(受信地)：麻生太吉(福岡県飯塚町)

作成年月日：昭和四年七月二〇日

特記：なし

形態：封書(九州水力電気株式会社用封筒)

内容物：紙

授受の形：郵便

株主総会決議御通知

拝啓陳者本日当会社ニ於テ臨時株主総会開催左記事項決議承認相成候  
間此段御通知申上候也

一、定款変更ノ件(原案可決)

(一)、第二十五条中「社長事故アルトキハ」ノ次ニ「副社長又ハ」  
ノ五字ヲ挿入ス

(二)、第二十七条第一項及第二項ヲ左ノ通り変更シ第三項ヲ削除ス  
取締役会ハ取締役ノ施行スヘキ事項及ヒ其ノ方法ヲ決議ス当  
会社ノ契約書其ノ他当会社ヲ羈束スヘキ一切ノ書類ニハ社長

署名シ社長事故アルトキハ副社長之二書名スヘシ

(三)、第三十条第一項ヲ左ノ通り変更シ第二項ヲ新ニ設ケ左ノ通規定ス

当会社ノ取締役ハ拾貳名以内監査役ハ五名以内トス取締役ノ互選ニヨリ社長、副社長、専務取締役各壹名、常務取締役若干名ヲ置クヘキコトヲ得

(四)、第三十一条ニ二項ヲ新ニ設ケ左ノ通り規定ス  
社長及ヒ副社長ハ株主總會ノ決議ニヨリ当会社ヲ代表ス

前項ノ投票ニ代ヘ株主總會ハ取締役、監査役ノ選任ヲ議長ノ指名ニ一任スルコトヲ得

(五)、第三十三条中「社長」ノ次ニ「副社長」ノ三字ヲ挿入ス  
二、代表取締役選任ノ件

取締役社長麻生太吉取締役副社長棚橋琢之助ノ兩名代表取締役役ニ選任セラレ就任セリ

右

昭和四年七月式拾日

東京市麴町区丸ノ内參丁目式番地

九州水力電気株式会社

取締役社長 麻生太吉

株主 殿

新株払込再御通知

新株式第參回払込ノ件ハ去五月式拾式日付御通知申上置候通り来八月壹日払込期日ニ相当リ候ニ付新株式御所有ノ向ハ同日迄ニ壹株ニ付金五円也御払込相成度為念御通知申上候

タイトル(整理番号)・・電報(書簡S四―一三〇八)

作成者(発信地)・・棚橋琢之助(大分局)

宛先(受信地)・・麻生太吉

作成年月日・・年未詳七月二九日

特記・・なし

ミタワレアスシヨウゴハカタニツクオメニカカリタシ」ハカタハツゴ四ジキウコウニテタチキキヨウシタシ」一ヒヨルマデニゼヒキキヨウノヨウケンアル

〔訳文：見た我明日正午博多に着くお目にかかりたし〕博多発午後四時急行にて発ち帰京したし」一日夜までには是非帰京の用件ある〕

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S四―四一〇)

作成者(発信地)・・村上巧児(福岡市荒戸町)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡市浜ノ町麻生別邸内)

作成年月日・・昭和四年八月八日

特記・・侍史

形態・・封書

内容物・・紙

授受の形・・郵便

拝啓陳者今般不肖渡米ニ際シ昨夜ハ態々御鄭重ナル御招宴ニ預リ旁々種々御歓待ニ相接シ御厚志ノ程万謝申上候幸ニ当夜ハ久々ニ而電気協会有志各位ニ御面談の機ヲ得不肖の頗る欣快と致ス処ニ御座候早速おたつねの上万々御礼御挨拶可申上処不取敢書中ヲ以テ御礼御挨拶申上候

村上巧児

敬具

麻生太吉様

侍史

タイトル(整理番号)…電報(書簡S四―五〇九)

作成者(発信地)…村上巧児(福岡局)

宛先(受信地)…麻生太吉(飯塚町)

作成年月日…昭和四年八月九日

特記…なし

「アスシユッタツイタシマス」ダンダンノゴコウイカンシヤニタエズ」  
ツツシミテゴケンコウライノリオイトマモウシアケマスムラカミ

「訳文…明日出立いたします」段々の御厚意感謝に堪えず」謹しみて  
御健康を祈り御暇申し上げます」

タイトル(整理番号)…昭和四年「発信原稿」(へ―五二)

作成者…麻生太吉

宛先…八塚秀二郎

作成年月日…昭和四年八月一六日

形態…冊子

「拜啓残暑難堪折柄御勉務御迷惑ニ奉存候先般来大分佐藤虎雄君関係ノ  
火災保険会社被保険ノ件同氏ガ九水会社ニ対シ従来ヨリ敬意ヲ寄セラ  
レタル縁故ニヨリ其ノ敬意ニ酬フル意味ヨリ多少ニテモ被保ヲ為ス様  
ニ付其ノ思召ヲ以テ御差支ナキ限り全氏ノ申込ニ対シ御考慮被下度□  
柵橋氏上京ニ付委細御聞取被下度右以書中如此候 敬具

八塚秀次郎

八月十六日

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S四―一二二〇)

作成者(発信地)…九州水力電気株式会社本社(東京市麹町区丸  
之内参丁目式番地(東七号館))

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町大字立岩二一四)

作成年月日…昭和四年八月二〇日

特記…なし

形態…封書(九州水力電気株式会社用封筒)

内容物…紙(九州水力電気株式会社用紙)

授受の形…郵便

昭和四年八月式拾日

麻生 社 長 殿

本社 印

「拜啓残暑激シキ折柄益御隆昌奉大賀候陳者佐藤虎雄氏火災保険契約ノ  
件ニ関シ御照会ヲ蒙リ拝誦仕候然ル処全氏関係ノ新日本火災保険会社  
ハ以前幾分力契約高有之候ヒシモ逐次解約シ今日ニテハ全ク契約皆無  
ト相成候ニ付御仰越ノ趣副社長トモ御相談申上ゲ今後幾許カツ、契約  
増加候コトニ相斗ヒ可申候間御諒承被成下度此段御返事申上候

匆々拝具

タイトル(整理番号)…電報(書簡S四―七二二)

作成者(発信地)…木村平右衛門(東京郵便局)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡市浜ノ町)

作成年月日…昭和四年九月一〇日

特記…ムニ(照校)

「九ソウジウヤクカイイマバンジムジスミマシタ」アスタチ一三ヒヒル  
キシヤシマスキムラ



〔訳文・九送〔九州送電〕重役会いま万事無事済みました〕明日発ち  
一三日昼帰社します〕

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S四―九二二)

作成者(発信地)・・上田万平(福岡市天神町五八東邦電力福岡支

店內社団法人電気協会九州支部)

宛先(受信地)・・麻生太吉(九州水力電気株式会社)

作成年月日・・昭和四年九月一四日

特記・・親展

形態・・封書(社団法人電気協会九州支部用封筒)

内容物・・紙(社団法人電気協会九州支部用紙)

授受の形・・手交

昭和4年9月14日

支部長 上田万平 印

九州水力電気株式会社

社長 麻生太吉殿

拝啓益々御清祥の段奉慶賀候陳者過般役員会の際支部第九回総会を今  
秋十一月九日別府市公会堂に於て開催致すことに決定仕候に就ては自  
然当日は会員並来賓等大余参百名参会致すことに相成べく候間其際は  
万々貴社の御後援御指導に預り度甚だ御迷惑の義には有之候へ共何卒  
特別なる御便宜御幹施可然相願度此段不取敢書中を以て御依頼旁々得  
貴意申候

敬具

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S四―九三〇)

作成者(発信地)・・橋爪安彦(大分県玖珠郡野上村)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡市浜ノ町)

作成年月日・・昭和四年一〇月九日

特記・・御侍史

形態・・封書

内容物・・紙

授受の形・・郵便

謹啓仕候過日ハ御多端中御出分相煩シ大分県下ノ營業者ノ懇話会ヲ組  
織被成下候事ハ當業者何レモ其必要ヲ痛感致居候折柄ニテ誠ニ好都合  
ニ相運ヒ奉多謝候扱御多用中申上候モ如何ト被存候得共一少事件トシ  
テ捨テ置ケハ如何ナルコトニ暴発スルヤモ不計候間御耳ニ入レ置候  
昨年夏ノ頃別府ニ於テ九水電灯値下ケ問題起リ市民大会ノ下ニ演舌会  
ヲ開キ(主催者苺永泉)之ニ宇都宮某、高橋某等ノ二派モ雷同シ市中  
ニ噴激ヒララ撒布シタル為メ与論沸騰ノ機運ヲ生シタル際永井君福岡  
ヨリ出別シ諒解ニ努メ相当運動費ヲ投シ解決シタル様子ナリシニ解決  
ノ出来タルハ宇都宮某ト高橋某トノ二組丈ニテ苺永泉ノ一派ニハ何等  
ノ鼻葉無キ為メ憤慨ヲ極メ其後数回ニ互リ九水ニ折衝スルモ遂ニ要領  
ヲ得ザル為メ近來一味十余人氣勢ヲ造リ福岡門司小倉東京方面ノ或主  
義者ト通謀シ暴発ノ機運ヲ醸成セントスルニ至リ居候  
本件苺永泉ト申ス人ハ故麻生觀八氏□□ヨリ度々救済セラレタル縁故  
ヨリ令息益良氏ト知り合ヒトナリ益良氏ニモ一兩度後援資金ヲ受ケタ  
ル由ニ候右ノ縁故ヨリ前記ノ事情益良氏ニ打明ケタルヨリ全氏ハ九水  
ノ為メ容易ナラザル事故ニ系ノ内ニ早く□□ヲ付ケル方得策ナラント小  
生迄全氏ヨリ申越候尚全氏ヨリ永井氏ニモ御通報申上候由ニ御座候日  
田那方面町村長会ノ九水電灯問題モ起リ居候間亦々別府市ニテ氣勢ヲ  
挙ケサセル事ハ甚タ不得策ニ被存候本件ハ打捨テ置カズ解決ヲ為ス事

ガ宜敷被存候

高橋某、宇都宮某等ハ既ニ解決ヲ告ケ居リ候為自身等ノ発起ハ為シ難  
キモ莫永泉氏ノ旗拏ケアレハ暗ニ之ニ賛成スヘク内々脈ヲ通シ居候状  
況ニ有之候

以上御参考迄ニ益良氏ノ内報御耳ニ入レ置申候

当用ノミ

十月九日

早々不一

橋爪安彦

麻生社長殿

座下

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S四―六五五)

作成者(発信地)・・久野五十志(大分市南新町杖立川水力電気会

社)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡市浜町)

作成年月日・・昭和四年二月五日

特記・・親展、侍史

形態・・封書

内容物・・紙

授受の形・・郵便

拝啓

晩秋ノ候ニ御座候処愈々御多祥慶賀此事ニ奉存候

扱テ予テ御配意相煩ハシ居候当地黒淵水力工事ノ儀ハ御陰様ニテ諸般  
滞リ無ク進捗ノ上去ル十月一日通水致シ其後試運転時期モ亦予定ノ通  
リ進行去ル十一月一日無事試送電ヲ終了仕リ九水系統ト並列運転ノ上

最大一、八〇〇Kwヲ送電致シ候官庁ノ都合ニヨリ未ダ落成検査ヲ受ク

ルニ至ラズ候へ共送電ニハ差支無之九水ヨリノ送電要求ヲ待チ居リ候  
多分本夕ヨリ送電供給開始ノ事ニ相成ルベシト存居候間何卒御安意賜  
ハリ度不取敢以書中右御報知申上度如此御座候

十一月五日 敬具

久野五十志

麻生太吉様

タイトル(整理番号)・・電報(書簡S四―六四八、六五一)

作成者(発信地)・・木村平右衛門(いずれも東京郵便局)

宛先(受信地)・・麻生太吉(いずれも別府市山水園)

作成年月日・・昭和四年二月六日

特記・・各報参照

(照校親展電報(書簡S四―六五一))

サクヒオタグロシニメンカイスドウシワケフマデノナリユキヨリミテ  
ハライコミアンノヘンコウワコンナンナレバナカヲトリ五エンハラ  
イコミアンニテサイゴノカイケツヲハカリテワイカニツイワレマス」ト  
ニカクシヤテフクシヤテフオノボリゴキヨウギネガヒタシ」サクユ  
ウタナハシシアテミギデンシマシタガユキチガイケフトヘタタレシヤ  
モワカラズネンノタメモウシアグキムラ

(訳文・・昨日大田黒氏に面会す同氏は今日までの成行より見て払込案  
の変更は困難なれば中をとりて五円払込案にて最後の解決を図りては  
如何と言われます」とにかく社長副社長お上り御協議願いたし」昨夕  
棚橋氏宛右電しましたが行き違い京都へ発たれしやも分ならず念のた  
め申し上ぐ)

〔昭和電報（書簡S四―六四八）〕

ケフトタナハシシヨリハヒアサコノチツクムネヘンキマシタキムラ

〔訳文…京都棚橋氏より八日朝此の地着く旨返来ました〕

タイトル（整理番号）…昭和四年「発信原稿」（へ―五二）

作成者…麻生太吉

宛先…木村平右衛門

作成年月日…昭和四年一月七日

形態…冊子

デンミタハライコミハンゲンノコトウユウリヨニタエズ○サイゴノリ  
シキンホシヨウニテセイリツスルヨウオフクミコウ○タナハシシトト  
クトウチアワセコウ○一ヒバンタチニヒツク アソタキチ

ニカララ

十一月七日午前七時

九水本社内 木村平右衛門

〔訳文…電見た払込半減のことは憂慮に堪えず○最後の利子金保証にて成立する様お含み乞う○棚橋氏と篤と打合せ乞う○一日晩発ち一二日着く〕

タイトル（整理番号）…電報（書簡S四―六五四）

作成者（発信地）…木村平右衛門（東京郵便局）

宛先（受信地）…麻生太吉（別府市山水園）

作成年月日…昭和四年一月七日

特記…ニカ、ムニ（親展、照校）

デンハイセウタナハシシトソウダンノウエゴゼウケウオマチシマス

クロキシモケフゼウケウイライシマシタキムラ

〔訳文…電拝承棚橋氏と相談の上御上京お待ちします〕黒木氏も今日上京を依頼しました〕

タイトル（整理番号）…電報（書簡S四―六三九）

作成者（発信地）…増永元也（代々木幡ヶ谷局）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡市職人町）

作成年月日…昭和四年一月七日

特記…なし

キムラシトアツタゴジヨウキヨマエニゼヒクニテアイタシコンヤタ  
チアスゴ一ニジハカタニツキサカイヤニトマルマスナガ

〔訳文…木村氏と会った御上京前には是非国にて会いたし今夜発ち明日午後一二時博多に着きサカイヤ〔栄屋カ〕に泊まる〕

タイトル（整理番号）…昭和四年「発信原稿」（へ―五二）

作成者…麻生太吉

宛先…橋爪安彦

作成年月日…昭和四年二月三日

形態…冊子

拝啓益御清康奉慶賀候麻生（観八）翁ノ銅像竣工候趣御配慮深ク御礼  
申上候地下之英靈嘸カシ御喜之事ニ奉遙察候御書添之件ハ今回ノ総会  
ニハ発表不致明年六月ノ総会ニ一同発表スル事ニ付右様御含願ヒ度申  
シ上グル迄モナク呉々御自重願ヒ候先ハ不取敢以書中如此候 敬具

橋爪安彦 十二月三日

故麻生翁銅像除幕ノ盛式ヲ祝シ謹ミテ遙拝シマス

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S四―七四四)

作成者(発信地)…橋爪安彦(大分県玖珠郡野上村)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡市浜町)

作成年月日…昭和四年二月一六日

特記…御侍史

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

謹啓時候不順ノ折柄愈々御清穆ノ段奉恭賀候陳者兼而御高配相煩候麻生觀八翁銅像除幕式本月十四日挙行雨天ニ不拘郡内外来賓弍千余人ニ上リ鉄道開通ノ前日ニ不拘郡内丈臨時列車ニテ来賓余興隊ヲ繰込ミタルノ盛況ニテ誠ニ予想外ノ賑ハシク厳肅ナル除幕式ニ有之候九水ヨリ木村氏御多端中社長代理トシテ御出張被成下一同深く感謝罷在候謹而御厚礼申上候  
尚ホ過般御書中之六月決定ノ件ハ郡内重立ツモノ並ニ益良氏ニハ内報致置候何レモ御老台ノ御厚意ヲ中心ヨリ感謝致居候

寸書御礼旁々如此御座候

十二月十六日

匆々拝具

橋爪安彦

麻生御老台

貴下

時下御撰養專一二奉祈上候

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S四―九五〇)

作成者(発信地)…麻生益良(大分県玖珠郡東飯田邨)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡県飯塚町)

作成年月日…昭和四年二月一八日

特記…御侍史

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓益々御清適に被為涉詢に奉慶賀候現今御上京被遊候由を拝察罷在リ折柄冬期向寒の為め万一の事なき様乍蔭只管御無恙奉祈上候  
又手予て深甚なる御芳志を蒙り居り候亡父の銅像も愈々竣工去る十四日除幕之典を挙行仕候処九水会社を代表して木邨常務殿御貴臨之光栄を得非常に面目を施し申候之れ皆尊大人之御厚配による処に不外深く感激謹て奉拝謝候式は雨中に不拘空前の盛況にて数千の参列者に広き式場を埋め崇厳之裡に無事終了仕り候立像は誠に見事にて全く生前の故父に不罷感激無量に御座候私儀不肖なれども此の御恩恵に対し重責を感じ社会奉仕の誠を捧げ度存念に御座候将来何卒御叱正御指導之程奉仰候

不取敢謹て御礼申上度如斯御座候

十二月十八日

草々敬具

麻生益良拝

麻生尊大人

御侍史

〔昭和五（一九三〇）年〕

タイトル（整理番号）…昭和五年「発信原稿」（て―二七）

作成者（発信地）…麻生太吉

宛先（受信地）…大田黒重五郎、棚橋琢之助

作成年月日…昭和五年一月一五日

形態…冊子

〔大田黒宛〕

拝啓金解禁問題愈実行セラレ国家ノ為メ御同慶ニ奉存候今後ハ一層勤  
儉ヲナシ国運順境ノ進歩ヲ祈ルノミニテ御座候井上〔準之助〕氏ニ祝  
意ヲ表スルコトハ最モ好時宜ト奉存候来ル二十二日朝出発上京御相談  
可申上候

棚橋、木村両氏モ上京ノ筈ニ候御含ミ置キ被成下度候不取敢以書中如

斯御座候 敬具

大田黒重五郎 一月十五日

〔棚橋宛〕

拝啓御滞京御疲勞奉察候一件ノ調査モ能ク相分ル様相成申候一割トス  
ル時ニハト云フ意味ヲ以テ第二調査書モ調成ノコトニ打合申候両方ト  
モ持參可仕候来ル二十一日夜ル迄無止要件有之候間二十二日朝出発上  
京致候条御含ミ置被成下度候  
大田黒氏ヨリ金解禁実行ニ付井上氏ニ祝意ヲ表スルコト別紙ノ通り照  
会有之候至極好時宜ニ付二十二日上京御相談可致旨返事致シ置候御含  
ミ奉願候右御通知迄如此御座候

棚橋琢之助 一月十五日

タイトル（整理番号）…昭和五年「発信原稿」（て―二七）

作成者…山口恒太郎

宛先…伊藤伝右衛門・堀三太郎（控え）

作成年月日…昭和五年一月二三日

形態…冊子封入メモ

東京山口氏ヨリ伊藤、堀氏宛電報（一月二十二日附）

アソウシヨリ（キンカクオオイヒキウケデキヌ）トデンキタ九キカブ  
シン三〇〇キユウ一〇〇〇オハナシクダサレシコトトオモウイカガ  
ナホ一オウアソウシトオウチアワセオネカヒスヘンコウ」ヤマグチ  
〔訳文…麻生氏より（金額多い引受出来ぬ）と電来た九軌株新三〇〇  
〇旧一〇〇〇お話下されし事と思ふ如何なほ一応麻生氏と御打合せお  
願います返乞」山口〕

タイトル（整理番号）…昭和五年「発信原稿」（て―二七）

作成者…麻生太吉

宛先…木村平右衛門、山口恒太郎

作成年月日…昭和五年一月二三日

形態…冊子

〔木村宛〕

ヤマグチシノカブ」シン三〇〇〇」キユウ一〇〇〇ヲ」二五マンエン  
ニテカイイレソウダンアルモ」ジカヨリ一カブニツキ」二エン三〇セ  
ンタカキユエ」イチオウ、コトワリタ」ソノチニテヤマグチシヨリチ  
ヨクセツソウダンアルベシ」イクラカワリヨクシテカイイレアルヨウ  
オウチアワセコウ

照校 親展（一月廿三分）

木村平右衛門（丸ノ内三菱七号）

〔訳文・山口氏の株〕新三〇〇〇〕旧一〇〇〇を〕二五万円にて買入  
相談あるも〕時価より一株につき〕二円三〇銭高き故〕一応、断りた〕  
その地にて山口氏より直接相談あるべし〕いくらか割良くして買入あ  
る様御打合せ乞う〕

〔山口宛〕

キンカクオオイヒキウケデキヌ

（二月廿三日分）

山口恒太郎 麻布一ベイチヨ

〔訳文・金額多い引き受け出来ぬ〕

タイトル（整理番号）…昭和五年「発信原稿」（て―二七）

作成者…麻生太吉

宛先…団琢磨

作成年月日…昭和五年三月一七日

形態…冊子

延電〔延岡電気〕ノ件ニ就テハ御手数数ヲ煩ハセシモ熊電法外ノ奮発ニ  
テ致方モ在マセヌ〕御高配深ク拜謝ス〕大島氏ニモ宜敷御伝ヘ願フ  
ニカ ムニ

三月十七日

団琢磨

タイトル（整理番号）…昭和五年「発信原稿」（て―二七）

作成者…麻生太吉

宛先…木村平右衛門

作成年月日…昭和五年三月一七日

形態…冊子

〔その一〕

電見タ今日副長大田黒氏ト協議ノ模様ニ依リ其地ニテ御待チ下サル  
カ〕先日ノ通り神戸ヨリ大阪ニテ打合せマスカ貴方ニ委セマスカラ御  
取極メノ上返

ニカ ムニ 三月十七日

木村平右衛門 東京九水本社

〔その二〕

電承知シマシタ

三月十七日夕

木村平右衛門 麹町区有楽町一丁目水明館方

タイトル（整理番号）…昭和五年「発信原稿」（て―二七）

作成者…麻生太本家

宛先…麻生太吉

作成年月日…昭和五年三月一九日

形態…冊子

東京ヨリ左ノ電来マシタ〕

熊本ハ条件ノ実行ニ窮シタル模様ナリ暫ラク成り行ニ注意スベキモノ  
ト思フ〕ホシケ

三月十九日午後八時半

御主人様宛 東京柗家旅館内

タイトル（整理番号）…昭和五年「発信原稿」（て―二七）

作成者…麻生太吉

宛先…木村平右衛門

作成年月日…昭和五年四月二五日

形態…冊子

今晚夕チ、アス重役会出席シマス

四月廿五日京都ヨリ

アソウ

木村平右衛門 福岡市九州水力電気会社営業所

タイトル(整理番号)…昭和五年「発信原稿」(てー二七)

作成者…麻生太吉

宛先…今井三郎

作成年月日…昭和五年七月三〇日

形態…冊子

拝啓住友関係承諾相成無此上候御廻リノ書類御返上致候 早々拝具

今井常務殿 三十日

タイトル(整理番号)…昭和五年「発信原稿」(てー二七)

作成者…麻生太吉

宛先…麻生益良

作成年月日…昭和五年八月一七日

形態…冊子

拝啓時下残暑手強御座候処益御清康奉慶賀候各地電灯問題ニ関シ苦情起リ困リ申候大分県ハ知事御引受被成下居タルモ新知事ノ裁定有之之ニ従ハサル可カラサル事ニ相成申候之カ対策トシテ極力内部ノ整理ニ相勤メル外無之職員諸君ニ御努力ヲ乞居申候從テ配当等ニハ何等変リ

無之候間御安心被成下度候先ハ書中御挨拶迄如此御座候

麻生益良様 八月十八日

敬具

タイトル(整理番号)…昭和五年「発信原稿」(てー二七)

作成者…麻生太吉

宛先…棚橋琢之助、木村平右衛門

作成年月日…昭和五年九月二〇日

形態…冊子

〔棚橋琢之助宛〕

其後如何」他ニモ用件アリ」明朝迄ニ立チタシ返

アソウ

九月廿日朝

棚橋琢之助 東京赤坂区青山南町六丁目一四七山口藤氏方

〔木村平右衛門宛〕

棚橋氏ニ返シタ」模様如何返

九月廿日朝

木村平右エ門 九水会社

タイトル(整理番号)…書簡(まー四七―一)

作成者(発信地)…中山頼吉(宗像郡福岡本町)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡県飯塚町)

作成年月日…昭和五年一〇月三〇日

特記…書留、親展

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓私シ儀十七八年前ヨリ電車一本線路発明致シ折候処近来図面制作ニカカリ折り九軌九水合社ノヲモムキ新聞ニテ承知仕トキ来リト図面調製致シ候得共今節の安キ米ノ壹人口モクエ兼ね不ガイ無キ身尤モ金<sup>(兼)</sup>昨甚タヘタ故へ請図ト模形特許料丈貴殿御保助願タク尤モシタジ図面丈ハ書キ折候ニ付モシ都合ナレバ見テ後ト有レバ私シ持參の上図面ニ付説明仕り其コウ見込相立チ不申候得バ御ワライ被下若シ出浮キ致しても本発明考ナキト御見込無キ候時ハ一厘ノ御ムシンハ申間敷ク其段ハ御安心願上歟ス

二仲若御返事被下ば表記の所へ願歟ス

猶又愚筆ト無礼ハ平ニ御用舎願候也

宗像郡福岡本町

中山頼吉

麻生御主人様

タイトル(整理番号)：昭和五年「発信原稿」(てー二七)

作成者：麻生太吉

宛先：松本学

作成年月日：昭和五年一月二三日

形態：冊子

拝啓益御壯健奉慶賀候具会開会中ニテ別シテ御配慮可被為在御察申上候御疲レ不被遊様願上候九軌ノ件ハ木村専務ヨリ御報告申上候通りニテ御休神被成下度候合同ノ件ハ年内ハ如何トモ致方ナキ様奉存候尚御考慮置御頼申上候東京ヨリ珍敷浅漬御贈与ヲ蒙り難有拝受仕候何レ御拝顔御礼可申上候不取敢以書中如此御座候 敬具

松本学様 十二月十三日



〔昭和六（一九三一）年〕

日出町役場 武内勢平様 二月十六日

タイトル（整理番号）…昭和六年「発信原稿」（ま―四〇）

タイトル（整理番号）…書簡（ま―八九）

作成者…麻生太吉

作成者（発信地）…九州電気界新聞社（福岡市荒戸西公園通）

宛先…麻生益良

宛先（受信地）…麻生太吉（嘉穂郡飯塚町立岩二二四）

作成年月日…昭和六年二月一六日

作成年月日…昭和六年三月三日

特記…なし

形態…冊子

形態…封書（九州電気界新聞社用封筒）

拝啓時下益御清光奉慶賀候先日宮崎市ニ出張ノ節別府一泊ニ付久々御無音申上居候故御拝顔願度存候処同行者沢山有之日出工場ニ視察ノ用件相生ジ翌朝早ク日出ニ行キ其俣福岡ニ帰り夫ヨリ上阪致シ本日帰宅仕候処御懇書拝読別府御出之由残念ニ奉存候

授受の形…郵便

麻生太吉殿

昭和六年三月三日

九州電気界新聞社

御心ニ被為懸御懇書相頂難有奉謝候何レ其内御面上可申上候先ハ不取敢以書中御挨拶申上度如此御座候

敬具

本社 福岡市荒戸西公園通

麻生益良様 二月十六日

電話一九二五番 為替福岡二五七一八番

タイトル（整理番号）…昭和六年「発信原稿」（ま―四〇）

作成者…麻生太吉

支局 東京、大阪、名古屋、小倉、大分、熊本  
所在地 佐賀、鹿児島、宮崎、台北、奉天、旅順

宛先…武内勢平

作成年月日…昭和六年二月一六日

形態…冊子

拝啓時下益御清光奉慶賀候先般御地工場ニ参り候節ハ態々停車場迄御見送り被成下難有奉存候久々振りニ御目ニ掛り候モ取急キ候為メ欠礼ノ段奉多謝候帰宅後上阪致シ漸ク帰着候間不取敢以書中御挨拶申上度如此御座候

敬具

今井三郎 九州水力電気株式会社常務取締役

顧問〔イロハ順〕

拝啓昨春三月一日本紙発行以來一方ならぬ御配慮賜り難有御礼申上候今後は一倍の努力を尽し電界状報事業の合理化と大衆抱擁電気知識普及に精進可仕候間此段本紙確立の為め御賛助願上度紙料一、二〇円（八月ヨリ六年正月迄）半年分御多忙中恐入候得共折入て御援助乍失礼書面を以て御願申上候 草々

西山 信一 東邦電力株式会社常務取締役  
友田 鎮三 明治専門学校々長

海東 要造 東邦電力株式会社専務取締役  
永井 菅治 神都電気興業株式会社専務取締役

上田 万平 電気協会九州支部長熊本電気株式会社々長  
内本 浩亮 杖立川水力電気株式会社常務取締役

黒木 佐久馬 九州水力電気株式会社常任監査役監査課長  
安川 第五郎 安川電機株式会社常務取締役

八塚 秀二郎 九州水力電気株式会社取締役  
降矢 芳郎 昭昭義塾々長九州帝国大学名誉教授

荒川 文六 九州帝国大学教授  
岸原 重治 製鉄所動力部長

### 理事「イロハ順」

井上 博通 (九送) 村山 桂哉 (熊電) 福田 稔 (西部)

岩永 小次郎 (東邦) 国宗 晋 (熊電) 藤井 信 (沖)  
大原 雅一 (熊電) 草刈 雄治 (九軌) 佐藤 量 (熊電)

緒方 清 (熊電) 黒沢 覚治 (博鉄) 広瀬 良知 (九軌)  
金坂 昇 (東邦) 柳原 才次郎 (九送) 主幹村橋卓郎 (昭和義塾)

香月 盈司 (神都) 松尾 郡人 (東邦)  
鶴丸 卓一 (九水)

〔振込用紙略〕

タイトル (整理番号) …昭和六年「発信原稿」(ま―四〇)

作成者 …麻生太吉

宛先 …大田黒重五郎

作成年月日 …昭和六年三月二日

形態 …冊子

電拝見御配慮謝ス」今夜立チマス午後着キマス

三月廿一日

大田黒重五郎 東京市外大森山王

タイトル (整理番号) …昭和六年「発信原稿」(ま―四〇)

作成者 …麻生太吉

宛先 …棚橋琢之助

作成年月日 …昭和六年三月三〇日

形態 …冊子

木村氏ニ遇フタ」御話シナキ方ヨキト思フ」委細木村氏ヨリ電話アル

御含ミ乞フ

麻生

三月卅日

棚橋琢之助 京都市東山区本町十五丁目正覚

タイトル (整理番号) …昭和六年「発信原稿」(ま―四〇)

作成者 …麻生太吉

宛先 …村上巧児

作成年月日 …昭和六年四月二日

形態 …冊子

拝啓九軌臨時総会ハ普通総会ノ当日ト御協定ノ電報ニ接シ御配慮奉謝  
候日銀総裁歓迎会ハ二次会ニハ候得共常磐館ニテ催シ国家ノ平素ニ無

キ上出来ニテ仕合申候御安心程被成下度候別紙ハ御参考迄ニ御覧ニ入

候幸御上京中ニ付其筋ニ御開合希望致シ候

敬具

四月廿一日

木村平右衛門様

タイトル(整理番号)：昭和六年「発信原稿」(まー四〇)

作成者：麻生太吉

宛先：鮎川義介

作成年月日：昭和六年六月二六日

形態：冊子

電信拜見九軌ノ件ハ「重要ノ事ニテ輕拳ニ御返事出来ヌ」能ク打合せ返シマス」<sup>マス</sup>明日ハ總會ニ止メ取締役選挙ハ臨時總會開キマス」

六月廿六日

鮎川義介 東京市牛込区市ヶ谷左内町

麻生

タイトル(整理番号)：昭和六年「発信原稿」(まー四〇)

作成者：麻生太吉

宛先：山崎達之輔

作成年月日：昭和六年六月二六日

形態：冊子

拝啓益御清康奉慶賀候先般御帰県之時御約シ申上候通り九水總會ノ為メ上京致シ候ニ付緩々御拜顔得度候処頃日各地ノ新聞ニ掲載九軌会社突発事件ノ為メ急ニ帰県ヲ要シ失礼仕候何レ其内上京致御拜顔可申上  
不取敢以書中得貴意候

敬具

山崎達之輔様 六月廿六日

タイトル(整理番号)：昭和六年「発信原稿」(まー四〇)

作成者：麻生太吉

宛先：村上巧児

作成年月日：昭和六年七月三日

形態：冊子

拝啓時下益御清祥奉慶賀候陳者関門鉄橋架設創立費ノ内ニ金參千円也銀行為替券封入御送金申上候間御查收被成下度候也

七月三日

村上巧児様 九水本社

タイトル(整理番号)：昭和六年「発信原稿」(まー四〇)

作成者：麻生太吉

宛先：村上巧児

作成年月日：昭和六年七月二五日

形態：冊子

拝啓過半来ヨリ御上京ノ事ト存御通信モ相怠リ申候処御懇書ニ接シ名和ノ訴訟事件ハ取り下ノ事ニ相成御同慶ニ奉存候社債ノ件ニ就テハ大イニ慎重ヲ要スルニ不拘三井(銀行)支店長本間君ニ懇談アリシハ実ニ意外千万ニ存候右ニ就而木村専務明晩ハ帰福ト存候故御上京前ニ親シク打合申上度御含ミ置奉願候右以書中得貴意候

七月廿五日

村上巧児様 小倉市米町一二二

敬具

タイトル(整理番号)：昭和六年「発信原稿」(まー四〇)

作成者：麻生太吉

宛先…木村平右衛門

作成年月日…昭和六年八月二六日

形態…冊子

電見タ今晚立ツ 麻生

八月廿六日午后三時

木村平右衛門

東京市麹町区九ノ内三丁目  
九州水力電気会社出張所

タイトル(整理番号)…昭和六年「発信原稿」(ま―四〇)

作成者…麻生太吉

宛先…増永元也

作成年月日…昭和六年九月一六日

形態…冊子

拝啓滞京中種々御親切ノミナラス出発ノ際ハ東京駅ニ御見送被成下奉  
深謝候其節御気付ノ鉄道電化問題ハ御出状之通り他ノ方面トハ違ヒ門  
司折尾間ハ従来ヨリ多大ノ資本金ヲ投シ九軌会社ニ於テ経営有之居候  
間夫等ノ利害関係ヲ充分ニ調査ノ上ナラデハ一部分ノ関係ニテ実行ス  
ル事ハ大ニ考慮ヲ要スル事ト奉存候御含置奉願候

製鉄所ハ国家ノ事業ニテ万一事アル場合ニ安全ノ計画ナカル可カラサ  
ルニ不拘周囲ハ五十サイクルノ水火発電所現在スルニ連絡ヲ断チ二十  
五サイクルト云フ事ハ何トシテモ敬服ノ出来サル計画ト奉存候此事ハ  
今回上京シテ初メテ承知致シ実ニ驚入タル次第ニ御座候内部サイクル  
ヲ改良御計画最モ大切ト奉存候改良ノ費用ヲ九送(九州送電)、九水、  
九軌等ヨリ一時融通シテ永遠電気ノ合理的幸福ヲ得ルニ至リ又製鉄所  
ニ於カセラレテモ国家事業ノ設備安全ノ事トナリ無此上良策ト奉存候  
此事ハ最モ痛切ニ御感シノ事ト奉存候御心ニ懸ケラレ御手抜ケナキ様

有力ナル御方々ノ御耳ニ達スル様御高配奉願上候何レ其内上京御面上

可申上先ハ御礼旁御報申上度如此御座候

九月十六日

増永元也様

敬具

タイトル(整理番号)…昭和六年「発信原稿」(ま―四〇)

作成者…麻生太吉

宛先…大田黒重五郎、村上巧児

作成年月日…昭和六年九月二六、二七日

形態…冊子

〔大田黒重五郎宛〕

電見タ「御変更承知シマシタ」麻生

九月廿六日

大田黒重五郎

神戸市北野町四丁  
目東亜ホテル方

〔村上巧児宛〕

船変更二十八日晚。下関着電来マシタ。下ノ関ニテ待チマスカ返ン」

麻生

九月廿七日

村上巧児 京都都ホテル内

タイトル(整理番号)…昭和六年「発信原稿」(ま―四〇)

作成者…麻生太吉

宛先…黒木佐久馬、木村平右衛門

作成年月日…昭和六年九月一一日、一〇月一二日

形態…冊子

〔黒木宛〕

二三ヒウチオカエリノヨシ○センムヨリキキマシタ○イマサシイソグ  
ヨウケンハアリマセヌ○セツカクノオイデノコトユエ○オココロオキ  
ナクシバラクゴセイヨウヲキボウス アソウ

九月十一日

黒木佐久馬

長崎県雲仙公園古  
湯本田照案様方

〔訳文・二三日のうちお帰りの由○専務より聞きました○今差し急ぐ  
用件はありません○せつかくのお出でのこと故○心おきなくしばらく  
御静養を希望す〕

〔木村宛〕

拝啓昨日棚橋副社長御自宅ヲ訪問シ傍系会社重役及取締役ハ以前之通  
りニテ副社長ノミノ辞任ノ件了解ヲ得申候御諒承被下度候

黒木君ニハ左記ノ通り発信仕候御含ミ置被下度候

（電信ハ前頁之通り）

敬具

木村平右衛門様

十月十二日

タイトル（整理番号）…昭和六年「発信原稿」（ま―四〇）

作成者…麻生太吉

宛先…松野鶴平、中橋徳五郎

作成年月日…昭和六年一月一六日

形態…冊子

昭和六年十一月十六日内務政務次官松野鶴平氏宛発電（浜ノ町ヨリ）

北九州ハ製鉄所アリ将来南洋支那方面海陸ノ交通設備ヲ初メ○其他  
石炭産地ノ関係上此行詰リタル財界ニ対シ施設ヲ要スルモノ多ク○  
就テハ地理ニ明ルク且ツ事業上ニ経験アル知事ノ御推挙ヲ希望シマ

ス宜敷御配慮願フ

麻生太吉

同日内務大臣中橋徳五郎氏宛発電（浜ノ町ヨリ）

北九州ハ製鉄所アリ将来南洋支那方面海陸ノ交通設備ヲ初メ○其他石  
炭産地ノ関係上此行詰リタル財界ニ対シ設□ヲ要スルモノ多ク○就テ  
ハ事情ニ明ルク知事ノ御推挙ヲ御願ヒ申上グ

麻生太吉

〔昭和七（一九三二）年〕

一月八日

末松偕一郎

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S七―二九〇）

作成者（発信地）…末松偕一郎（別府市原区）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡県嘉穂郡飯塚町）

作成年月日…昭和七年一月八日

特記…必親展

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

新年の御慶芽出度申納候先般来御病気の由にて蔭ながら懸念致居候処  
既ニ御全快の趣奉欣賀候小生旧臘三十日此地ニ来遊是非一度拝眉の機  
を得度昨日福岡ニ出行貴邸を訪問致候へとも御地ニ御滞在之由にて御  
面会の機を得ず遺憾ニ存候実ハ御承知の如く内外共国家の重大危機ニ  
直面致居此難局を打解する為ニハ政党も政治家も挙国一致赤誠奉公の  
実を挙ぐべき時局と存候併し言論機関の論調といひ両党の情勢といひ  
或ハ議会解散の結果と相成候ものと推察被致候就てハ生等の如き清貧  
ニして利権運動等を潔しとせざる者ハ總選挙ニ付てハ益々苦悩を来し  
候間親して拝顔の上此苦衷を訴へ若シ議会解散に相成候ハ、幾分の御  
援助相願度参上仕候次第二御座候此義ニ付てハ先日九軌専務村上氏ニ  
依頼致置候間其内同氏より御懇談可申上尚他ニモ斯種の申込にて定め  
て御迷惑千万と存候へとも国家の危機ニ直面して大ニ活動致度希望ニ  
候間不取敢書中御依頼申上度其内拝眉万縷申上度候

敬具

麻生老台  
梧下

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S七―一八）

作成者（発信地）…末松偕一郎（東京市外寺島町二七〇）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡県飯塚市）

作成年月日…昭和七年一月二〇日

特記…親展

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拜啓寒氣相加ハリ候処其後御健康如何ニ候や折角御撰養奉祈候陳者議  
会の解散も愈々明日ニ予想せられ候処御承知の如く福岡県ニ於てハ中  
野〔正剛〕君一派脱党の為民政党ハ立候補其他ニ就き種々の困難あり  
之か統制其他の方針ニ付ても生等将来共其当局として尽力する必要あり  
誠ニ苦惱致居候特ニ今回の選挙ニハ資金の調達ニ付甚たしき困難を  
感じ居り候就てハ誠ニ御迷惑の義と存候へとも今回ハ是非相場の御援  
助相願度此点ニ付てハ近日井上〔準之助〕前蔵相よりも特ニ小生の為  
御依頼被下候筈ニ候へとも直接小生よりも御懇請申上度尚小倉市村上  
〔巧鬼〕君ニ万事御指示相願度近日帰県拝眉万縷申上度候へとも不取  
敢書中右得貴意度如此ニ御座候

一月廿日

拝具

末松偕一郎

麻生尊台

梧下

タイトル(整理番号)…電報(書簡S七―二九六)

作成者(発信地)…増永元也(東京駅内局)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡市浜ノ町)

作成年月日…昭和七年一月一〇日

特記…なし

キムラシノダデンニヨリニヒフジニテタツ」イサイキムラシヨリキ  
カレタシ」ホリサンヘモツタエテ」マスナガ

〔訳文…木村氏の打電により一二日富士にて発つ〕委細木村氏より聞  
かれたし」堀「三太郎」さんへも伝えて」

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S七―一五四)

作成者(発信地)…村上巧児(小倉市京町三百五十八番地九州電

気軌道株式会社)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡市浜町)

作成年月日…昭和七年一月二二日

特記…侍史

形態…封書(九州電気軌道株式会社用封筒)

内容物…野紙

授受の形…郵便

拝啓御病氣御全快昨日ハ飯塚へ御往復被遊候由拝承大安心致候誠二日  
出度御祝申上候

大田黒社長廿三日門司来着廿七八日頃迄滞在致候廿六日ノ筑豊電気会

社總會ニハ御繰合セ御来臨被成下候ハ、誠ニ難有奉存候杖立ノ事人事  
ニ付テモ篤ト拝面申上度存候モ取紛レ欠礼罷在候  
右御全快御祝迄申上度如此御座候  
頓首

一月廿一日

村上生

麻生尊台

侍史

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S七―一〇〇)

作成者(発信地)…永井蒼治(宮崎市神都電気)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡市浜ノ町)

作成年月日…昭和七年一月二五日

特記…侍史

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓仕候時下寒氣烈敷候処其後御起居如何被為在候哉御伺申上候陳者  
予テ御内示有之候新任当県知事両部長歡迎ノ儀昨夕当市泉亭ニテ相催  
ホシ候間御諒承被下度大和田「市郎」氏御上京中高橋「源次郎」氏モ  
御帰郷中鈴木「憲太郎」氏モ御上京中ニテ出席出来不申小野原「弘」  
氏ニ御出席相願ヒ滞リナク相済候間御安心被下度右御報告申上候  
何卒御大切ニ被成下度候  
頓首

一月廿五日

麻生社長様

永井蒼治

玉座下

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S七一九)

作成者(発信地)・・・村上巧児(小倉市京町三百五十八番地九州電

気軌道株式会社)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(福岡市浜ノ町)

作成年月日・・・昭和七年一月二六日

特記・・・侍史

形態・・・封書(九州電気軌道株式会社用封筒)

内容物・・・野紙

授受の形・・・郵便

一月廿六日

麻生尊台 侍史

村上生

拝啓其後全ク御快氣ト奉存候昨日水野先生御来訪御病状拝承安心致候  
大田黒社長一昨々日來着、丁度発電所職工九十三各解雇ノ紛議中ニテ  
御迷惑相掛ケ本日円満ニ解決致候間何卒御安神被下度候

次に別府市九大温泉治療研究所竣成開業ノ由同所ニハ歐洲ノ最新機器  
取付ケ相済シ誠ニ全国無比ノ設備ニ有之特ニ御持病ノ治療ニ最モ適応  
ノ機械モ実用致居候由ニ付一度御視察如何ニ候哉大田黒社長モ三十日  
当地出立、別府一泊三十一日午前中同所視察ノ御希望ニテ当日ハ小野  
寺先生モ繰合セ御出張ノ由ニ付キ尊台ニモ当日御繰合御出遊被遊候様  
御勸メ申上候

御報旁々御願迄如此御座候

頓首

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S七一九〇)

作成者(発信地)・・・増永元也(東京府下代々木一三四)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(福岡市浜ノ町)

作成年月日・・・昭和七年二月二三日

特記・・・急親展

形態・・・封書(増永元也用封筒)

内容物・・・紙

授受の形・・・郵便

拝啓春寒□□の候大人様には益々御健勝の段大慶至極ニ存上候扱去る  
十九日九送(九州送電)重役会席上にて木村氏と打合せ愈々総選挙も  
終了仕リニ付兼て中井長官とも打合済みニ御座候間至急製鉄所問題解  
決致す事ニ決シ申候ニ付来る廿四日午後一時発富士号にて下福仕り廿  
五日皆様と打合せ二十六日製鉄所へ出頭の予定にて夫々打合せ済みニ  
御座候而小生は二十八日東京に於て田島勝太郎氏令嬢御婚儀の媒介人  
ニ相成候ニ付二十六日の夜か遅くも二十七日朝の急行にて博多発一旦  
帰京仕リ三月二日東京発再下県の予定ニ御座候右予め貴意を得度如斯  
ニ御座候

二月廿二日

早々不具

増永元也

麻生太吉様

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S七一二二五)

作成者(発信地)・・・九州電気界新聞社(福岡市荒戸西公園通)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(市内浜之町)

作成年月日・・・昭和七年三月七日



特記…なし

形態…封書（九州電気界新聞社用封筒）

内容物…紙

授受の形…郵便

慰霊号発刊及祭式と講演会趣意

昭和三年以降毎年三月廿五日を電気デーとして吾人は全国の同胞へ向ひ電気礼賛を絶叫する日としてゐます。

電気礼賛、即ち此日電気事業に関係する者は電車、電灯、電信、電話に至る各員迄、強弱電流の利用誕生と云ふ由緒深い記念日であるから吾人等直接関係者の経度する多くの電界恩人たる先賢及従者身命賭しての功徳を讚美する護国的精神涵養の内省日であると信じます、同時にこの功績を今日恩沢に浴する同胞に対し恩人が単なる利己本位のみの如き精神価値の少い者と同視されるを不嫌、此日左記予定にて弊社が慰霊号発刊各遺族へ無料配附して感謝の一意を表し、電気デー祝日を意義あらしめ大衆に向ひ事業の理解と吾人等先賢の大我的価値を新に予想精進いたしたい為め大方諸賢の御賛同援助を御願ひ申上ます。

昭和七年三月七日

福岡市舟町十一番地

九州電気界新聞社

日時 三月二十五日（金）午前九時半より

場所 福岡県々第一公会堂（西中洲）

プログラム

午前 九時半、慰霊号発刊による慰霊祭「神道」

午前 十時より慈善花売（電気事業関係者婦人有志）

但し利益金は福岡県社会事業協会へ一任県下社会事業団体へ寄附  
午後 六時 講演

演題

公益事業としての電気事業 九大工学部長工学博士 荒川 文六

九州に於ける電気事業と事業への希望 通信局電気課長 小山熊治郎

電信電話現業員殉死美談 通信局工務課長 星野 貞治

公益事業に就て 福岡県社会課長 安藤 謙治

技術者現業員の使命 熊本電気技師工学士 国宗 晋

電灯照明の趨勢と九州の現状 東京電気福岡出張所長 中村 誠

電気デーの精神と慰霊号発刊に就て 弊社主幹 村橋 卓郎

慰霊号掲載寄稿寄書談芳名

通信局 長 吾妻 耕一

九大名誉教授工学博士 降矢 芳郎

九大工学部長工学博士 荒川 文六

福岡県社会課長 安藤 謙治

通信局電気課長 小山 熊治郎

同 工務課長 星野 貞治

熊本電気会社 社長 上田 万平

東邦電力九州駐在常務取締役 西山 信一

九州水力電気会社専務取締役 木村 平右衛門

熊本電気会社技師工学士 国宗 晋

東京電気会社福岡出張所長 中村 誠

福岡県保安課技師 森 隆俊

記事

通信局電気課工務課記録

一、全九州強弱電気事業殉死者氏名掲載

一、九州大会社の現況

一、一般電界時事

専務昨夜立チ十八日朝貴地ツカル委細御話シ乞フ今井

以上

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S七―四三三)

作成者(発信地)…今井三郎(市内庄九水本社)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡市浜ノ町)

作成年月日…昭和七年三月一七日

特記…御報告書(第二)

形態…封書(九州水力電気株式会社用封筒)

内容物…紙

授受の形…手交

昭和七年三月十七日

今井三郎 印

麻生社長殿

拝呈昨夜東京出張所八塚氏より木村専務宛左記電報参り候間御了承被下度候

第一ハ森村氏ノ援助モアリタルモ不成立ニ終リマシタ故明治藤田氏ニ会イ財団担保ニテ一五〇万円借入レ内諾得タ』アス千代田一五〇万円話シマス』杖立以外ニ財団追加出来レバ他ノ保険会社ヲ加入シ四、五百万円位出来ル見込、杖立及神都財団担保トスルカ或ハ先ヅ杖立ノミニテ借入レ後ニテ財団ヲ追加スル約束ニテ四、五百万円借入ル、話進メテヨロシキヤ藤田氏モ尽力スルト云ハル』興銀八年末ノ分丈ゼヒ返ス様キビシク申出アリ一時三〇万円位ニテモ返金出来マセヌカ八塚

右に対し今朝東京八塚仕宛左の通り返電致し置キ候先ハ要用迄敬具

〔別紙の一〕

昭和七年三月十七日

今井三郎 印

麻生社長殿

拝呈本日午後一時東京八塚氏より左記電報参り候間重ねて御報告申上候先づ順境に進み居る模様全慶に存候早々

『追加財団ニ依ル借入レハ後ノコトトシ先ヅ杖立財団ニ依リ三〇〇万円造ルコトニシタ昨電ノ通り明治ハ一五〇万円内諾セシモ千代田ハ一〇〇万円トイフ尚五〇万円追加支出方話シ中若シ千代田一〇〇万円ヨリ出来ネバ他エ五〇万円話シマス八塚』

〔別紙の二〕

昭和七年三月十九日

今井三郎 印

麻生社長殿

拝啓昨日も住友信託専務今村氏御案内し午後六時半帰福仕り候女子畑に於て調整池開閉所及発電所等を予想外詳しく御覧に相成りし為め女子畑を御立ち別府に向はれしは午後三時四十分と相成り候九送、杖立、東邦九州電力との連絡につき特に詳細に説明致し置候天候も宜敷貴家自働車の御提供、湯たんぼの御用意等非常に御満足に有之貴殿迄宜敷申上ケくれとの御伝言に候女子畑の工事につきてはきれいによく出来て居る為幾度も繰返し居られ候水火併用も充分御了解に相成り申候只今東京八塚氏より全封書面到着致し候間御高覧被下度候右要事迄敬具

〔別紙の三〕

昭和七年參月拾六日

印

本社御中

八塚秀二郎 印

拜啓既ニ御報申上候通り明治生命、第一相互兩社ニテ九送(九州送電)株式ヲ担保トシ各壹百万円宛借入方交渉中ノ処曩ニ明治生命承諾セラレ候ニ付第一相互ノ方極力懇請中森村取締役ヨリモ御口添テ願ヒ候へ共本日ノ全社重役会ニ於テ電気事業会社ニ対シテハ既ニ金參千万円也ノ巨額ヲ放資シアル關係上服部金太郎氏当リヨリ異議出テ遂ニ不成立ニ了リ候

右ニ付本日明治生命藤田專務ニ面会シ有価証券担保ニ由ル百万円ノ借入ヲ變更シ杖立財団担保トシテ式百万円也出資申込百五拾万円貸出ノ内諾ヲ得申候尤モ担保物及金額變更ニ付一応取締役会ニ提議確定スベク申サレ候明日ハ千代田ニ金百五拾万円(千代田ハ三社ニテ各百万円出資スル予テノ意向ニ候)出資方交渉可仕候杖立財団担保ナラバ參百万円以上借入困難ニ付外ニ追加財団出来得レバ他ノ保險会社ヲモ加入シ更ニ式百万円位出来可申考ヘラレ藤田氏モ協力シテ他社ヲ勧誘スルベク申呉レ候一方興銀ノ催促近時益激數昨年末ノ百五拾万円也是非至急返還方申出ラレ候ニ付先ツ式、參拾万円ニテモ一時貴方手許保有金ヲ以テ返済スル様致度御都合如何ニ候哉毎日ノ様ニ電話ニテ責メラレシ少々閉口罷在候

右先便電報申上候へ共書中申述候勿々

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S七―三二九)

作成者(発信地)…今村幸男(大阪市東区北浜五丁目住友信託株式會社)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡市大字庄三五九州水力電気株式

會社)

作成年月日…昭和七年三月二五日

特記…なし

形態…封書(住友信託株式會社用封筒)

内容物…紙

授受の形…郵便

拜啓益御清穆被為涉奉賀候陳者過日錦地ニ罷出候際ハ御手篤キ御歡待ニ預リ奉深謝候尚其節ハ御多忙中ノ処今井、池田両氏ノ御案内ニテ日田ノ貴社発電所見字ノ機會ヲ御与へ被下尚其節ハ御愛蔵ノ自動車ヲ御提供被下候タメ何等寒氣ヲ感セザリシノミナラズ一向疲勞ヲ覺不申永年ノ希望ヲ滿タシ候段誠ニ幸ニ存候重々ノ御厚意難有御礼申上候其後別府ヲ經テ無事既着仕候間乍他事御放念願上候時下一層御自愛專一二奉祈候

先ハ年延引御礼申述度如斯御座候

昭和七年參月式拾五日

敬具

麻生太吉様

今村幸男

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S七―三三八)

作成者(発信地)…村上巧兒(東京市麹町区丸ノ内參丁目式番地(東七号館)九州水力電気株式會社)

宛先(受信地)…麻生太吉(市内麴町区内幸町柵屋旅館内)

作成年月日…昭和七年三月二六日

特記…親展

形態…封書(九州水力電気株式會社用封筒)

内容物…罫紙（九州水力電気株式会社用罫紙）

授受の形…郵便

拝啓山本〔達雄〕男一宮〔房治郎〕氏共二十九日ハ差支ナシトノ事ニ  
付キ同日后六時半新喜楽へ御案内申上ケ新喜楽へモ鄭重ニ用意相命ジ  
置候間左様御承知被下度御報申上候  
頓首

二十六日

村上生

麻生尊台侍史

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S七—三三三三）

作成者（発信地）…小田切盛三（大分市長浜町）

宛先（受信地）…麻生太吉（飯塚市立岩石）

作成年月日…昭和七年三月二十七日

特記…至急親展

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓時下益々御清栄財界之為め御健闘の御事慶賀此事に奉存候陳者今  
般木村専務取締役を経て御上京中小生の一身上に付御願申上候処御了  
解被下候段難有厚く御礼申上候就ては小生の九水入社以来の略歴並過  
程の現状を縷述し御賢慮を煩し尚将来の御後援御指導を垂れ賜度以書  
中陳情仕候小生者東京帝大法科卒業九水へ入社以来勤続拾参年に達し  
其間東京本社、大分出張所調査課庶務課に勤務大正十年七月より別府  
営業所長として六年余を大過なく勤務相当之成績を挙げ昭和二年九月  
杖立水電出向を命せられ事務主任として現在に至り一昨年冬内本常務

九州送電会社へ関係以来大分本社に於て万事を処理及ばずながら奮勵  
罷在候別府営業所長時代より令息義之介様太七郎様とも度々御面語之  
機を得御懇親を賜り居候間小生の事に付て御承知被下候事と存候

然るに今回杖立水電九水へ買取に決定相成候に付ては小生としても九  
水へ復帰方希望有之候処財界未曾有之不況に因る金融之硬塞之影響に  
て緊縮御方針之結果小生之如き古参者は到底九水へ御採用困難の様洩  
れ承り甚だ遺憾に存上候実に相当の学歴を有し拾三年間大過なく勤務  
仕り其俣退職之やむなきに至り候事は甚だ遺憾に堪へず候得共大勢の  
趣く所如何とも致し難く涙を飲んで覚悟仕候

就ては整理休職者は給料半額を給せらるゝやに洩れ承り候へども小生  
は家庭に七拾一歳の実母と同棲尚八年来難病を患ふ妻を擁し居り貯蓄  
の予猶とては無之候事とて右半額給にては到底生活出来難き次第に有  
之候結局を以て種々苦慮之結果郷里は東京に近く親戚先輩知友も有之  
候関係上せめて二ヶ年位の条件付にて東京へ転勤の事に御取計願ひ世  
間に将来の方針を相立つる事に致度先輩八塚取締役を通じ木村専務殿  
へ懇願仕り貴下之御了解を得たる次第に有之候右申上候通小生の九水  
入社以来の業績及家庭の事情を思召被下転勤確定方御取計被下度伏て  
懇願仕り候

尚将来之処世方針に対しても御老熟且豊富なる尊き御体験により後進  
御指導の機を得度何れ親しく御面謁の栄を得べく念願仕り候得共乍略  
儀以書中事情を申上げ御賢慮を奉懇願候  
敬具

昭和七年三月廿七日

大分市長浜町

小田切盛三

勤務 杖立水電水力電気株式会社

麻生社長殿

侍史

玉机下

〔封筒麻生後筆〕

勤続慰勞御礼

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S七―四四九)

作成者(発信地)・・・久野五十志(大分市荷揚町)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(福岡市浜町)

作成年月日・・・昭和七年四月六日

特記・・・なし

形態・・・封書

内容物・・・紙

授受の形・・・郵便

拝啓

陽春トハ申シナガラ朝夕猶ホ幾分寒氣相覚エ申候折柄皆様御障リモ無御座候哉御伺申上候

扱テ昨五日九水創立記念日ニ方リ野生勤続廿ヶ年ノ故ヲ以テ会社ヨリ多分ノ慰勞金御贈与ノ恩典ニ浴シ誠ニ忝ク難有拝受仕候回顧仕候ヘバ入社以來多年ノ間大過ナク勤続ノ光榮ヲ得候事はレ全ク重役並ニ先輩諸公ノ多大ナル御引立ノ賜ト感謝ノ外無御座厚ク御礼申上候尚今後共不相変御厚情賜ラン事ヲ偏ヘニ懇願仕候 次ニ当日午後一時半ヨリ市内万寿寺ニ於テ恒例ニヨリ物故役員職員ノ盛大ナル追悼会相営ミ大分支部大分営業所及杖立会社従業員一同參詣約一時間ヲ以テ無滞終了仕候間御諒承賜ハリ度申添候

四月六日

敬具

久野五十志

麻生太吉様

タイトル(整理番号)・・・電報(書簡S七―三五三)

作成者(発信地)・・・木村平右衛門(福岡局)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(東京市麹町区内幸町一ノ三椽屋方)

作成年月日・・・昭和七年四月九日

特記・・・ムニ(照校)

一四ヒトウシヤトカンケイカイシヤジウヤクカイヒラキタシゴゼウニ  
ンコウキムラ

〔訳文・・・一四日当社と関係会社重役会開きたし御承認乞う〕

タイトル(整理番号)・・・電報(書簡S七―三四九)

作成者(発信地)・・・九州電気軌道株式会社(小倉局)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(麹町区内幸町椽屋旅館方)

作成年月日・・・昭和七年四月一三日

特記・・・なし

ハイケン」セウイチシマシタ  
〔訳文・・・拝見〕承知しました〕

タイトル(整理番号)・・・電報(書簡S七―三四二)

作成者(発信地)・・・木村平右衛門(福岡新柳局)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(京都駅下り富士内一等車)

作成年月日・・・昭和七年四月一四日

特記…ムニ、ニカ（照校、親展）

ジウヤクカイブジスミマシタ○タナハシシタイシヨクイロウキンワマ  
ンゼウ一チヲモツテ九スイカンケイカイシヤアワセテ二五マンエンケ  
ツテイシマシタキムラ

〔訳文…重役会無事済みました○棚橋氏退職慰労金は満場一致を以て  
九水関係会社合わせて二五万円決定しました〕

タイトル（整理番号）…電報（書簡S七―四六八、五六五）

作成者（発信地）…永井菅治、神都電気興業株式会社（いずれも

宮崎局）

宛先（受信地）…麻生太吉

作成年月日…昭和七年四月一六、一七日

特記…永井発電報のみムニ（照校）

〔神都電気興業株式会社発四月一六日付麻生太吉（麹町区内幸町柵屋  
旅館）宛（書簡S七―五六五）

ケフコバヤシマチニタイカアリハシツシヨハルイシヨウラマヌカレタ  
ルモイチブハカイセリ〕シント

〔訳文…今日小林町に大火あり派出所は類焼を免れたるも一部破壊せ  
り〕

〔永井菅治発四月一七日付麻生太吉（飯塚市立岩）宛（書簡S七―四  
六八）〕

コバヤシマチタイカヒガイコスウ二四三デントウ一七―トウドウリ  
ヨク三八バリキデンチウ二二ヘンアツキ一九コノソングイヤク一〇三  
〇〇エン、ケンメイニテオウキウシウリシサクヒゴゴ七ジ一〇フンゼ  
ンブテンカセリコノホカタテモノソングイトリシラベチウ〕ナガ井

〔訳文…小林町大火被害戸数二四三電灯一七―灯動力三八馬力電柱  
二二変圧器一九個の損害約一〇三〇〇円懸命にて応急処理し昨日午後  
七時一〇分点火せりこの他建物損害取調中〕

タイトル（整理番号）…昭和七年「発信原稿」（み―三四）

作成者…麻生太吉

宛先…永井菅治、香月盈司・大和田市郎

作成年月日…昭和七年四月一七日

形態…冊子

御地大火ニ依り会社モ火難ニ罹リ御配慮御察シ申上グ〕社員各位ニ宜  
敷御伝へ乞フ

四月十七日

永井菅治 宮崎市神都電気興業株式会社

御地大火ニ依り会社モ火難ニ罹リ御配慮御察シ申上グ

四月十七日

香月盈司 神都電気興業株式会社

大和田市郎 宮崎市仁平町

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S七―四八七）

作成者（発信地）…増永元也（東京府下代々木一三四）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡市浜ノ町）

作成年月日…昭和七年四月二二日

特記…親展

形態…封書（増永元也用封筒）

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓春陽の候益々御清移の段大慶至極ニ存上候扱例の件御指示により山崎〔達之輔〕君訪問詳細説明致置候堀〔三太郎〕様とは電話にて打合せ居申候山口恒太郎様には目下長官上京中ニ付至急前田商相ニ御面談督促致居り候も商相下阪中にて未だ其の運びニ至らず二十三、四日頃御帰京ニ付早々御面談の事ニ相成居り候山崎君も商相帰京後早速面談致す旨今朝電話来り申候御承知の如く八田前鉄道次官今回満鉄副総裁ニ就任され来る廿六日出発五月の臨時議會開会前迄滞滿の由にて其の間ニ一度滿洲に來いとこの事ニ小生も急ニ滿洲旅行の事ニ相成來る五月一日出發の事ニ致候就而は製鉄所の件は其迄ニ山口、山崎両氏を督促仕り大体の目鼻をつけをく決心ニ御座候又つく迄出發を延期する覚悟ニ御座候而都合によりては木村氏之御上京を煩はずやも難斗ニ付其旨は御伝へ置被下度候

四月廿二日

増永元也

麻生大人様

タイトル〔整理番号〕…書簡〔書簡S七―五三五〕

作成者〔発信地〕…増永元也〔東京府下代々木一三四〕

宛先〔受信地〕…麻生太吉〔福岡市浜ノ町〕

作成年月日…昭和七年五月四日

特記…必親展

形態…封書〔増永元也用封筒〕

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓春陽の候益々御健勝の段大慶至極ニ存上候扱例の件山口恒太郎氏

不具合にて前田商相其他との交渉出來ず遂ニ山崎達之助君を煩はし度木村氏二十七日夜御上京されしニ付二十八日種々打合せ二十九日朝同道にて山崎君訪問経過を承りも一心中井長官の意見を聞く必要起り卅日朝中井長官を木村氏と二人にて訪問仕候処矢張り元通りにて何等心境の変化なく小生極力山縣氏計算の当を得ない事製鉄所として50サイクル御採用は時勢の要求なりと申出相分れ五月一日再び木村氏同伴山崎君訪問別紙の三案の内何れかニ話纏め下さる様願置き相分れ木村氏は二日出発され候ニ付三日山口恒太郎氏訪問右の経過を話し候処山口氏は事茲処ニ至つては政治的ニ解決するより外なからんと決心を洩され後事を托して相分れ申候右様の次第にて之の問題は臨時議會ニ何等關係なく寧ろ政治的ニ解決さる之外無之ニ存上候ニ付小生も今夜出發ニ週間計り滿鮮を旅行仕り帰途廿二三日頃福岡ニ立寄り帰郷致度心組ニ御座候委細は木村氏より御聞取被下度余は拝眉の上万々

早々不具

五月四日

増永元也

麻生大人様

〔別紙〕

A 案

製鉄所御示シ通りノ値段ノ場合ハ製鉄所構内変電所ハ全部製鉄所ニテ御負担願ヒタシ

之ノ案ニテ送電量四千万「キロワット時」ノトキノ御示シノ尠「キロワット時」ノ値段ハ四厘六毛ナリ

B 案

送電設備及製鉄所構内変電所ヲ全部会社負担ノ場合ハ御示シノ値段ニ  
壹厘五毛宛ノ御増額ヲ御願ヒ致シタシ

之ノ案ニテ送電量四千万「キロワット時」ノトキ壹「キロワット  
時」六厘一毛トナル

C 案

送電設備ノ全部及製鉄所構内変電所ノ半分ヲ会社ニ於テ負担スル場合  
ハ御示シノ値段ニ壹厘宛ノ御増額ヲ御願ヒ致シタシ

之ノ案ニテ送電量四千万「キロワット時」ノトキ壹「キロワット  
時」五厘六毛トナル

タイトル(整理番号)・・昭和七年「発信原稿」(み―三四)

作成者・・麻生太吉

宛先・・松本学

作成年月日・・昭和七年五月二〇日

形態・・冊子

拝啓久々御無音ニ打過恐縮仕候御懇書拝読仕候過日来仏蘭西マルチ  
ニ一氏九州重立タル工場視察引統結城(豊太郎)興銀総裁モ実地ニ臨  
マレ九州電気ノ官民共通ト統制ニ付夢中ニナリ奔走致シ傍ラ大阪ニテ  
会社取引銀行及保險会社ヲ招待致ス等奔走ノミシテ実ハ立場上当惑致  
居申候

来ル二十五日ヨリ傍系会社ノ總會ニテ延岡、宮崎ニ参リ夫ニテ一先ツ  
要件相片付申候間三十日後ニ上京仕度存居申候

神重君ノ援助金ハ本年分残額御送付申上候間乍御手数時々御渡被成下  
度候

朝鮮事業ハ九州ニテモ同士相募リ居候得共今ニ纏マリタル運ニ至リ不

申候何レ上京御面上可申上候

昨今ノ政界余程重大ト相成申候床次(竹二郎)氏ノ如キハ国情ヲ達観  
シ自重ノ態度誠ニ敬慕致居申候定メテ政界ニ付テモ容易ナラサル御配  
慮ト奉存上候折角為國家御自愛奉祈上候

先ハ御返事旁以書中如此御座候

松本学様 五月二十日

敬具

[欄外]

書留

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S七―六六三)

作成者(発信地)・・箕口臣也(大阪市天王寺区小宮町)

宛先(受信地)・・麻生太吉(東京市芝区桜田本郷町椋屋旅館気付)

作成年月日・・昭和七年六月五日

特記・・乞御直、留置

形態・・封書(箕口臣也用封筒)

内容物・・紙

授受の形・・郵便

拝啓仕候

時下梅雨前兎角鬱陶敷候処益御清健ニ被為遊奉慶賀候陳ハ常々会社ノ  
為メ御尽力被下御老体ニモ不拘九州東京間御奔走被下候段邦家ノ為メ  
誠ニ感謝スル所ニ御座候

扱株主總會モ愈今月ニ相成候処兼テ昨年去年ノ總會席上ニ於テ棚橋様  
常勤ヲ止メラレ平取締ニ残ラレ候旨ノ御報告相成候其後ニ至リ或支障  
ノ為メ平取モ止メラレ候趣ニ候得共元トく平ニ御留任ト御報告アリ  
シ事故今月ノ總會迄ニハ重役間一致ノ上棚橋様ヲ選挙スル事ニ願度候



間社長トシテノ御職務上、重役一致ヲ御尽力被下度懇請申上候  
御上京ノ事承リ候得共恰モ行返シ相成候間以書中右御願申上候  
季候不順ノ折柄御大切ニ御祈申上候

六月五日

再拜

麻生九水社長殿

箕口臣也

不取敢要用ノミ御願申上候

六月十三日

匆々拝具

麻生御老台様

座下

橋爪安彦

タイトル(整理番号)：昭和七年「発信原稿」(み―三四)

作成者：麻生太吉

宛先：木村平右衛門、堀三太郎

作成年月日：昭和七年六月一七日

形態：冊子

〔木村平右衛門宛〕

電見夕御配慮謝ス

六月十七日

木村平右衛門 東京市麹町区有楽町一丁目水明館方

北九州ハ事業地ニ付将来官民一致シテ努力ヲ要スルモノ多ク現知事ノ

如キ老練ノ御方最モ地方ノ適任者ト確信ス極力更迭ナキ様僕ノ代理ト

シテ一宮〔房治郎〕氏ニ其筋ニ御申入レ方御懇願ヲ願フ」 麻生

ウナ 六月十七日

木村平右衛門

〔堀三太郎宛〕

電見夕木村氏ニ急電シタ極力更迭ナキ様御高配頼ム

六月十七日

堀三太郎 東京市赤坂区氷川町松本和方

ウナ

授受の形：郵便

内容物：紙

形態：封書

特記：煩御親展

作成年月日：昭和七年六月一三日

宛先(受信地)：麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町)

作成者(発信地)：橋爪安彦(大分県玖珠郡野上村)

タイトル(整理番号)：書簡(書簡S七―一一七二)

謹啓中夏之候愈々御健勝之段奉恭賀候過般火災之節ハ真ニ言辭ニ尽シ  
難キ御高情ヲ拝シ感謝之辭無之候其内拜趨御厚礼可申上心得居候  
棚橋氏モ愈々九水辞任相成候旨御報ニ接シ申候何レ今期ノ總會ニ於テ  
缺員ノ補充行ハル、事ニ被察候間兼テ御高配ニ預リ居候麻生益良氏御  
推挙ヲ得候様特ニ御高配賜ハリ度御懇申上置候益良氏ヨリ内話ノ次第  
モ有之候得共凡テ御老台様ノ御指図ニ従フ事方安全ナルヘク申入置候  
一度御上京前御伺ヒ申上度存居候得共運動ケ間敷事ハ差控ヘ申候益良  
氏モ近来頗ル健康ヲ復シ現知事赴任以来公私共甚大ノ後援ヲ為シ知事  
活動ニ他人ノ知ラザル苦心ヲ払ヒ居ラレ候事情ハ村上氏当リヨリ御了  
承ノ事ニ候万事御拝眉ノ上可申述候

タイトル(整理番号)：電報(書簡S七―六三八、六四二、六四四、八八一)

作成者(発信地)：木村平右衛門、堀三太郎

宛先(受信地)：麻生太吉

作成年月日：昭和七年六月一七、一八、一九日

特記：各報参照

〔木村平右衛門(東京郵便局) 発六月一七日付麻生太吉(福岡市浜ノ町) 宛照校電報(書簡S七―六四二)〕

モリムラシゴカメイノトウリヲハナシツキマシタキムラ

〔訳文：森村氏御下命の通り話つきました〕

〔麻生後筆〕

午後一時半受

〔堀三太郎(東京郵便局) 発六月一七日付麻生太吉(福岡市浜ノ町) 宛(書簡S七―六四四)〕

ナカヤマチジノコウテツタシカナリ、リユウニンサスルニワ、キカヨ  
リ一ノミヤシノテラヘテ、ヤマトダイジンニゴコンセイオネゴウノ  
ホカシユダンナシ、マコトニケウシユクナガラ、キカヨリサイケウノ  
キムラヘイエモンシアテ、キカノダイリトシテ、キムラシニ、一ノミ  
ヤシオタツネシメ、キヨクリヨク、リユウニンコンセイノ、ゴダデン  
オネガイス、キムラシトワケイギズミ、ホリ三タロウ

〔訳文：中山知事の更迭確かなり、留任さずするには、貴下より一宮氏の手を経て、山本大臣に御懇請を願うの外手段なし、誠に恐縮ながら、貴下より在京の木村平右衛門氏宛、貴下の代理として、木村氏に、一宮氏お訪ねしめ、極力、留任懇請の、御打電お願いす、木村氏とは協議済み〕

〔麻生後筆〕

十七日午後五時受

五時九分東京へ報告ス

受話者□□

〔木村平右衛門(東京郵便局) 発六月一八日頃付麻生太吉(福岡市浜ノ町) 宛照校電報(書簡S七―八八一)〕

サクヤノキデンハイセウスグセンポウエハナシ、イタシマス、キムラ

〔訳文：昨夜の貴電拝承すぐ先方へ話、致します〕

〔麻生後筆〕

十八日午前九時廿五分飯塚へ報告ス

〔堀三太郎(赤坂田町局) 発六月一九日付麻生太吉(飯塚市) 宛(書簡S七―六三八)〕

ヘンデンカンシヤスキムラシカエラルヨロシクオタノミス」ホリ

〔訳文：返電感謝す木村氏帰るよろしくお頼みす〕

タイトル(整理番号)：昭和七年「発信原稿」(み―三四)

作成者：麻生太吉

宛先：山本達雄、松本学

作成年月日：昭和七年六月二〇日

形態：冊子

〔山本宛〕

北九州ハ御承知モアラセラル、通り製鉄所アリ将来南洋支那方面海陸ノ交通設備ヲ初メ其他石炭産地ノ関係上此行詰リタル財界ノ施設ヲ要スルモノ甚タ多シ就テハ地理ニ明ルク事業上経験アル知事ノ御推挙ヲ希望スル旨前ノ中橋(徳五郎)内務大臣ニ御願ヒシタル次第ニテ現任

中山〔佐之助〕知事ハ御就任日浅ク之ヨリ其期待ノ時機ニ達シ居レバ御更任アラセラレヌ様御留任切ニ御願申上ゲ  
麻生太吉

六月二十日〔浜ノ町ヨリ發電〕

山本内務大臣宛

〔松本宛〕

北九州ハ御承知ノ通り製鉄所ヲ初メ事業地ニテ殊ニ石炭産地ノ關係上此行詰リタル財界ニ官民一致施設ヲ要スルモノ多シ其意味ニテ當時ノ中橋大臣ニ御願シ現知事就任未タ日浅ク之ヨリ実行期待ノ折柄ニテ此際更迭アラセラレヌ様山本内相ニ御願ヒシマシタ貴官ヨリモ切ニ留任ノ御執成御願ヒ申上ゲ  
麻生太吉

六月二十日〔浜ノ町ヨリ發電〕

松本学氏宛

タイトル〔整理番号〕…書簡〔書簡S七―七八八〕

作成者〔発信地〕…神都電気興業株式会社〔宮崎市上野町壱丁目〕

宛先〔受信地〕…麻生太吉〔福岡県飯塚市〕

作成年月日…昭和七年六月二九日

特記…侍史

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

謹啓

初夏の候ニ御座候処益々御清栄の段慶賀の至りに存じ奉賀候

予テ御間に達シ候当地高等農林学校住吉牧場にて試験中の電熱利用温室栽培のもの漸く成熟し初採取致候については別便にて御高覧に供し

度御送付申上候間何卒御笑納被下度願上候右温室は本年二月十六日設置西瓜〔品種大和〕トマト〔品種ペストオパール〕マスクメロン〔品種エメラルドゼム〕の三種を栽培致候処何分にも最初の試みの事にて西瓜は病害の爲めに失敗に終り候もトマトマスクメロンは非常なる好結果を得申候由高農に於ても右温室利用につきては多大の興味を以て試験研究を重ねる事に相成居候  
先づ右御報告申述度如斯御座候  
敬具

六月式拾九日

神都電気興業株式会社

麻生太吉殿

侍史

〔封筒麻生後筆〕

挨拶スミ

タイトル〔整理番号〕…書簡〔書簡S七―七三三〕

作成者〔発信地〕…真貝貫一〔福岡市新川通二丁目〕

宛先〔受信地〕…麻生太吉〔飯塚市立岩〕

作成年月日…昭和七年六月三〇日

特記…侍史

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓益御清穆奉大賀候陳者今般杖立川水力電気株式会社解散に就き從來会社に寸功なき迂生に對し結構なる紀念品及慰勞御惠与被下何とも御礼紙葉二尽し難く候先ハ乍略儀以書中謝意申述度如此御座候 拜具  
六月三十日

麻生太吉様

貴下

〔封筒麻生後筆〕

御礼

真貝貫一

タイトル（整理番号）…昭和七年「発信原稿」（み―三四）

作成者…麻生太吉

宛先…神都電気興業株式会社

作成年月日…昭和七年七月一日

形態…冊子

拝啓時下益御清榮奉慶賀候扱今回誠ニ見事ノ電熱利用温室栽培ノメロ  
ン及トマト御贈与ヲ蒙リ御芳情奉深謝候主人目下上京中ニ付何レ帰邸  
御挨拶可申上候得共不取敢以書中御礼申上度如此御座候 敬具  
神都電気興業株式会社御中 七月一日

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S七―一二三三）

作成者（発信地）…田島勝太郎（東京市外淀橋町角筈四二四）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡市浜ノ町）

作成年月日…昭和七年八月一七日

特記…急御直

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓時下残暑難凌候処益御清安之段恭賀之至ニ奉存候扱本日突然岩尾  
氏之件ニ付打電申上恐縮千万ニ御座候右ハ既ニ御聞及ニ存候大分県多  
額議員互選ニ付日田町岩尾昭太郎氏ヲ推す計画有之候由之処右に對し  
九水より一臂之力を加へられ候へは登選易々たるものに可有之されば  
御社将来之為相当浮立可申被存切に小生より御願申呉候様申出來り候  
ニ付御一電申上且つ本状相認候次第ニ御座候実ハ御思召之程如何と被  
存強て御願申上候筋合のものに無之とハ存候へ共若し多少にても御尊  
意有之候ラハ、何卒御一考被下度何れ万縷ハ貴社中村上内本等之諸氏  
より尊聞に達候事も可有之と存候に付略筆仕候右唐突にも御座右を騒  
し恐縮之至御高慮ニ依り何分之御取斗奉願候当用のみ 頓首再拜  
八月十七日

麻生尊台

侍史

田島勝太郎

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S七―八九六）

作成者（発信地）…末松偕一郎（東京市外寺島町一ノ一八二）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡県飯塚市）

作成年月日…昭和七年九月三日

特記…必親展

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拜啓残暑尚去り難く候処益々御清康の段奉欣賀候先日御上京の節は数回御訪問仕候へとも遂ニ御面談の機を得ず遺憾ニ存候陳者現下の時局ハ真ニ重大ニ有之立憲政治の危機ニ類シ〔瀕シ〕社会上經濟上革命勃発の危機亦少なからず候生等の如き政界浄化を目的として政党ニ入りたる者ハ大ニ奮励努力を要する時機ニ御座候然るニ是等活動の爲ニハ相當の資金を要し候へとも御承知の如く先般の総選挙てハ失敗し生活上ニさへ窮迫せる有様ニて到底充分なる活動不可能の哀狀ニ被置候就てハ九軌会社も相當整理相つき候様子ニ有之候へは同会社との關係復活ニ付御配意相叶間敷候や既ニ村上氏より御聞及のこと、候へとも松本〔泰藏〕前社長より当時の松本〔学〕知事ニ依頼し小生同会社の顧問として内部ニ於て経営整理の相談相手たる依頼を受け年手配三千元及選挙の節ハ相當の援助を受くる約束を内約致候小生は偶然斯る後援者を得大ニ欣喜安心致居候処会社の内容ニ付ても何等關係せず從て整理等ニ付何等尽力する機会を得ざりし間ニ彼不始末曝露となり故因〔琢磨〕男爵の懇篤なる紹介ニ依り大田黒現社長ニ顧問継続の件を依頼したるも会社整理の必要上一時中止の已むを得ざる次第と相成候小生本件の選挙ニ惨敗したる主要原因ハ全く此後援者を失ひたる点ニ有之候是等の事情ニ付拝眉御懇談の上少くとも九軌顧問關係復活ニ付御尽力相願度希望ニ有之何れ其内当時の仲介者たる松本警保局長よりも御依頼可申上候へとも何卒宜敷御考慮御援助のほど奉切望候近日大田黒氏ニハ御面会の上本件ニ付御懇請仕度存念ニ御座候へとも万事老台の御配慮なくてハ解決致兼候義と存候間不取敢書中得貴意度如此ニ御座候

九月三日

拝具

麻生太吉殿

侍史

本月十九日頃福岡市ニ民政党大会を開催し若槻〔礼次郎〕総裁其他出席の筈ニ有之小生も右準備其他の爲十日頃出發帰県の予定ニ有之候処江木氏の病狀甚た危険ニ相成候爲め出發を延期致候へとも大会の節は必ず帰県致候

タイトル〔整理番号〕…書簡〔書簡S七—一〇七〇〕

作成者〔発信地〕…金光庸夫〔東京市渋谷区猿樂町三十一番地〕

宛先〔受信地〕…麻生太吉〔福岡市九州水力電気株式会社〕

作成年月日…昭和七年一月二三日

特記…至急親展

形態…封書〔金光庸夫用封筒〕

内容物…紙

授受の形…郵便

拜啓秋冷之候弥々御清祥奉存上候扱御經營之九水近日總會開会重役之御選挙有之哉ニ候処故重役麻生觀八君の嗣子益良君ハ先代同様温厚篤実之人物ニて政界其他公私之職ハ総て辞退致居候も九州重役ニハ希望有之哉ニ被存候未タ御若輩ニて恐縮ニ存候へ共先代の遺子御取立の御思召を以て御推挙賜り候ハ、定めて故人も地下ニ感泣致候事と存候如何にも差出ケ間敷候へ共先代の知友一同切望致居候次第ニ付代表之意味を以て懇願申上候平ニ御採納相叶候ハ、郷友一同の満悦之ニ過ぎず

十月廿三日

拝具

末松借一郎

麻生大人

座右

庸夫

業務多忙から

大同電力常務制復活か

取締役一名増員の余地あるを幸ひ

社外に適材を物色中

タイトル(整理番号)・書簡(書簡S七―一〇三三)

作成者(発信地)・増永元也(東京市渋谷区代々木山谷町一三四)

宛先(受信地)・麻生太吉(福岡市浜ノ町)

作成年月日・昭和七年一月二日

特記・至急必親展

形態・封書(増永元也用封筒)

内容物・紙

授受の形・郵便

拝啓時下晩秋の候大人には益々御清穆ニ互らせられ候段大慶至極ニ存上候扱今朝別紙電気日報の伝ふる処によれば大同電力会社にて専務物色中の由小生としては永く流浪の身実ニ絶好の機会ニ御座候増田社長とは面識の間柄ニ候らへ共何れ大株主の後援ある人か金融業者の推薦する人最も有力と可相成候ニ付大株主として太田熙氏(京阪電鉄社長)は多年の親交有之近日御上京の節推選方御願申心算ニ御座候らへ共金融業者中有力なるは住友ニ有之候間甚だ恐入候らへ共今回御上阪の節住友の幹部(小倉様大屋様秋山様は面識の筈ニ御座候)ニ愈々大同電力専務設置の場合推選方御内談被下事相叶問敷や乍略儀以書面御願申上候也 早々不具

十一月二日

増永元也

麻生太吉様

[別紙・『電気日報』昭和七年一月二日付切り抜き]

大同電力は昨夏経費節減の名目の下に職制を変更し爾來増田社長独裁の下に藤波取締役を支配人に、有村取締役を技師長に配して社務を執掌して来たが、一億数千万円の大会社にしてしかも関東関西に営業地を有し近時関西共同火力或は電力聯盟その他の関係から社務益々繁忙を加へ且金融関係及電力料金問題交渉等幾多の重要な社務が山積しこれ等を社長唯一個に營掌することは必然的に無理を生じ、ために増田社長の健康をすら懸念せらるゝに至つたのみならず他の四大電力の振合を見ても東電の小林副社長、宇治電の影山副社長、日電の内藤専務、東邦の海東専務等と対立すべき人物の存せざることは外交上においても不利な場合が決して少くない、そこで増田社長はいよゝ専務若くは常務制を復活して社長の輔佐および代理機関を置くことに決意し目下適任者の物色中で、もし出来得るならば十二月末の下期定時総会に提案したき意図を持つて居る

而してその人選は社内より拔擢する事が最も捷徑であり候補者として第一に念頭に浮ぶのは村瀬末一氏の復活、支配人藤波収、技師長有村慎之助氏の昇格、監査役福沢駒吉氏の拔擢等が考へられるが、これ等は何れも種々の関係から到底実現困難の模様でこの点は増田社長も既に諦めをつけ取締役の一名増員の余地あるを幸ひ一意社外に向つて適在を物色してゐる

かくて社外に人を求むるとすれば第一に金融資本の注文が出て来る訳だが、之はすでに小原喜三郎氏があつたが、四囲の情勢は同氏の大同

重役たることに異論を生じ止むなく傍系昭和電力の常務たるべく余儀なくされた位だから今また新たに同じ方面から物色すべしとも思はれないかやうにして詮じ得ると結局は相当の材幹を持ちながら不遇の地位にある他社の重役或は社員中から抜擢するか、然らざれば電気関係の退役官吏などの中から選ばれるのではないかと見られてゐる

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S七―一〇〇九)

作成者(発信地)・・・神都電気興業株式会社(宮崎市上野町一)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚市)

作成年月日・・・昭和七年二月四日

特記・・・なし

形態・・・封書

内容物・・・紙

授受の形・・・郵便

謹啓

時下清涼の候に御座候処益々御清穆之段奉賀候

偕而予て委託試験中の当地高等農林学校住吉牧場内電熱栽培による

「メロン」此の程漸く成熟致候につき御送附申上候条何卒御笑納被下

度御願申上候

右は電熱温床にて栽培せし「スカレット」種にて十一月四日採取

致候ものに御座候

尚御送附申上候箱に電熱利用温室温床栽培委託中の成績月報(八月

九月度分)封入致申候間御寸暇の折御高覧を賜らば幸甚至極奉存候

十一月四日

敬具

麻生太吉殿

神都電気興業株式会社

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S七―一一五〇)

作成者(発信地)・・・箕口臣也(大阪市天王寺区小宮町)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(福岡市浜町)

作成年月日・・・昭和七年二月七日

特記・・・乞御直

形態・・・封書

内容物・・・紙

授受の形・・・郵便

拝啓仕候

秋深く相成候処益御勇健被為遊奉慶賀候

先日ハ御芳情賜リ洵ニ忝ク感激罷在候

扱先般拜眉之節□□御言外ヲ拝察仕候九軌損害責任問題之義何カ良キ

御考へ御座候哉実ニ驚ク斗リノ明晰ナル御方故其連帯責任タル点ヲ御

考究相成候様拝察致候処事実如何哉若シ該点ニシテ可能ナリトセバ千

万長者ノ方モ数多有之候事故見込モ可有之候只当時ノ行為ガ連帯責任

トシテ問ヒ得ルヤ否ガ頗ル興味アル研究問題ト奉存候惟フニ両方共論

議スヘキ事柄ト存候ニ付若シ御来阪之機御座候節ニハ先般申上候知人

ノ独創的研究心ニ深キモノヲ帯同シテ伺申上候間其節ニハ前以御一報

被成下度御願申上候(是非夫レヲ望申候一度  
御引見賜リ度奉願置候)

大阪ハ目下大元帥陛下御来幸ノ前トテ各方面共歓迎準備ニ忙殺セタレ

居申候

猶向寒ノ折柄為国家御大切ニ奉祈上候

次伸

此間東京ニ於テ森村様二面会致候処今回九水ノ取締役ヲ辭職相成候趣承リ申候就テハ一人ノ欠員相生ジ候事トテ嘸各方面ヨリ割込運動有之候事ト存候乍然人物ヲ余程考慮スヘキ候儀ト奉存候實際ニ於テ会社ヲ益スル者ニアラサレハ補欠無之様願申上度候

夫レニ付思ヒ起スハ昨年十二月ノ株主總會ニ於テ議□タル貴社長様ハ柵橋様今度副社長タル常勤ヲおやめニナリシ故功勞金ヲ贈呈致度尤モ乞フテ平取締役ニハ残ツテ□□事ニナリマシタト何かニ御報告ニ相成申候株主ハ同氏ノ常勤ヲやめるサヘ其別レヲ惜ンダ次第ニテ止ヲ得ザル事故平取締タル事ヲ聞キテ諦メタルハ事実ニ御座候然ルニ其後或事情ノ為メ平取締迄やめられタリ若シ株主カラ云ハシムレハ社長様ガ總會席上ニテ御報告セラレシ事ニ反スルヲ以テ前回ノ總會ニテモ相当御尋致候テモ理由アル事ニ候得共而モ賢明ナル社長様ノ事故前言ヲ無ニセラル、筈モナク他日御考ヘノアル事ト拝察致居候次第ニ御座候元來ナレハ平取締ヲやめねばナラス事柄ハ重役会ニ於テ改訂セラルレバ足レル事ニテ定款ノ改正ニアラズ内規ノ改正ハ取締役会ニテ十分ナルモ如何ナル事情ノ潜在セシニヤ窺知出來不申候今日迄氷解シ能ハザル所ニ御座候際偶々欠員出來候事ナレハ補欠員ハ他ニ求メズ御社ニ經見深キ又内外二信望厚キ柵橋様ヲ御選擧被下候テハ如何ニ御座候哉同氏ナレハ社長様ノ最モ良キ相談相手トモ被存申候何卒御一考被成下度只管御願申上候尤モ極内密ニ周圍ヲ配当被下度但シ内部ノ事情ハ承知不致候得共敢テ反対ハ左程無之乎ト存候ま、右進言申上候 草々敬具

十一月七日

箕口直也

麻生社長殿侍史

タイトル(整理番号)・書簡(書簡S七―一二二)

作成者(発信地)・八塚秀二郎(東京市麴町区丸ノ内参丁目式番

地(東七号館)九州水力電気株式会社)

宛先(受信地)・麻生太吉(福岡県飯塚市立岩)

作成年月日・昭和七年一月一七日

特記・親展

形態・封書(九州水力電気株式会社用封筒)

内容物・紙(九州水力電気株式会社用紙)

授受の形・郵便

昭和七年拾壹月拾七日

麻生社長殿

八塚秀二郎 印

拜啓冷気加リ候処愈御清穆奉大賀候爾來頓ト御撫音ニ打過ギ欠礼申上候陳者財界ノ好転ニ伴ヒ株式市場モ逐日好況ヲ呈シ当社株価モ大分引戻リ好都合ニ奉存候社債類モ全様活気ヲ帯ビ興業銀行手持チノ權太工業社債壹千五百万円也(利子六分五厘ト七分ト二口有之候)全部額面ヲ以テ処分済ト相成リ其他手持チノ証券モ帳簿価額以上ニ売却シ暫クノ間ニ於テ約八拾万円ノ利得ヲ拳ゲ候由又野村証券会社ニテモ昨年当社ヨリ譲渡致候九水社債売レ残りノ分モ先般九拾七円捌ニテ悉皆売尽シ候由茲拾日間ノ間ニ証券界面目一新ノ形ニ有之候就テハ木村専務ノ指示ニ依リ興銀担保差入中ノ九水社債ヲ前ニ重役会ノ決済ヲ經候単価九拾七円五拾錢以上ヲ以テ処分方興銀宝來理事及野村証券瀨尾取締役ヘ申込置候間御諒承被下度唯今ノ処九拾七円見当ノ相場ニ候ヘ共間モナク当方指値迄高騰スベク見込居候尚野村証券ニテハ歳改マレバ低利融通ヲモ希望スル様申居候全ク昨年末ノ金策御高配ヲ得候當時ニ比シ余程ノ変化ニ御座候



先ハ右御無音御詫旁御報申上候敬具

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S七―一二〇八)

作成者(発信地)…永井菅治(宮崎市黒迫町)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡市浜之町)

作成年月日…昭和七年一月二十九日

特記…必親展

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拜啓仕候時下突然寒氣相加里候処朝夕御起居如何ニ為在候哉御伺申上候陳者本日当神都電気ノ株主総会モ予定ノ通り無事終了仕候間乍他事御安心被下度は全ク平素御指導御鞭撻ノ賜モノト存じ厚ク御礼申上候尚今後御見捨ナク一段ノ御教示御訓導願ハ敷奉存候当市ノ問題ニツキ本郵専務ヘノ御伝言正ニ拝承仕候幸ニ昨日県当局ノ御心配スル処ト相成り広瀬警察部長ヨリ市当局ニ対シ忠告スル処ト相成り一先ゾ原案ヲ以テ無条件市会ヲ通過セシムルノ方針ト相成候由ニテ只今市会議員ヲ個人別ニ軟化運動中ノ様子ニ御座候從ツテ此処四五日中ニハ原案ニテ解決相着キ候事かト被存候御安心被下度候

十一月廿九日

麻生社長様

玉座下

時分柄格別御自愛被成下度奉願上候

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S七―一二〇二)

作成者(発信地)…橋爪安彦(大分県玖珠郡野上村)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡市浜町)

作成年月日…昭和七年二月二三日

特記…煩御親剪

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

謹啓愈々御清穆之段奉恭賀候扱過日ハ突然参堂致シ御疲レ半長座仕リ御配意ヲ賜ハリ恐縮至極ニ奉存候深ク御礼申上候仰ニ從ヒ木村氏今井氏村上氏訪問致し各位何レモ社長御一任トノ懇話ヲ得申候婦来御老台之御内意ノアル処追一益良氏へ申入候処深ク感激シ入社之上ハ社長ノ馬前ニ討死ノ覚悟モ厭ヒ不申ト申居ラレ候来ル総会ニハ同道出席之事ニ打合セ置申候此上共万服宜敷御依頼申上候

十二月十三日

橋爪安彦

匆匆拝具

麻生御老台様

座下

追而只形式丈ナルモ表面何等カノ方法ニテ益良氏へ推選内諾方御申聞ケ置被下候様御取斗ヒ願入候

永井菅治

匆匆頓首

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S七―一二四六)

作成者(発信地)…不明

宛先(受信地)…麻生太吉(飯塚市九州水力電気株式会社社長)

作成年月日…昭和七年二月一四日

特記…直疲

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓

初冬の御益々御健勝祝福申上げます却説度季ヲ煩し七分配当の九水親式拾五円全新拾五円台下落致しました新は貴下が裏面に於て何等かの策動が有りはしまいかと皆の者が推考しつゝ、ありましたが噂に依れば先の大下落は問屋筋の策動に帰因するとの事然し昨今ようやく旧価ニ復しつゝ、有り一同愁眉を開きつゝ、有ります、

仄聞する処によれば是れも貴下の御厚配の賜との事一同感謝致しつゝ、有ります然し他に比較致しますれば未だ下動きが有りますが其れとて九軌との関係も有りませうがまだ、高値の様猶が有る様に思はれます

産業の如きは四分配当にて七拾円も致しますのに九水は七分配当にて四拾五円台にて未だ額面に不達皆額面に達せん事を希望してゐます無配株にても額面以上のもの多々有りますのに九水の下動きは地場の策動では無いかとの噂を耳に致します、何分額面に到達せん事を希望してやまざる次第であります

終わりに望んで貴下の御健勝を祈上げます

十二月十四日

九州水力電気株式会社

社長麻生太吉殿

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S七―一四一)

作成者(発信地)…箕口臣也(大阪市天王寺区小宮町五四)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡市浜ノ町御別邸)

作成年月日…昭和七年二月一九日

特記…なし

形態…封書(箕口臣也用封筒)

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓仕候

俄然寒氣相増し候処尊台ニハ些ノ御障リモ無御座シテ益御強健ニ遊ハセラレ候段大慶至極ニ奉存候

木村専務様ヨリ拝承候得バ九水会社ノ社運モ隆々トシテ倍々好景氣ニ相向ヒ候趣誠ニ御同慶之次第ニテ是全ク社長様始メ御一同ノ平素ノ御努力ガ天然ニ幸福ヲ附与セラル、ニ外ナラズ候会社モ大事ニ候得共寒氣ノ御御大切ニ祈上申候

次ニ来ル廿二日ノ総会ニハ出席仕候、就テハ同日午前九時カ十時頃拝面仕度候間何卒御引見被下度前以御依頼申上候  
十二月十九日  
草々拝具

箕口臣也

麻生社長殿

タイトル(整理番号)…昭和七年「発信原稿」(み―三四)

作成者…麻生太吉

宛先…麻生益良

作成年月日…昭和七年二月二〇、三〇日

形態…冊子

〔二月二〇日付〕

本社監査役ニ御推薦シタシ御内諾乙フ

十二月二十日午前十一時半

麻生益良

〔二月三〇日付〕

〔拜啓年内モ余日無御座候処益御健勝奉慶賀候今回九水会社ノ監査役ニ御当選御迷惑ノ次第二奉存候得共一面ニハ平素ノ御従望ノ結果ニテ御名譽御喜申上候九水会社漸次隆盛ニ向ヒ創立当時ヨリ御尽瘁セラレタル御先考様モ地下ニ被為在御喜ノ事ト奉存上候総テノ事業ハ電気ニ依ルノ外ナキ時代トナリ九水会社ノ立場モ漸次責任重大トナリ今後ハ一層御尽瘁ヲ希望シテ止マサル次第二御座候  
御醸造八鹿壺樽只今鉄道便ニテ相達御高情難有御礼申上候毎日頂戴相  
楽シミ申候先ハ不取敢以書中御礼旁々如此御座候  
十二月卅日  
敬具

麻生益良様

タイトル(整理番号)…電報(書簡S七―一七九)

作成者(発信地)…オハタヤサオ(豊後恵良局)

宛先(受信地)…麻生太吉(飯塚市)

作成年月日…昭和七年二月二三日

特記…なし

タネンチホウミンシユノコンガンヲサイノウセラレ(アソマスヨシシ  
ゴスイキヨヲタマハリトホセンセシメラレタル)ゴコウジヨウアツク  
オレイモウシアグ○ヒガシハンダソンチヨウオハタヤサヲ

〔訳文…多年地方民衆の懇願を採納せられ(麻生益良氏御推挙を賜り  
当選せしめられたる)御厚情を厚く御礼申し上げます○東飯田村長〕

タイトル(整理番号)…電報(書簡S七―二二二、二二二)

作成者(発信地)…九州電気軌道株式会社(各報参照)

宛先(受信地)…麻生太吉(いずれも飯塚市立石)

作成年月日…昭和七年二月二四日

特記…なし

〔小倉局発(書簡S七―二二二)〕

ソウカイムジスミタ」九キ

〔訳文…総会無事済みた〕

〔門司局発(書簡S七―二二二)〕

ソウカイブジスミマシタ」九キ

〔訳文…総会無事済みました〕

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S七―二二二)

作成者(発信地)…橋爪安彦(大分県玖珠郡野上村)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町)

作成年月日…昭和七年二月二六日

特記…御侍史

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

謹啓愈々御清邁之段奉恭賀候扱総会前後為会社一入御高配相賜ハリ感  
謝之辞無之候御蔭ヲ以テ益良氏無難当選致候帰来県内ニテモ適當ノ人

物推拳トノ批評ニ有之候一昨日警察署一件ニテ益良氏ヨリ知事及三部  
長外県高等官連ヲ別府ニ招待致候節何レモ県代表トシテ九水ニ入りシ  
ハ何ヨリノ事ト喜呉レ候様ノ次第各新聞モ写真中履歴ヲ競フテ登  
載致居候之レ全ク貴大人之御推拳ガ一般ト符合セシモノニ外ナラズ只  
管喜居申候出福中ハ御手厚キ御招待ニ預リ重ね御礼申上候大分ヨ  
リ本日□□漸ク帰館仕候御礼延引之段平ニ御海容被成下度御願申上候  
十二月廿六日  
勿々拝具

橋爪安彦

麻生御大人様

座下

廿三日午前益良氏同道浜町へ御礼之為メ參堂仕候処御本宅御帰館ノ由  
ニテ御拝眉ヲ得ズ帰県致候

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S七—一二四三)

作成者(発信地)…麻生益良(大分県玖珠郡東飯田邨)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡県飯塚町)

作成年月日…昭和七年二月二八日

特記…侍史

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拜啓益々御清康に被為涉奉慶祝候申迄も無御座候へ共何卒御自愛の程  
切に奉祈上候又手今回は意外にも御推薦を蒙り遂に受諾仕候果して重  
責に堪へ得るかと心配罷在候乍併御大人の御厚情に対し飽くまで粉骨

碎身御馬前に奮闘可仕決心に御座候間将来御叱正被成下度奉願上候実  
は私事大分に於て重大問題の仲裁をなし居り候為め福岡より別府に出  
で諸事を解決して漸く昨廿七日夜帰宅仕候次第にて御礼延引仕候段御  
詫申上候

洵に粗品にて候へ共私方醸造「八鹿」印清酒一樽本日鉄道便にて敬送  
仕候間貴着の上御知己へなりとも御分配被成下度奉願上候これは絶対  
に防腐剤等を用自然のまゝに御座候間尊体に御支障なき事を保証申  
上候一杯なりとも御試酒被下候は、実に光栄の至りに奉存候右御厚礼  
旁々如此御座候  
十二月廿八日  
拝具

十二月廿八日

麻生益良

麻生尊大人

侍史

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S七—一二四七)

作成者(発信地)…草刈雄治(小倉市米町一二二)

宛先(受信地)…麻生太吉(飯塚市大字立岩二一四)

作成年月日…昭和七年二月三〇日

特記…親展

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拜啓仕候年内も余日無之候処尊台御始め御一統様御揃益御機嫌よく恐  
悦至極に奉存候陳者期末には思懸けなく多額の金子を賜り思召に甘へ  
難有拜受仕候可成有意義に之を用ひ御芳志に添ひ奉り度と奉存候右難

有御礼申上候多事多端なりし今年も奔馬の如く過ぎ去り申候処幸に両社長の崇高なる御理想に基き水火の共用を可成の程度迄実行の運びに至候事を衷心愉快に感ずる処に御座候水力の剰余を可能の極度迄利用せると渴水の補給として火力供給の実行を始めとし九軌の需用量に対して新発電所内タービン発電機二台の運転を必要とせる場合九水よりの送電量を僅かに増加する事によりて一台を停止しうる如き場合には昼間女子畑貯水池を利用して水力の助勢を受け夕刻のピーク時迄一台丈にて間に合せ夕刻より二台運転となし火力を逆送して貯水池を満たし明日の準備を完ふせるが如き又十一、十二月の候炭況好転の爲め契約炭の出廻り思はしからずどうしても所要の貯炭をなし得ざるが如き場合火力のみにては誠に心細く其のまゝにては或は需用家に一部迷惑をかくるか又は高価の石炭を以て之を補ふか外に途なき如き場合に当りて昨今の如く豊富なる水力の供給を受けて石炭問題を緩和すが如き水力の真価を如実に認識し水火共用の運用により高遠なる大自然の摂理の一端を窺知するを得たるは誠に幸福に存ずる処に有之私共其の衡に当るもの、責任の軽からざるを自覚仕候今後は更に一層の注意、努力と人の和によりて朗かに社務に従事し大自然の妙味を味ひつ、微に入り細に至る運用の効果を發揮し社運の隆昌を謀り両社長の崇高なる御精神に答ひ奉り度と奉存候茲に感謝の念に満ち謹んで目出度御超歳被遊候様奉祈上候先は右歳末の御挨拶迄申上度如斯御座候 謹言  
昭和七年十二月三十日

草刈雄治

麻生太吉様

執事

タイトル(整理番号)：昭和七年「発信原稿」(み―三四)

作成者：麻生太吉

宛先：木村平右衛門

作成年月日：昭和七年二月三〇日

形態：冊子

拝啓年内余日無御座御多忙奉慶賀候永野〔清〕氏外一通電信御覽二供  
シ候

今井常務並二村上専務二御廻被成下度候

木村専務様 十二月卅日

敬具

〔昭和八（一九三三）年〕

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S八―三八）

作成者（発信地）…麻生益良（大分県玖珠郡東飯田町）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡県飯塚市）

作成年月日…昭和八年一月二〇日

特記…御侍史

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

恭啓先般重役会出席の御りには非常なる御支援を賜り以御蔭私事望外の面目を施シ申候実には尊大人の宏大なる御愛情は只々感激の外無之深く々々奉拝謝候私事無学且つ病後兎角頭腦低下して到底御役に立つべき能力なき事を恥入申候へ共何人にも劣らざる誠意と肉弾的意気とを以て御馬前に御指揮を仰ぐ覚悟に御座候何卒微衷御諒察被下候帰路永野（清）氏の御伴をなし出別仕候処山水園御別荘にて意外なる御歓待に預り申候是れ又御厚礼申上候永野氏と訣別後大分別府方面三四の人々に挨拶旁々諒解を求め漸く昨十九日帰宅仕候その為め御礼延引御高免被成下度候

一月廿日

益良拝

麻生尊大人

侍史

タイトル（整理番号）…電報（書簡S八―五七）

作成者（発信地）…村上巧児（東京郵便局）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡市浜ノ町）

作成年月日…昭和八年一月二七日

特記…なし

ゴコンシオタクロシヤテフニツタエマシタガ」モハヤゼンカイアスタツコトニキメラレマシタ」ワタシケフタチマス」ムラカミ

〔訳文…御懇志大田黒社長に伝えましたが〕もはや全快明日発つことに決められました」私今日発ちます」

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S八―六〇）

作成者（発信地）…（九州水力電気株式会社）秘書課

宛先（受信地）…麻生太吉

作成年月日…昭和八年一月二八日

形態…罫紙（九州水力電気株式会社用罫紙）のみ

授受の形…不明

昭和八年一月28日

麻生社長殿

秘書課 印

拝啓同封稟議書太田黒取締役殿御西下ノ節御相談セラル、趣ニ拝承御預り申居候処本日九軌ヨリノ電話ニテ同取締役殿ニハ本日御出發明晩中着門明後日ノ九軌重役会及筑豊電軌総会へ御出席相成候由ニ付若シ社長殿当日御出倉相成候ハ、或ハ御相談ノコトモ有之カト存候間為念御届申上候

尚村上九軌専務殿ハ本朝御帰倉相成候由ニ付申添候

次ニ木村専務殿ハ本日東京御出發大阪ニ立寄ラレ三十日大阪発三十一

日昼御帰社ノコトニ入電有之候間併セテ御通知申上候

電巻通加封御届申上候間関係書類ニ御留置願上候

拝具

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S八―六七)

木村専務様

作成者(発信地)…山中吉郎兵衛(大阪市東区北浜二丁目)

〔欄外〕

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町)

二月三日夕田中ニ托シ浜ノ町ニ送り篠田氏届ク

作成年月日…昭和八年一月三〇日

特記…御親展

タイトル(整理番号)…電報(書簡S八―九三、九四、九五、九七)

形態…封書

作成者(発信地)…木村平右衛門、永井蒼治

内容物…紙

宛先(受信地)…麻生太吉(いずれも東京市麹町区内幸町一ノ三)

授受の形…郵便

柵屋旅館東京支店)

拝啓愈御清穆奉恭賀候陳ハ松本奈蔵様御旧蔵之書画骨董品之儀ニ付一

作成年月日…昭和八年二月一〇、一一日

応親しく御懇談申上度為来月早々参上致度存候処御都合如何ニ御座候

特記…各報参照

哉甚恐縮ニ候へ共折返し何分の御答承り申度此段得貴意申候 敬具

一月卅日

〔木村平右衛門(福岡局) 発二月一〇日付至急照校電報(書簡S八―九五)〕

山中吉郎兵衛

麻生太吉様

侍史

ミヤザキシヨリ一六ヒヨシヤテウノカンゲイカイヲヒラキタシ〇ゼヒ  
ゴセウニンネガイタキムネコンセイアリ〇ゴツゴウウカガイアゲマス  
キムラ

タイトル(整理番号)…昭和八年「発信原稿」(て―二八)

〔訳文…宮崎市より一六日夜社長の歓迎会を開きたし〇ぜひ御承認願  
いたき旨懇請あり〇御都合伺い上げます〕

作成者…麻生太吉

〔麻生後筆〕

宛先…木村平右衛門

ミターヒシヨウダイセシニツキ一八ヒニゴヘンコウねガイタシアスフ  
シニテタチカエルアソウ

作成年月日…昭和八年二月二日

キムラハイエモン

形態…冊子

キムラハイエモン

拝啓

〔訳文…見た一日招待せしに付一八日に変更願ひたし明日富士にて発  
ち帰る〕

神都電気会社永井君ヨリ貴台宛書面式通小生宛書面志通及川越市長来

〔木村平右衛門（福岡局）発二月一〇日付照校電報（書簡S八―九三）  
デンハイ〇一七ヒト一八ヒツツカカンシヨウタイヒナレバ一六ヒカ一  
九ヒニオウケニナリテハイカガキムラ

〔訳文・電拜〇一七日と一八日二日間招待日なれば一六日か一九日に  
お受けになりては如何〕

〔永井菅治（宮崎局）発二月一〇日付至急照校電報（書簡S八―九四）  
キムラセンムヨリヲネガイセシ〇ミヤザキシノカンゲイカイハゴメイ  
ワクナガラゼヒ一六ヒニ〇オクリアワセゴライグウネガイタキムネ〇  
シガワノキボウデス〇オサシツカヘナキカギリオキキトドケネガイマ  
ス〇ゴヘンマツ〇ナガキ

〔訳文・木村専務よりお願いせし〇宮崎市の歓迎会は御迷惑ながらぜ  
ひ一六日に〇お繰り合わせ御来宮願いたき旨〇市側の希望です〇お差  
し支えなき限りお聞き届け願います〇御返待つ〕

〔麻生後筆〕

デンハイケン一九ヒニオウケネガウ

長井スガジ

〔永井菅治（宮崎局）発二月一日付至急照校電報（書簡S八―九七）  
キデンハイシヤウ〇一九ヒニジュンビシテオマチマウストノコト〇オ  
フクミネガイマス〇ナガキ

〔訳文・貴電拜承〇一九日準備してお待ち申すとのこと〇お含み願  
います〕

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S八―一〇九）

作成者（発信地）…荻野清太郎（小倉市砂津加茂川町二九二）

宛先（受信地）…麻生太吉（飯塚市立岩）

作成年月日…昭和八年二月一七日

特記…御親披

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

謹啓

余寒之候に御座候処愈々御健勝ニ被為涉候段奉大賀候陳者承り候へば  
宮崎市に於ける電気問題は永年の難題ニ御座候処今回円満に且ツ会社  
の為め極めて有利に解決仕り候由全く御大人の偉大なる御人格と御聖  
徳の然らしむる処ニ不外斯業のため慶賀之至りに不堪申候茲ニ謹みて  
御祝詞申述べ御大人の益御健康に被在候事と神都電気之層一層御隆栄  
を只管奉祈上候先は右御挨拶迄申上度如斯に御座候  
二月十七日  
再拜

麻生御大人様

御座下

荻野清太郎

タイトル（整理番号）…昭和八年「発信原稿」（て―二八）

作成者…麻生太吉

宛先…宮脇勝一、佐々木良、斉藤道雄

作成年月日…昭和八年二月二七日

形態…冊子

拜啓益御御清祥慶賀候扱今回出宮ノ節ハ御校ニ伺ヒ完全ナル御設備ヲ  
拝観シ且ツ御用繁中種々有益ナル御説明ヲ拝聴御懇情難有奉深謝候  
神都電気会社ノ為メ乍此上今後一層御後援奉願上候先ハ不取敢以書中



如此御座候

二月廿七日

宮崎高等農林学校教授 宮脇勝一様

宮崎高等農林学校教授 佐々木良様

各人別  
ニ出状

同 齊藤道雄様

敬具

麻生御大人様

席皮下

荻野清太郎

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S八一―一六二)

作成者(発信地)・・・荻野清太郎(小倉市京町九州電気軌道会社内)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(飯塚市立岩)

作成年月日・・・昭和八年三月一九日

特記・・・御親披

形態・・・封書

内容物・・・紙

授受の形・・・郵便

謹啓

春暖之候と相成申候処益御健勝に被為涉候段慶賀此事に御座候陳者卑職儀今般小倉電気軌道会社の監査之方に関係致す事と相成候は全く破格之恩命に有之無上の光栄ニ奉存候之れ偏へに御大人様の御引立の賜と深々拝謝承り候同車ハ六拾万円の小会社に御座候得共株式会社としての組織には毫ニ変り無之同社の隆盛は自然九軌に好影響を及ぼす次第に御座候につき充分に当社の御方針を体し監督機関としての機能を誤らざる様懸命努力可仕覚悟に有之候間何卒将来一層御愛顧御鞭撻被下度奉懇願候

先ハ御礼旁御挨拶迄申述度如斯に御座候

三月十九日

再拝

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S八一―一八三)

作成者(発信地)・・・今井三郎

宛先(受信地)・・・麻生太吉

作成年月日・・・(年未詳) 三月二〇日

形態・・・紙

授受の形・・・不明

麻生社長殿

三月二十日 今井三郎

拝呈只今宮崎の永井専務より延電〔延岡電気〕の件につき左記の通り  
来信有之候間御高覧被下度候

一、鈴木〔憲太郎〕氏より永井専務宛手紙 壹通

二、永井専務より小生宛手紙 壹通

以上

二伸大牟田に於けるクロード式肥料工場拡張に関し鶴丸支配人まで御

申付けの事小生正に拝承仕り候充分留意致すべく候

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S八一―二二〇)

作成者(発信地)・・・麻生益良(大分県玖珠郡東飯田邨)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(福岡県飯塚市)

作成年月日・・・昭和八年三月二二日

特記・・・侍史

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓愈々御清康奉慶賀候陳者先般御耳に入れ申候大分市会紛糾問題も小野廉氏の非常なる努力苦心の結果円満なる調停成立し無事と相成申候

従つて九水に対しても将来大分市は余程好都合と喜び申候私も九水の前途を思ひ暗々裡に市長並に小野氏を後援致置き候間謝電も来り居り候次第に御座候間御安心被下度候只将来非常に心配致居り候事は別府市の電灯問題にて現在猶ほ極秘密裡に運動を継続し居り必ず爆發する事と存候是れも已むを得ずとするも遺憾なる事には別府市には真に九水の味方となる人無之此点は頗る不利益に御座候矢張り二三人位はヒイキ役者を作り置く方争議勃発の場合にも有利かと被存候御一考なし置き被下度候同市に於ける中立、政、民等に一名宛位は九水より相当優遇の方法を講せられ候方安全かと見込申候従来九水より多くの人々に優遇せる犠牲は莫大なりしもそれ等は人選を誤り全部無効と相成居候間別に方法を講じては如何と奉存候御参考まで申上候

三月廿二日

頓首

麻生益良

麻生大人様

侍史

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S八一―二二五)

作成者(発信地)…甲斐富(宮崎県延岡市西新小路)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡県飯塚市)

作成年月日…昭和八年三月二八日

特記…御直披

形態…封書(甲斐富用封筒)

内容物…紙

授受の形…郵便

謹啓

春陽之候益御清福奉慶賀候陳者今回者突然愛宕公園の楼籠に点灯の件を御請願申上候処折返し御快諾被成下御温情と御仁侠に深謝罷在候不日夜樓として世に出で延岡市民の慰安之名所として御高德を深謝する公園と可相成御芳情之段厚く奉多謝候始め貴延岡営業所に御願ひ致候処何分にも営利会社であり且又城山の楼へ点灯奉仕せる事とて一ヶ所にて充分ならんとの御意見に承り候得共小生先年直方、後藤寺に於て十七銀行支店長として在職中より貴下の御仁侠は篤と伝承罷在候と元來延岡としては文明も市民の福利幸福共二旧藩主内藤公の御恩恵により今日を招来し電灯また特二弊地方としては卒先して恩恵を蒙りしものに有之寔に他力主義ならんと旧藩主に対しては一種特別之尊敬と、すがる心情に有之今回の件も此上の如き伝統的精神にて誠に御迷惑千萬と存候のみならず延電(延岡電氣)も先年貴下の御経営となり甚だ申上兼ね候も以上の伝統的風習よりして今回も勿論貴下に対して旧藩主に接するが如き心境よりして総代一同も貴会社を普通の営利会社の如き念は更二有せず御迷惑をも顧みず四万市民の内二万参千余の人口を有する旧恒富部落の全総代連署にて御懇請申上候次第幸に特別之御温情を賜はり市民の嬉び感謝に堪えざる所に御座候本日は延岡新聞紙に報導せられ各所に於て御恩恵の程を深謝罷在候

不取敢総代の一員として御芳情深謝まで申述べ度く如斯二御座候敬具

三月二十八日

恒富神社氏子総代

甲斐富拝

九州水力電気株式会社

社長麻生太吉殿

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S八一三三六)

作成者(発信地)・・・大田黒重五郎(東京大森区山王)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(福岡市浜ノ町)

作成年月日・・・昭和八年四月二日

特記・・・御直披

形態・・・封書(大田黒重五郎用封筒)

内容物・・・紙

授受の形・・・郵便

拝啓愈春陽好時節ト相成リ候益御清適奉賀上候香春炭礦約定成立ニ付  
テハ種々御配慮頂キ誠ニ難有御礼申上候将来発電ノ上ニ心強御同慶ニ  
御座候寸筆御挨拶迄不尽  
大森昭和八年四月二日

麻生様

重五郎

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S八一二四〇)

作成者(発信地)・・・八塚秀二郎(東京市小石川区高田老松町五七)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(福岡県飯塚市)

作成年月日・・・昭和八年四月八日

特記・・・侍史

形態・・・封書

内容物・・・紙

授受の形・・・郵便

肅啓春和の好季節と相成候処愈御健勝之段慶祝至極ニ奉存候陳者予而  
御拝借仕候九水株式式百株今回御商店へ御返却申上置候間御諒承被下  
度永々拝借仕候御芳志之段感謝之外無之謹んで御厚礼申上候財界も最  
近俄然好潮を帯び来り手持の九水社債も各方面より希望者続出し興銀  
差入中のものハ全部売却約定済と相成千代田生命へ差入中の参拾万円  
文は処分未済に候へとも之も直ニ消化する見込に御座候九軌の興銀よ  
りの借入金壹千五百万円も社債ニ振替ふべく全行総裁並ニ宝来氏意見  
有之村上専務へ照会致置候ニ付御協議願上候先ハ右御礼申上度如此ニ  
御座敬具  
昭和八年四月八日

八塚秀二郎

麻生老台

玉卓下

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S八一三〇三)

作成者(発信地)・・・村上巧児(東京市麹町区丸之内参丁目式番地)

(東七号館)九州電気軌道株式会社東京出張所)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(柘屋支店)

作成年月日・・・昭和八年四月二四日

特記・・・親展

形態・・・封書(九州電気軌道株式会社東京出張所用封筒)

内容物…罫紙（九州電気軌道株式会社東京出張所用罫紙）

授受の形…手交

昭和八年四月二四日

村上生

麻生社長殿侍史

先刻ハ御邪魔シマシタ社債ノ件ハ破ル積リニテ突貫セシ所三井ガ折レテ三銀行参加ニ決定致シマシタ、明日興銀ヨリ三行ニ発行条件ヲ打合セ当方トノ交渉ニ入ル筈ニ付今度ハ条件ヲ考慮シ利益カアルナラ承認致シタクト存ジマス

大阪ノ売立目録ノ印刷カ出来マシタカラ見本ヲ御覽ニ入レマス誠ニ立派ニ出来マシタ来月十日マテニ入用高五千五百部完成致シマス此代価見積リ一冊五円、表紙表装五十銭ノ見込、此見本ハ明日デモ使ヲ出シマスカラ御返却ヲ願ヒマス、緩々御覽ヲ願上マス  
右書中御報旁々申上マス

頓首

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S八―三〇五）

作成者（発信地）…村上巧児（東京市麹町区丸之内参丁目式番地（東七号館）九州電気軌道株式会社東京出張所）

宛先（受信地）…麻生太吉

作成年月日…昭和八年四月二八日

特記…親展

形態…封書（九州電気軌道株式会社東京出張所用封筒）

内容物…罫紙（九州電気軌道株式会社東京出張所用罫紙）

授受の形…手交

昭和八年四月二八日

口上

村上生

麻生社長様

社債ハ手数料百円ニ付二円二十五銭即会社手取九十七円七十五銭テ話カ出来マシタ五ヶ年間金融安定丈テモ大変動カリマスカラ此辺テ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ今夜一応帰社致シ重役会ヲ開キ又上京致シタクト存シマス何レ九州テ御目ニ掛リマス

頓首

〔別紙〕

条件

一、総額 貳千万円也

一、利率 年六分

一、発行価格 百円ニ付百円

一、弁済方法 期限五ヶ年

但老ヶ年据置後毎年六拾万円以上随意償還シ期限ニ至リ残額ヲ完済ノコト

一、担保 軌道並ニ発電送電設備一切ヲ以テ組成セル軌道財団

第一順位

一、引受手数料 百円ニ付貳円貳拾五銭

一、利廻 発行者 六・五九

会社手取 六・八六（登録税ノ手数料凡テヲ入レ）

応募者 六・〇〇

参考

会社手取利廻ハ社債利子ノ外雜費トシテ百円ニ付老円参拾錢ヲ見込ム  
新社債受入金処分

総額（手取） 一九、四六五、〇〇〇円

内 一四、七〇〇、〇〇〇円興銀返済（六分九厘四毛）

四、七六五、〇〇〇円旧社債買入（九拾六円替六分九厘參毛）

差益

年一五、〇九五円

興借入金利率減 八毛 此金額年一一、七六〇円

旧社債金利減 七毛 〃 三、三三五円

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S八―三二一）

作成者（発信地）…山田正隆（小倉市京町三百五十八番地九州電

気軌道株式会社）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡市浜ノ町）

作成年月日…昭和八年五月三日

特記…親展

形態…封書（九州電気軌道株式会社用封筒）

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓今朝御仰せ付けの省線筑豊線電化計画進行程度尋ね合はの件ハ早  
速東京増永〔元也〕氏へ依命通牒仕候間右御報申上候広瀬重役と打ち  
合はせ新聞記事の方心当り随分探し候も見出し兼ね候ひし為め不取敢  
右の旨を悉く申添候孰れ鉄道省にて内調査の上直接御許まで通知可有  
之被察候先ハ右御報まで斯の如く御座候

五月三日

敬具

山田正隆

麻生大人

玉案下

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S八―三五一）

作成者（発信地）…山田正隆（小倉市京町三百五十八番地九州電

気軌道株式会社）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡市浜ノ町）

作成年月日…昭和八年五月八日

特記…親展

形態…封書（九州電気軌道株式会社用封筒）

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓省線筑豊線電化計画の件増永〔元也〕氏より直接尊台へ通知ある  
様囊の仰せに従ひ通牒仕候処本日小生の方へ別紙の通り来書有之候間  
右御覧に供し候全計画ハ結局実現するかも被察候も改良費欠乏の際  
とて猶未だ実施までに到らぬ由仄聞仕候間右併せて申添候

五月八日

敬具

山田正隆

麻生尊台

侍史

〔別紙・増永元也発山田正隆宛書簡〕

拝復時下新緑初夏の候益々御健勝の段大慶至極ニ存上候扱筑豊線殿下  
の件は予て麻生大人の依頼を受け

「九軌の夜業を承認せる以上筑豊沿線住民の多年の希望を充たす為  
め鉄道省は自ら電車運転計画すべし然も幸ひ線路はあるし費用は只  
変電所電車線路のみにて足り鉄道省も増収ニなる

然し門司折尾間迄やふれては現在の九軌及国道完成せる今日自動車  
業者を圧迫する事になる又其の必要なし」

と話置申候其の為め其調査をす、め居る模様ニ御座候然し其の實施を改良費少なき今日容易の事には無之と存居り候も其の促進策として筑豊沿線住民の運動は最も肝要なるニより其の点は堀三太郎氏ニ充分ニ話し置申候

五月五日

増永元也

山田正隆様

〔封筒麻生後筆〕

五月九日礼状ヲ命ス

タイトル(整理番号)・・昭和八年「発信原稿」(て―二八)

作成者・・麻生太吉

宛先・・松永安左衛門、海東要造

作成年月日・・昭和八年五月九、一〇、一一日

形態・・冊子

〔五月九日付松永安左衛門宛〕

電信拝見「海東氏ヨリ秘密ニ御懇談ノ件重要ノ事柄ニテ何分御受ケ申上ケ兼マス不悪御諒承御願ヒ申上グ 麻生

至急、親展、照校 五月九日

1 松永安左衛門

東京市麹町区一丁目東京海上ビルディング東邦電力株式会社

〔五月九日付海東要造宛〕

九州ニ於ケル電気事業ハ」御社トハ大切ナル關係上、先日秘密ニ御懇談ノ件、大ニ考慮致シタルモ〇御辞退申上ルノ外ナク〇其後松永氏ヨリモ電信ニ付其旨返電シマシタ〇不悪御願申上ク」麻生 五月九日

至急 親展 照校

1 海東要造

東京市麹町区一丁目東京海上ビルディング東邦電力株式会社

〔五月一〇日付松永安左衛門宛〕

返電拝見重要ノ件殊ニ海東氏ヨリ秘密ノ注意アリ〇上京直接御話ノコト御約シ申上ゲタルモ〇御急ト存シ電信ニテ其意ヲ申上ゲタル次第ニ付〇上京ノ儀不悪御許シ願上グ」

五月十日

麻生

2 松永安左衛門

〔五月一〇日付海東要造宛〕

御懇電拜」先電通りニテ御思召ニ添兼ネ恐縮ニ存シマスガ不悪御許シ願フ」麻生

ウナ ムニ ニカ 五月十日午后七時半

2 海東要造

東京市麹町区一丁目東京海上ビルディング東邦電力株式会社

〔五月一一日付松永安左衛門宛〕

御許シノ電信拝謝ス」将来尚ホ一層ノ御懇誼ヲ御願ヒ申上グ」麻生

至急 親展 照校 五月十一日午后

3 松永安左衛門

〔五月一一日付海東要造宛〕

松永氏ヨリ御許シノ電信深ク拝謝ス」今後不相変一層ノ御懇誼ヲ御願ヒ申上グ」麻生

至急 親展 照校 五月十一日午后

3 海東要造

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S八一三二八)

作成者(発信地)・・麻生益良(大分県玖珠郡東飯田村)

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡県飯塚市）

作成年月日…昭和八年五月一〇日

特記…御侍史

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓

益々御壮健に被為涉候由拜承洵に喜はしく奉祝賀候何卒御自愛被遊度候先日黒木氏へ万事申上置き候間御聞き及びの事と奉存候此際御援助を得候へば実に難有十分の活動も出来将来の為め有利と存候間御聞き届け被下度願上候万一御都合悪しき場合にては私の責任として飽くまで努力は惜まず奮闘可仕候

目下非常に好転しつゝ有之私に同情を寄せる者も集り居り候今にして手をゆるめねば或は意外の収穫を見る事かとも存じ樂み居り候詳細者拝眉の上万々可申上候

五月十日

頓首

益良拜

麻生尊大人

玉座下

〔封筒麻生後筆〕

先日黒木氏ニ御話ノ件御援助願ヒ

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S八―三六六）

作成者（発信地）…黒沢覚治（中津市北橋堀）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡市浜ノ町）

作成年月日…昭和八年五月一六日

特記…御親展

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓此度は特別之御厚意ニ依り延岡電気会社取締役重任之事と相成り御礼筆紙ニ難尽候重而之御芳志ニ関シ日夜感謝罷在候

先は不取敢御礼迄如斯ニ御座候

五月十六日

麻生社長殿

御侍史

黒沢覚治

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S八―九三〇）

作成者（発信地）…麻生益良

宛先（受信地）…永野清

作成年月日…年未詳（昭和八年）五月二一日

形態…紙のみ（封筒なし）

授受の形…不明

拝啓何時に渝らぬ御元氣にて安心仕居と共に衷心奉慶賀候政界も飽くまで強氣の御思召の趣き尊台吉に出るの機も不遠実に喜多存上候一日も待ち遠く相成申候

私事其後小康を保ち座臥自由に相成候間御安心被成下度候徹底的に療養を考へ居候処何分当地電灯問題は可相成速かに良法を講じ置く必要を感じ其為めには臥床しても滞別を有利と認め其結果治療も姑息に相

成候幸に電気治療功を奏し居り現在応対には差支へなきまでに相成申候

五月三十日浜ノ町ニ發電  
在東京村上巧児へ

当地電灯問題も少しく悪化の様相を取せられ候間一月以来不断の注意を不怠百方苦心罷在候結果現今に至り大部分私を理解し呉れ漸時好転する見込相立ち稍々安堵仕候御承知の通り数年間陰に陽に犠牲を払ひ利欲を不思馬鹿らしき振舞は意外にも今日に至り大に奏功寝ながら事件を未然に防止する事と相成り難有存居り申候他の重役は認識乏しく殊に私の如きもの、心境を理解し呉る、不能非常にやりにくい立場に置かれ候へ共私は社長に対する謝恩報義と云ふ確乎たる信念の為め挺身難局を辞せざる覚悟有之候間縁の下の力持ちも悔める処なく他人の後援を不恃至誠奔走仕候此決心こそ却て有利に解決の曙光を認め来り居る様に御座候未だ樂觀を許さず候へ共大事件にはならぬ見込に御座候御安堵被下度候明後出福廿六日帰別三十日帰村の予定に有之候  
右御報旁々如此御座候

敬具

五月廿一日

益良拝

永野大人

侍史

五月三十日

小野原弘

タイトル(整理番号)：昭和八年「発信原稿」(てー二八)

麻生太吉様

作成者：麻生太吉

台下

宛先：村上巧児

作成年月日：昭和八年五月三〇日

形態：冊子

タイトル(整理番号)：書簡(書簡S八一四四三)  
作成者(発信地)：川崎圭三(若松市山手通七丁目)

六月二日招待会歓席宜敷御願致シマス」麻生

宛先(受信地)：麻生太吉(飯塚市立岩)



作成年月日…昭和八年六月一日

特記…台下

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

謹啓

初夏之候高堂御揃益々御健勝に渡らせられ候由奉慶賀候陳者今回電気工業会社取締役御選任被下候段誠に身に余る光栄と深く奉感謝候素より不肖その器にあらず候へども奮励努力仕り多年の御厚情に酬ひ度奉存候就てハ一層の御指導御鞭撻を賜はり度偏に奉願上候右略儀ながら就任御挨拶旁々御礼申述度如此御座候

六月一日

敬具

麻生社長殿

台下

〔封筒麻生後筆〕

電気工業取締役選任感謝御挨拶

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S八―三七四)

作成者(発信地)…門垣為作(小倉市室町二)

宛先(受信地)…麻生太吉(飯塚市)

作成年月日…昭和八年六月五日消印

特記…なし

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

肅啓深緑の時下愈々御清祥之段奉慶賀候

陳者今般九軌所有に係る松本双軒氏旧蔵書画珍器類中逸品参百点余来る六月<sup>廿四日</sup>両日大阪美術倶楽部に於て一般展観に供し廿六日入札売却被致候事に相成儀に就は御繁用中恐縮に存候得共何卒御繰合せ御高覧之栄を賜り度幸に貴意に相適候もの御座候は、御用命の程御願申上候先は右御案内旁御懇願之為め如此に候

昭和八年五月

勿々敬白

麻生太吉様

門垣為作

〔封筒麻生後筆〕

九軌所有ノ(元松本氏旧蔵書画) 来ル<sup>六月廿四日</sup>六月<sup>廿五日</sup>両日大阪美術倶楽部ニテ下見二十六日入札売却御案内

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S八―四五〇)

作成者(発信地)…大田黒重五郎

宛先(受信地)…麻生太吉

作成年月日…昭和八年六月一三日

形態…紙のみ

授受の形…不明

拝啓時下初夏の候愈御清適奉賀候扱弊社所蔵の書画骨董は会社整理のため已むなく売立処分致候事と相成候処売立の成績如何は弊社整理の進捗に影響する所甚大に付き予て旧知馬越恭平翁に万事の後援を懇請致し翁も病中ながら快諾非常の厚情を寄せられ特に知友に入魂の依頼状を草し準備致居られ候処不幸にも売立に先ち物故相成候こと誠に遺

懃千万に奉存候

就ては茲許に故翁の書翰同封拜呈致候間何卒翁の熱意御酌取りの上奮て蔵品御買上被下候様切望致候

右書中御願迄申上度如斯御座候

昭和八年六月十三日

敬具

大田黒重五郎

麻生太吉殿

侍史

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S八―四一三)

作成者(発信地)・・・今井三郎

宛先(受信地)・・・麻生太吉

作成年月日・・・昭和八年六月一五日

形態・・・紙(九州水力電気株式会社用紙)のみ

授受の形・・・不明

昭和八年六月十五日

今井常務取締役 印

麻生社長殿

拜啓第四拾五回定時株主総会委任状ハ本日正午迄ニ左記ノ通り何レモ

過半数ニ相達シ候間此段御報告申上候也

期末現在株主総人員

一〇、六三二名

過半数

五、三一六名

受付累計

五、三九五名

総株数

一、七二〇、〇〇〇株

過半数

八六〇、〇〇〇株

受付累計 九九三、一〇九株

以上

タイトル(整理番号)・・・書簡(書簡S八―四一四)

作成者(発信地)・・・山中吉郎兵衛(大阪市東区北浜二丁目)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(福岡市浜町)

作成年月日・・・昭和八年六月一五日

特記・・・親展

形態・・・封書

内容物・・・紙

謹啓

首夏之候益々御清穆之条奉恭賀候毎々御引立蒙り難有御礼申上候陳者別途御手許迄目録差上置候如く今回松本泰蔵氏旧蔵之書画骨董品入札売却ニ附せられ候就てハ同氏ハ夙ニ好事家として斯界ニ知られし程とて名品多々有之来る<sup>二十三</sup><sub>二十五</sub>三日間大阪美術倶楽部ニ於て下飾り致し御高覧ニ供し候間何卒御繰合せ御来觀被成下度自然御思召しニ叶ひ候ものと御座候は、倍旧御用命之程宜敷奉懇願候先ハ右御案内迄如此御座候

六月

山中吉郎兵衛

麻生太吉様

敬具

タイトル(整理番号)・・・電報(書簡S八―四一七)

作成者(発信地)・・・九州電気軌道株式会社(小倉局)

宛先(受信地)・・・麻生太吉(麴町区幸町柵屋旅館)

作成年月日…昭和八年六月二九日

特記…なし

ソウカイクジスミタ」九キ

〔訳文…総会無事済みた〕

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S八一四五八)

作成者(発信地)…大田黒重五郎

宛先(受信地)…麻生太吉

作成年月日…昭和八年六月三〇日

形態…紙のみ

授受の形…不明

拝啓

時下黄梅の候益々御清安の段奉慶賀候

陳者此度弊社所蔵双軒庵蒐集美術品第一回展観売立に際しては何かと篤き御高配を蒙り御蔭を以て望外の成績を挙げ申し弊社整理の進捗上裨補する処甚大なるもの有之候事洵に言語に絶して有難く茲に以書中謹て御礼意申述度く取敢ず如斯御座候 敬具  
昭和八年六月三十日

麻生太吉様

侍曹

九州電気軌道株式会社

社長 大田黒重五郎

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S八一四五九)

作成者(発信地)…三浦義一(東京市目黒区上目黒八ノ四〇七)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡県飯塚町)

作成年月日…昭和八年六月三〇日

特記…席皮下

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓

御多祥之段奉賀候陳者今回総会出席の際ハ多大なる御厚情に預り有難く御礼申上候其後拜眉の上御教示相仰き度存候得共帰京を急き候為其の機を得ず失礼仕候段不悪御許容被下度伏而懇願仕候  
猶今後共宜敷ニ御交誼の程祈上候先ハ略儀乍ら書中御礼迄如斯御座候

六月参拾日

東京市

目黒区上目黒八ノ四〇七

三浦義一

麻生様

席皮下

〔封筒麻生後筆〕

九水総会出席ノ際御厚情御礼

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S八一四六五)

作成者(発信地)…神都電気興業株式会社(宮崎市上郡町)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡県飯塚市立岩)

作成年月日…昭和八年七月四日

特記…侍史

形態…封書（神都電気興業株式会社用封筒）

内容物…紙（神都電気興業株式会社用紙）

授受の形…郵便

昭和八年七月四日

麻生太吉殿

謹啓酷暑ノ候ニ御座候処益々御清穆ノ段奉慶賀候

陳者今般当地高等農林学校ヨリ全校住吉牧場内当社委託電熱温室ニテ栽培致候メロンノ送附方依頼ヲ受ケ申候ニ就テハ本日鉄道便ニテ右メロン式個発送申上候間何卒御受納被成下度願上候  
先ハ右御案内申上度如斯ニ御座候

〔封筒麻生後筆〕

七月四日メロン式個発送案内

神都会社挨拶スミ

タイトル（整理番号）…昭和八年「発信原稿」（てー二八）

作成者…麻生太吉

宛先…山中吉郎兵衛

作成年月日…昭和八年七月四日

形態…冊子

拝啓暑氣ノ候益御清康奉慶賀候先日ハ双軒庵集成品入札ニ関し態々九州迄御出掛被下其際ハ甚不愛想ニテ失礼仕候御尽力ニ依り望外ノ売行ニテ無此上御同慶奉存候又高値表御送付被成下難有奉存候  
先ハ不取敢以書中如此御座候

敬具

七月四日

山中吉郎兵衛様 大阪市東区北浜二丁目

タイトル（整理番号）…書簡（書簡S八―四七六）

作成者（発信地）…麻生益良（大分県玖珠郡東飯田村）

宛先（受信地）…麻生太吉（福岡県飯塚市）

作成年月日…昭和八年七月五日

特記…御侍史

形態…封書（麻生益良用封筒）

内容物…紙

授受の形…郵便

敬具

恭啓

時候不順の折柄御障リハ無御座候や奉伺上候

陳者別府電灯市営問題も愈々本格と相成り市会に於て多少之紛議を生じ居り候へ共一歩一歩解決に近づき来り候間大局に於て御安心被下度候

委員四名本月上旬熊本通信局に出頭し次ぎに九水本社へ赴き交渉の形式を採る事に相成居り候間御承知被下度大体に於て理想通り進捗罷在候詳細は拝顔の上御報可申上候へ共御安心の為め御一報申上候

一言附記申上置き候事ハ今回者市会議長たる川野直吉君非常に尽力致居り候間好都合に有之候此点は御含み置き被下度候（同氏は委員に候）右不取敢御報申上候

去る一日私は出別の上それ〳〵配慮致置き候御一覽の上御火中被下度候

七月五日

拝具

麻生尊大人

侍史

〔封筒麻生後筆〕

時候御伺別府電灯ニ関スル件

麻生益良

タイトル(整理番号)：昭和八年「発信原稿」(てー二八)

作成者：麻生太吉

宛先：村上巧児

作成年月日：昭和八年七月一八日

形態：冊子

タイトル(整理番号)：昭和八年「発信原稿」(てー二八)

作成者：麻生太吉

宛先：宮崎高等農林学校

作成年月日：昭和八年七月一三日

形態：冊子

拝啓炎暑之候益御清榮奉慶賀候扱今回御校住吉牧場電熱温室ニテ御栽培ノメロン神都会社ヲ経テ御贈与ヲ蒙リ御芳情難有拝受仕候

誠ニ見事ノ品ニ有之毎食相頂キ楽居申候先ハ不取敢以書中御挨拶申上

度如此御座候

敬具

タイトル(整理番号)：昭和八年「発信原稿」(てー二八)

作成者：麻生太吉

宛先：木村平右衛門

作成年月日：昭和八年七月一九日

形態：冊子

宮崎高等農林学校御中

タイトル(整理番号)：昭和八年「発信原稿」(てー二八)

作成者：麻生太吉

宛先：九州送電株式会社

作成年月日：昭和八年七月二二日

形態：冊子

電拝謝ス

七月十八日

九州送電株式会社

タイトル(整理番号)：昭和八年「発信原稿」(てー二八)

作成者：麻生太吉

宛先：村上巧児

作成年月日：昭和八年七月一八日

形態：冊子

拝啓炎暑甚敷難堪候処益御奮闘御努力之段奉深謝候扱地下線問題ニ付再三御注意被成下難有奉存候手續上甚遺憾ノ事ニ立至リ申訳モ無御座候乍併先年ノ如ク失敗ハ致サル様極力相尽シ居リ候モ重要ノ問題ニ付深く心配無手拔様致居申候乍此上一層ノ御心添奉願候右不取敢以書中如此御座候 敬具 七月十八日午后

書留 親展

村上巧児様

東京市麹町区丸ノ内三丁目九州電氣軌道株式会社東京出張所

タイトル(整理番号)：昭和八年「発信原稿」(てー二八)

作成者：麻生太吉

宛先：木村平右衛門

作成年月日：昭和八年七月一九日

形態：冊子

電拝謝ス

九州保全株式会社

七月十九日

木村平右衛門

タイトル(整理番号)：書簡(書簡S八―五〇六)

作成者(発信地)：原功(大分市中島六条通)

宛先(受信地)：麻生太吉(飯塚市大字立岩二一四)

作成年月日…昭和八年七月二二日

特記…直披

形態…封書

内容物…紙

授受の形…郵便

拝啓

時下酷暑之候愈々御清勝に被為涉候段大慶至極に奉存候

陳者私儀近来宿痾向上兎角倦怠を相覚え候間此際静養するは会社に対し忠実なる所以将又一身上決心すへき時期と予てより熟考中之処先般傍系筑後電気監査役に御推挙被下感謝不尽尤も退社の時機と存し辞職申出候処早速御聴許尚ほ過分の退職慰勞金の御支給を忝ふし候回顧するに二十有一年の久しき間公私共に大過なく勤続することを得たるは重役各位の御同情ある御指導並先輩同僚諸彦の御後援の賜と家族と共に深く感銘謹んで厚く御礼申上候今後は宿痾療養に努め余生の悠久なるらん事を期し居申候間尚一入御照顧之程偏ニ奉願上候時下折角御自愛斯界のため一層御活躍之程祈上候先是乍延引御挨拶申述度如斯御座候

昭和八年七月廿二日

敬具

原功

麻生太吉様

侍史

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S八一五六四)

作成者(発信地)…小竹茂(興銀にて)

宛先(受信地)…麻生太吉

作成年月日…(昭和八年)八月九日

特記…親展、東条虎輔君御紹介(封筒裏面)

形態…封書

内容物…紙

授受の形…手交

拝啓炎暑之御益々御健勝の段奉大賀候尚ほ先般御地出向の際は多大の御陳遇を忝ふし今以て感激致居候次第に御座候扱て此の度は誠に御面倒の御依頼に候か弊行の取引先にして近栄電気株式会社なる処有之電灯の販売に□□予て御社の御引立を受け候由此の度電球供給契約の更改期に相当り居る趣きにて是非御引立に預かり度念願にて小生より社長に迄御願致し呉れよとの事に有之候に付□□に全社長東条虎輔御紹介申上候間御迷惑の段恐縮の至りに候へ共何卒御引見被下御援助の程御願申上候右は弊行にて近栄に金融致居る関係上特に御願申上ける次第御含み置き被下度御願申上候

八月九日

拝具

小竹茂

麻生老大人

玉座下

タイトル(整理番号)…昭和八年「発信原稿」(て一二八)

作成者…麻生太吉

宛先…木村平右衛門

作成年月日…昭和八年八月二〇日

形態…冊子

桜ヒール債権銀行団ニ御願ノ為メ芳賀氏上京スト云フ」御懇意ノ御

方ニ御聞合セ御帰り乞フ

ニカ 八月廿日午前八時

木村平右衛門 東京市水明館

麻生

タイトル(整理番号)・・昭和八年「発信原稿」(て―二八)

作成者・・麻生太吉

宛先・・黒木佐久馬

作成年月日・・昭和八年九月三日

形態・・冊子

拝啓別紙投書御内見ニ供シ候何レ御面上拝聴可致候 敬具

九月三日

黒木佐久馬様

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S八―六〇六)

作成者(発信地)・・東条虎輔(東京市渋谷区原宿三丁目三五八番

地近栄電気株式会社)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡市浜町)

作成年月日・・昭和八年九月八日

特記・・なし

形態・・封書(近栄電気株式会社用封筒)

内容物・・紙

授受の形・・郵便

肅啓

残暑尚ホ難去候処愈々御清穆御座被為涉奉慶賀候

陳者先般小竹〔茂〕氏御紹介ニ依り参趨電球之件拝願仕候節ハ御多忙

ニ被在候ニ不拘御快よく御引見を賜り御芳情千万忝なく肝銘奉深謝候  
殊ニ専務殿常務殿へ御取成しを辱ふ致し御蔭を以て拝姿詳かに御願ひ  
仕候事を得申候段寔ニ有難く厚く御礼申上候帰京後直ちニ小竹氏を往  
訪仕り尊台より御言葉賜り候次第を御話し申候処同氏も殊之外感謝仕  
候就而ハ弊社キンエイ電球ハ全くの国産電球ニ有之良品至廉を以て御  
会社御経済を本位ニ奉仕可仕覚悟ニ御座候間何卒国産御奨励之御思召  
を以て何分の御垂情御引立賜らん事を伏て偏へニ奉懇願候先ハ寸楮御  
礼申上旁々重て御願迄如斯御座候

九月八日

近栄電気株式会社

東条虎輔

麻生御尊台

侍史

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S八―六二三)

作成者(発信地)・・大田黒重五郎(九州電気軌道株式会社)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町)

作成年月日・・昭和八年九月二五日

特記・・なし

形態・・封書(九州電気軌道株式会社社長大田黒重五郎用封筒)

内容物・・紙

授受の形・・郵便

拝啓爽秋の好時節と相成候処尊堂益御清福奉大賀候陳ハ過般双軒庵菟  
集美術品第一回売立の際に者多大なる御同情と御支援とを戴き洵に有  
難き仕合ニ存候御蔭を以て弊社整理も予期の通り好都合ニ運び居り候

段深く、御礼申上候尚引続き来十月十一日の吉日を期し第二回売立を東京美術倶楽部ニ於て相催す事ニ致候下見の儀ハ同九月十日兩日ニ候へども混雑を慮り八日を特に招待日と致候間同日万障御排□の上御来觀なし下され度何卒第一回同様上々吉の成績を挙げ候様御加勢の程呉々も奉懇願候

頓首

九州電気軌道株式会社

社長 大田黒重五郎 印

麻生太吉様

〔封筒麻生後筆〕

双軒庵第二回売立下見ヲ八日ニ御招待御来館御案内

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S八―六二二)

作成者(発信地)・・双軒庵蒐集美術品入札会札元一同(大阪美術倶楽部)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町)

作成年月日・・昭和八年九月二七日

特記・・九軌第二回売立ノ件、山中簪堂(印)

形態・・封書

内容物・・紙

授受の形・・郵便

拝啓

時下秋爽之候益々御清適の段奉大賀候

陳者九州電気軌道株式会社所蔵双軒庵蒐集美術品の第二回売立の儀来る十月十一日東京に於て相催し候に先立ち十月二日三日の兩日大阪美

術倶楽部に於て特に御内覧に供し度く右謹んで御案内迄斯如に御座候  
昭和八年九月二十七日  
札元  
敬具

池戸 宗三郎

児島 嘉助

今井 貞次郎

土橋 永昌堂

伊藤 平山堂

春海 商店

吉田 吉之助

中島 庸介

本山 豊実

高橋 文鳳堂(門司)

門垣 静観堂(小倉)

服部 来々堂

北岡 猪三郎

伊丹 信太郎

豊田 益之助

中村 好古堂

山澄 商店

山本 淇翠堂

石井 柳助

川部 商会

中川 寿泉堂

山本 淇翠堂

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S八―六三一)

作成者(発信地)・・山中吉郎兵衛(大阪市東区北浜二丁目)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡県嘉穂郡飯塚町)

作成年月日・・昭和八年九月日未詳

特記・・なし

形態・・封書

内容物・・紙



授受の形…郵便

謹啓

秋爽之候益々御清適之条奉恭賀候毎々御引立を蒙り難有御礼申上候陳者別途御手許迄目録差上置候如く今回松本恣藏氏旧藏之書画骨董品第二回入札売却二附せられ候就ては前回に劣らぬ名品多々有之来る十月三日両日大阪美術倶楽部ニ於て下飾り仕り御高覧ニ供し<sup>同八日九日十日</sup>三日間東京美術倶楽部ニ於て展列供覧之上翌十一日入札可致候間何卒御繰合せ御来觀被成下度自然御思召しニ叶ひ候ものと御座候は、倍旧御用命之程宜敷奉懇願候先ハ右御案内迄如斯御座候

九月

敬具

山中吉郎兵衛

麻生太吉様

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S八一六八五)

作成者(発信地)…増永元也(東京市渋谷区代々木山谷町二三四)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡市浜ノ町)

作成年月日…昭和八年九月二十九日

特記…至急親展、航空

形態…封書(増永元也用封筒)

内容物…紙

授受の形…郵便

取急候為め乱筆御免被下度候

拜啓愈々秋冷の候と相成申候処益々御清穆の段大賀至極ニ存上候扱今回の共同火力問題の件折角覚書迄漕ぎつけられ候処参加会社ニ肝腎の九州水力、大淀川を削除せる根拠遂に暴露せられ尾形氏より右両者の

参加を拒ばれば是非加入さす事二なれば前回の覚書の期限を延長とれとは実ニ乱暴の提言にして大三井の言ふべき言葉に非らず候之れ全く。自分にて火力を作り度も金はなし然も将来九州電力を一手にて把持せんとの野心ある熊電(熊本電気)が、丁度経営困難なる三井系の大淀川水力と。大牟田にて技術上及経済上大発電所を作り度焦慮せる三井。の弱点を甘く握りたる熊電の策謀にて表面上矢面ニ立ち難き熊電が三井をして言者しめたるものと察するが至当かと愚考仕候結局先方は三井のみにては発電許可不可能ニより

一、熊電三井にての共同火力を作り度事

二、熊本通信局の意向が九州に於ける電力統制上右二社にては電力界

攪乱の恐れあり共同火力なら東邦、九水も加入せしめ候ば無意義

なる空気を察知し三井をして東邦二口切らしめたる事

三、其の結果今回の覚書となりたるも元来の野心を妨げざる様九州電力を除外したる事

四、九州水力を入れざれば九水、東邦との妥協困難にて引いて共同火力成立せざる恐れあれは致方なし九州水力、大淀川を救済する為

め前回の覚書の期限延長二出でたる事

と察せられ候斯くなる以上は九水としては愈々腹をきめて堂々「九州

電力界統制上第三の覚書ニ九州水力を参加せしめねは共同火力の意味

をなさず」「熊電、三井のみの共同火力には絶体反対」の態度を取ら

れよく熊本通信局及本省当事者ニ説明さる、が肝要かと愚考仕候

時偶々熊本出身なる上妻技術課長(本省電気局)辞職して熊電取締役

に入社する事と相成申候二付今日早速其の内容を探り申候処表面上の

理由は上妻氏が細川侯の待費を受け学校を卒業し今日迄全家の信任厚

く細川家は熊電の大株主なる故入社せしめたりとの事なるも上妻君と

上田〔万平〕社長とは幼少より懇意の間柄にて其の真意は測り難く候とに角上妻氏の勢力を利用して熊電、三井の計画を有利に導くものとの考へ置く方至当かと愚考仕候故ニ通信省電気局監理課長は小生旧知の者ニ付小生個人として熊電、三井のみの共同火力認可ニよれば九州電力界は由々しき混乱を来すと話置申候  
とに角九州電力界としては大問題ニ付相当の迂余曲折あるものと存候  
結局通信当局中ニ入り公平なる判断をするものと愚考仕候  
右乱筆要用のみ  
早々不具

九月廿九日

増永元也

麻生太吉様

木村様にも宜敷御伝へ被下度候尚九州の電力界将来は去る昭和五年春小生調査せる報告御参考ニ供し被下度候

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S四―一二二五)

作成者(発信地)・・増永元也(東京市渋谷区代々木山谷町一三四)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡市浜ノ町)

作成年月日・・昭和八年一〇月六日

特記・・親展

形態・・封書(増永元也用封筒)

内容物・・紙

授受の形・・郵便

拝啓秋冷の候益々御清穆の段大賀至極ニ存上候

扱先達箱田達磨君より全君令息ニ対する御貸費金今後一ヶ年尚御継続下さる旨御通知ニ接し右小生よりも御礼申述べくれと大ニ喜び来り候ニ

付乍例の御仁徳難有御礼申上候尚先日火力発電問題ニ付卑見申上候要  
点は

一、熊電〔熊本電気〕は今回の仕打は九州電力不可侵契約を無視せる  
事

二、今回の火力は熊電、三井のみにては通信当局の許可困難なるを觀  
取し俄ニ九水、東邦ニ加入方申込みながら飽迄二社にて実権を握  
り度為め「必要ある場合九水、東邦は参加し得る事」など勝手の  
覚書にて已ニ九水東邦は了解したから許可してくれといふ卑屈の  
手段をとらんとせる事

三、九水、東邦としては九州電力界安定の為め九送〔九州送電〕の余  
剩電力を犠牲にして迄九州電力との不可侵契約を甘受せるニ今回  
の覚書に九州電力の参加を拒絶せる事而どふしても参加の場合  
前の不可侵契約の期限を延長してくれなど余り自分勝手の主張の  
みならず事

等が余り自分勝手にして九水、東邦の参加又は了解なくしては共同火  
力の認可出来ざる今日右の如き両社の態度は傍若無人の振舞にて相当  
膺懲する必要有之候  
早々不具

十月六日

増永元也

麻生太吉様

タイトル(整理番号)・・昭和八年「発信原稿」(て―二八)

作成者・・麻生太吉

宛先・・大田黒重五郎

作成年月日・・昭和八年一〇月九日

形態…冊子

謹啓秋冷ノ候益御清祥奉慶賀候扱今回統双軒庵美術集成目録特ニ御調製御贈与ヲ蒙リ御芳情難有拝受仕候永ク記念トシテ保存可仕候今回売立ニ付テハ種々御配慮奉拝察候御配慮ニ依リ第一回同様上々吉ノ成績疑ナキ事ト奉存候乍此上御配慮奉願候先ハ不取敢以書中御挨拶申上度如此御座候

敬具

十月九日

大田黒重五郎様

タイトル(整理番号)…書簡(書簡S八―七〇八)

作成者(発信地)…八塚秀二郎・黒木佐久馬(東京市麹町区丸ノ

内参丁目式番地(東七号館)九州水力電気株式会社)

宛先(受信地)…麻生太吉(福岡市浜ノ町)

作成年月日…昭和八年一〇月一日

特記…御直披

形態…封書(九州水力電気株式会社用封筒)

内容物…紙(九州水力電気株式会社用紙)

授受の形…郵便

昭和八年拾月拾壹日

麻生社長殿

拝啓爽秋ノ候愈御清穆奉賀候

陳者平重役ニ対スル賠償請求ノ件ハ岩田宙造弁護士ニ鑑定ヲ依頼仕候処社長ノ濫発手形ニ由ル社金費消ノコトハ特別ノ事情ナキ限り平重役

八塚秀二郎

黒木佐久馬

ニ於テ知り得ベカラザルコトナルヲ以テ平重役ノ責ニ帰スベキモノ

ナラズト頗ル簡單ナル意見有之候へ共之ニ対シテハ有馬氏モ満足セズ最モ会社ノ重要ナル手形発行ニ対スル割印簿ノ突合ナド常識上ノ注意スラ怠リ居リ又平重役一同緊張シテ時々重役会ヲ開キ書類ヲ点検シ充分役員トシテノ義務ヲ尽クシ居ラバ少クモ相当社長ノ不正行為ヲ牽制シ斯カル莫大ナル乱費ヲ防止シ得ベシトノ議論モ立ツト申サレ今一度有力ナル弁護士ノ鑑定ヲ求ムルコトニシタシトノ有馬氏意見有之重役会モ有馬氏意見通り尚一度適當(仁井田益太郎氏又ハ鳩山秀夫氏)ナル弁護士ノ鑑定ヲ求メタル上体度ヲ決スルコトニ決議相成候尚不法行為ニ由ル三年ノ時効期限内ニ請求スルコト出来不申候へ共義務違反ニ依ル拾ヶ年ノ時効期限内ニ起訴スレバ何等障リナシトノ専門家ノ意見有之候ニ付此点ニ就テハ不利益無之候

右御諒承被下度大田黒社長命ニ依リ御報告申上候

勿々

タイトル(整理番号)…昭和八年「発信原稿」(て―二八)

作成者…麻生太吉

宛先…今井三郎

作成年月日…昭和八年一〇月一日

形態…冊子

拝啓余程凌能ク相成御同慶ニ奉存上候其後次第ニ御経過宜敷候趣無此上候実ニ意外ノ御災難ニテ御迷惑千万ニ奉存上候合同火力ノ件御療養中ニモ不拘種々御心配被成下難有奉存候不幸ニシテ東邦ノ海東(要造)氏御迷惑之御掛合ヒシ為メ今ニ手続相運不申候モ大体相決シ居候末ニ付心配無之候モ来ル十四日重役会済ミ次第専務一同上京ノ事打合居申候御留守中ハ別ニ変ル事モ無之相運ヒ居申候間御心配無之様御療

養專一ニ奉祈上候何レ着京ノ上御見舞可申上先ハ以書中如此候 敬具

十月十一日

今井三郎様 麴町区永田町山王ホテル内

昭和八年十月十六日

門垣為作

麻生太吉様  
〔封筒麻生後筆〕

九軌骨董第二回売立会ノ礼

タイトル(整理番号)・・電報(書簡S八―七〇九)

作成者(発信地)・・大田黒重五郎(東京郵便局)

宛先(受信地)・・麻生太吉(飯塚市立石)

作成年月日・・昭和八年一〇月一二日

特記・・ムニ(照校)

ソウウリアゲー八六マンエン」ヲウタクロ

〔訳文・・総売上一八六万円〕

タイトル(整理番号)・・書簡(書簡S八―六六六)

作成者(発信地)・・門垣為作(小倉市室町二丁目)

宛先(受信地)・・麻生太吉(福岡市大浜町)

作成年月日・・昭和八年一〇月一六日

特記・・なし

形態・・封書(門垣為作用封筒)

内容物・・紙

授受の形・・郵便

肅啓陳者今般東京美術倶楽部に於ける第二回双軒庵集成品入札会に際しては御繁忙中に不拘種々甚深なる御援助を辱ふし為めに今回も復盛況裡に終始仕候事一重に御芳情の余榮と深く感佩寔に御礼の辞も無御座候就ては拝趨御挨拶可申上筈の処乍略儀不取敢以書中御厚礼申上候

匆々敬白

麻生社長様

十月廿五日

永井蒼治

拝呈仕候秋冷相催候処益々御清適ニ被成御座候段慶賀ノ至ニ奉存候陳者日夜御繁忙東奔に西走被遊社ノ為メ御心痛御尽力被遊候段恐懼ノ至ニ有之吾等一向ニ御役ニ相立不申却つて慚愧ノ至リニ不堪申候不惡御諒承被下度候就テハ来月八日九日ハ御承知ノ通り当宮崎市ニ於テ電気協會九州支部総会有之候ニツイテハ御遠路ノ処且ツ御多用ノ御身甚勝手ケ間敷御願ニ候得共何卒御繰合セ御出席被下候ハ、吾々ノ肩身モ広クノミナラズ宮崎市ノ光榮トスル処ニ候間是非共御聴赦許被下度只管御願申上候

早々不一

玉座下

〔封筒麻生後筆〕

十一月八日九日宮崎市ニ於テ電気協会九州支部総会ニ付御出席願出

タイトル(整理番号)：昭和八年「発信原稿」(て―二八)

作成者：麻生太吉

宛先：木村平右衛門

作成年月日：昭和八年一月九日

形態：冊子

電拝見安心シマシタ御配慮ヲ謝ス○皆様ニ宜敷ク」麻生

親展 十一月九日

木村平右衛門 東京九水出張所

タイトル(整理番号)：昭和八年「発信原稿」(て―二八)

作成者：麻生太吉

宛先：牧田環

作成年月日：昭和八年一月九日

形態：冊子

協同火力ノ件」円満ノ協定出来マシテ此上モアリマセン」全ク御配慮  
ノ賜ニテ深く御礼申上ゲマス」七海〔兵吉〕、緒方〔尾形次郎〕ノ御  
二方ニモ宜敷御伝へ願フ」麻生太吉

照校 親展 十一月九日

牧田環 東京日本橋区駿河町三井合名会社

タイトル(整理番号)：書簡(書簡S八一七三二)

作成者(発信地)：麻生益良(大分県玖珠郡東飯田村)

宛先(受信地)：麻生太吉(福岡県飯塚市)

作成年月日：昭和八年一月九日

特記：御侍史

形態：封書(麻生益良用封筒)

内容物：紙

授受の形：郵便

肅啓御尊体如何被為涉候や奉伺上候

陳者先般御出別の上直接御交渉被下候結果は非常に好転致し今後は余  
程有利と存候間御安心被下度候最も其当時は色々なる策略も行われ此  
上にも難題を持ち込む気配を見受け申候につき私も多少憤慨の結果遂  
に激烈なる叱責を加へ申候処別紙の如く詫び状来着仕候次第に御座候  
此書状は恰も不得要領に見へ候へ共私との間にてはよく意思疎通仕居  
り候御参考まで御高覧に供し置き候将来迂余曲折は可有之候も最早や  
始めの勢ひは更らに無之候間あまり尊大人を煩すに至らずして解決す  
るものと存候私は六、七両日滞別二三の者と会見打ち合せ置き申候只  
会社が他日不利益にならぬ様にと考へ具体的の事は一言も発表不仕候  
間其辺は御安堵被下度候十四日出福拝眉万々可申上候 敬具

十一月九日

益良拝

麻生尊大人

玉案下

〔別紙・原稿用紙〕

麻生賢台虎皮下

十一月三日

拝呈、御懇情確かに拝受いたしました、感佩の至りに堪へません、たび／＼のことなるに拘はらず御叱かりもなく御芳志を寄せ賜はる段深く段肝に銘じて忘れないものであります

例の人には痛烈に談じ込みました、先生も余程面喰つたものと見え、明四日には自分から打切りの動議を提出する故、君も傍聴してスグ報告してくれと私に申しました、時には痛烈なる刺激を与ふべきものと思ひました

〔編者注・名前の部分あらかじめ切り取られ済み〕